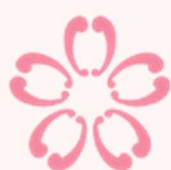


佐倉市公共施設再配置方針 ワークショップ実施報告書



しりあぶりねこ©佐倉市

令和6年9月



佐倉市
Sakura City

目次

1. 市民ワークショップ開催概要	1
1-1 ワークショップの目標	1
1-2 開催概要	1
2. 第1回ワークショップ(全体回)	4
2-1 ワークショップの流れ	4
2-2 各グループのワーク内容	6
3. 第2回ワークショップ(地域回)	11
3-1 ワークショップの流れ	11
3-2 志津北部地区 ワーク結果	14
3-3 志津南部地区 ワーク結果	20
3-4 臼井・千代田地区 ワーク結果	29
3-5 佐倉地区 ワーク結果	36
3-6 根郷・和田・弥富地区 ワーク結果	46
4. 第3回ワークショップ(地域回)	49
4-1 ワークショップの流れ	49
4-2 志津北部地区 ワーク結果	51
4-3 志津南部地区 ワーク結果	57
4-4 臼井・千代田地区 ワーク結果	66
4-5 佐倉地区 ワーク結果	70
4-6 根郷・和田・弥富地区 ワーク結果	79
5. 第4回ワークショップ(全体回)	82
5-1 ワークショップの流れ	82
5-2 各班の作成したポスター	84
5-3 ポスターセッション結果および講評・挨拶	95

<u>6. 参考資料:アンケート結果</u>	96
<u>6-1 第1回ワークショップ(全体回)</u>	96
<u>6-2 第2回ワークショップ(地域回)</u>	98
<u>6-3 第3回ワークショップ(地域回)</u>	101
<u>6-4 第4回ワークショップ(全体回)</u>	104

1. 市民ワークショップ開催概要

公共施設再編に関して、地区ごとの市民の意見、要望を引き出し、佐倉市公共施設再配置方針の参考とするため、市民ワークショップを開催しました。

1-1 ワークショップの目標

ワークショップの目標は以下の2点です。

目標①

佐倉市の現状や将来予測を知ってもらうこと。

目標②

市民間で議論して、必要なサービスを維持・拡充しつつ財政負担をどのように軽減できるか、公共施設はどうあるべきかのイメージを共有すること。

1-2 開催概要

(1) 開催日程

市民ワークショップは、開催回数を計4回として、最初に全体回を実施し、その後5地区ごとに地域回を2回行い、最後に総評として全体回を開催しました。(地域回は5地区ごとに実施するため、延べ開催回数は12回)。

- 実施時期 : 2024年(令和6年)4月～8月
- 対象者 : 佐倉市在住・在学・在勤の小学6年生以上の方
- 地域回の地区割り: ①臼井・千代田地区、②志津北部地区、③志津南部地区、④佐倉地区、⑤根郷・和田・弥富地区

表 1.1 開催日程

開催分類		開催日	実施場所	参加人数
1	第1回(全体回)	2024年4月20日(土)	中央公民館	50名
2	第2回 (地域回)	臼井・千代田	臼井公民館	7名
3		志津北部	志津コミュニティセンター	10名
4		志津南部	西志津ふれあいセンター	13名
5		佐倉	中央公民館	15名
6		根郷・和田・弥富	南部保健福祉センター	4名
7	第3回 (地域回)	臼井・千代田	臼井公民館	8名
8		志津北部	志津コミュニティセンター	10名
9		志津南部	西志津ふれあいセンター	13名
10		佐倉	中央公民館	14名
11		根郷・和田・弥富	南部保健福祉センター	4名
12	第4回(全体回)	2024年8月17日(土)	イオンタウンユーカリが丘	44名

(2) 実施内容

ワークショップの各回の概要は以下のとおりです。

表 1.2 各ワークショップの実施内容

開催分類	実施内容
第 1 回(全体回)	【目指すゴール】 ゲームを通じて公共施設を維持運営することの難しさを体験し、その上で佐倉市の財政状況などを知ってもらう。 【実施内容】 ・ 班に分かれて公共施設マネジメントゲームの実施 ・ ゲーム振り返り・発表 ・ 佐倉市の状況についての説明 ・ 班ごとに意見交換
第 2 回(地域回)	【目指すゴール】 参加者が必要としているサービス(民間施設含む)を確認して自分にとって大事なことを言語化するとともに、地域の課題を把握する。 【実施内容】 ・ 第1回(全体回)の振り返り ・ 利用しているサービス、活動の棚おろし ・ 地域課題の検討
第 3 回(地域回)	【目指すゴール】 参加者が大事に思うことの実現や地域の課題解決のためのアイデアを地図上に明示し、ポスターの完成イメージを作成する。 【実施内容】 ・ 第2回(地域回)の振り返り ・ 地域にとっての「優先順位(大事に思うこと)」の検討 ・ 実現のためのアイデアの検討 ・ キャッチフレーズをつけてポスターをレイアウト
第 4 回(全体回)	【目指すゴール】 地域回で作成した各班のポスターについて参加者間だけではなく、一般来客者も交え、客観的に意見を共有する。 【実施内容】 ・ ポスター発表会 ・ ポスターセッション・投票

(3) 実施結果

- 公共施設等総合管理計画の周知を行い、参加者がワークショップを受ける前と後で、大多数の方に意識変化が見られた。
- 市民同士の議論を通じて、行政では思いつかない様々なアイデアが出された。
- 公共施設をどうするかというハード面の視点だけでなく、既存のサービスをどう工夫するかというソフト面についての提案も出された。
- ワークショップに参加した市民がこれまであまり知らない・利用していない公共施設もあったが、ワークショップをきっかけに、このような公共施設なら利用してみたいという新たなニーズを掘り起こすことができた。
- ワークショップを通じて、市の取組に賛同的な意見が多く、結果市への信頼性が高まった。
- 庁内ワーキングチームによる運営支援により、庁内の公共施設マネジメントの意識醸成につながった。
- 今後は市民から提案されたアイデアを庁内に共有し、実現の可能性を探っていきたい。

2. 第1回ワークショップ(全体回)

2-1 ワークショップの流れ

(1) 【Step1】ワークショップの目的の説明

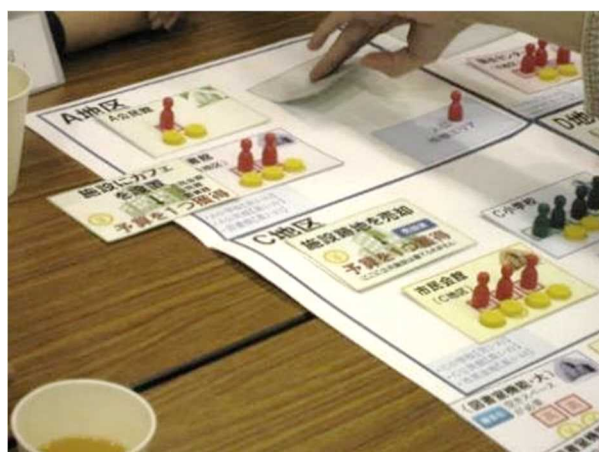
事務局から、ワークショップの目的について説明しました。説明の概要は以下のとおりです。

- 本ワークショップは、公共施設再配置方針を策定するに当たり、「地域の声」をしっかりと把握し「行政と市民」で一緒に考える場である。
- 本ワークショップの目的は、参加者が市の現状や将来の予測を理解したうえで、地域に必要な機能についてのアイデアを検討すること。

(2) 【Step2】公共施設マネジメントゲームの実施

公共施設マネジメントゲームの開発者である、(一財)地方総合整備財団 公民連携アドバイザーの西尾真治さんによる進行の下で、公共施設マネジメントゲームを実施しました。

参加者は年代別に 10 グループに分かれてゲームを行いました。



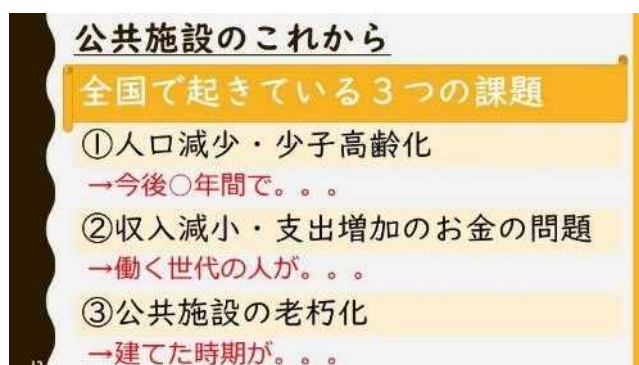
公共施設マネジメントゲームとは、将来の人口減少・少子高齢化、施設の老朽化などの「条件」を踏まえながら、公共施設の複合化などの方策を駆使し、効率的で効果的な公共施設の適正化を考えるゲームです。

参加者は、公共施設マネジメントを推進するプレイヤーとなり、ゲームを体験することによって、公共施設マネジメントに対する更なる理解と関心を高めることを目的としています。

(3) 【Step3】佐倉市の現状説明

事務局から、佐倉市の公共施設に関する現状について説明しました。概要は以下のとおりです。

- 佐倉市の人口は、2022 年から 2050 年にかけて約 30%減少し、特に 15 歳未満の人口は約 50%減ることが見込まれます。
- 人口減少および少子高齢化の進行に伴い、佐倉市の税収は減少する一方で社会保障費は増加しています。
- 経過年数別の延床面積でみると、令和5年3月末時点で佐倉市の公共施設の約 65%は築 30 年を経過しています。
- 現状の財源を確保し続けた場合、過去 10 年間に公共建築物の更新等に充てた費用の平均額と比較すると、1 年当たり約 9.9 億円、40 年間で約 396 億円の費用が不足することが見込まれます。



(4) 【Step4】意見交換・発表・講評

佐倉市の現状説明を踏まえ、各グループで意見交換を行い、数人の参加者に発表いただきました。

また、公共施設マネジメントゲームの実施結果や各グループの発表を受けて、第2回・第3回ワークショップの進行を担当していただく千葉大学の柳澤要先生および湯浅かさね先生から講評をいただきました。



2-2 各グループのワーク内容

ワークショップ内の意見交換において、各グループで述べられた代表的な意見を以下のように整理しました。

なお、各グループの年代は、1班:70代以上、2班:70代、3班:60代、4班:50～60代、5班:50代、6班:40代、7班:40代、8班:30代、9班:20～30代、10班:10代です。

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
——公共施設マネジメントゲームの感想—— ● 15年後ですら少子高齢化のすさまじい現実を実感した。 ● 30年後は団塊の世代がいなくなるので現実はこちらまで難しくないのでは。 ● 将来衰退する地区の出現が予想されるので、施設を一部に集中せざるを得ないのではないか。 ● 各地区に施設が1セットずつある状況は無理ではないか。 ● 施設の最適配置は困難、老若の人口の偏りが出てしまう。		——これからの佐倉市に望むこと—— ● 子ども・高齢者の偏り、施設の偏りをなくすることが大切。 ● 人口減を防ぐ、できれば増加する努力が必要。 ● 観光施設の充実や企業誘致を行い、人口を増加したうえ、子供が育つ環境の充実。 ● 人口構成・予算等を考慮して長期ビジョンを策定すべき。 ● コンパクトシティの考え方を導入したり、民間の力を活用する必要がある。 ● 人口推計は妥当、思い切って人口を集中させる地域の設定が必要ではないか。								
 キーワード		コンパクトシティ		子供が育つ環境の充実		民間の力を活用		人口増加の努力		

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
——公共施設マネジメントゲームの感想—— ● 人が集まる街を考えていかなければならない。 ● 若い人が働きやすいように複合化等でその施設で働く職員が子どもを預けられる機能を入れたほうがいい。 ● 小学校と中学校を複合化したほうがいい。 ● 社会状況が変化したときに何を基準とした町づくりが大切なのか早い時点で考えておかなければ、ただ流されて行ってしまうような気がした。 ● PFIなど民間の資金、経営ノウハウの活用が不可欠。 ● 地域に必要な機能を考えていかなければならない。		——これからの佐倉市に望むこと—— ● 若い人口が流入したくなるまちづくり、若い人の目で見たまちづくり計画の策定。 ● 現状維持ではなく民間の力を借りて、より良い市になるように考えていく。 ● 市の価値向上の施策、佐倉地区は大きな改革が必要。 ● とにかく厳しい状態が続くことは間違いないので複合化、民営化も含めて限りある予算を増やし有意義に役立てる。 ● 公会計の貸借対照表を作り、佐倉市としての財政状態を明示すべき。								
 キーワード		複合化		PFIなど民間の力を活用		若い人の目で見たまちづくり		地域に必要な機能とは		

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

—公共施設マネジメントゲームの感想—

- 各地域「同じように」とはいかない。
- 町づくりには人口と予算の未来図（予測）が不可欠である。
- 人々の気持ちも考慮しなければならないので、統廃合は簡単にはいかない。
- 少子高齢化は未来に大きな影響を及ぼすことが分かった。
- 不要となった施設に人を呼び込むものがあればいいと考えます。
- 予算と人の数だけで考えるのは合理的だけど実際には各地区の現状がわからない中では単純に考えられない。

—これからの佐倉市に望むこと—

- 外国人を佐倉市に呼び込み、福祉やスポーツを行う。
- 鉄道を東西のみでなく南北にも作る。
- 地の利（首都圏・空港周辺）を活かしたもの、海外企業誘致。
- 働きやすいシステム設備（wi-fiなど）。
- 土地の魅力があればwi-fiなどのインフラを充実させて発信できるのでは。
- 人口が減ってしまう前提でなく、どうしたら住みたい街になるのか、子どもたちを育てたいと思える街になるのか本気で考えていくことが大事。



地の利を活かす

人々の気持ちも考慮

各地域同じようにはいかない

住みたい・子育てしたいまち

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

—公共施設マネジメントゲームの感想—

- 各地区だけでなく、他の地区との人口のバランスをとることを心がけたが最終的に実施はできなかった。
- 地域により元々人口が多いところ、少ないところ、子どもと老人のバランスなど考えると更に難しくなりそう。
- まちづくりには、他の部署等全体で考えることが必要。
- 施設を建てる時、次（他）に使えるものを建てる必要がある。
- 小中学校はコミュニティの中心。

—これからの佐倉市に望むこと—

- 施設の維持の固定費も減らすことは難しい。
- 少子化対策による学校の削減は必要。
- 施設の予算面から考えると複合化が効率的に管理できるのではないかと感じた。
- 小中学校はコミュニティの中心なので、なくさないでほしい。小学校を中心に複合施設としていければよいと思う。
- 市の魅力アピールなど活かしながら民間との協力、交通手段の利便性向上。
- 民間によるサポートで、資金を生む施設へ変わっていかねばと思います。
- お金を生み出すことも重要と感じた。



小中学校はコミュニティの中心

学校の削減・複合化

民間との協力

資金を生む施設

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- 少子化によって不必要となる小学校を残すことは非効率である。
- 総合的に（地区バランス、大人・子どもバランス）考えておかないと上手くいかない。目の前の合理性だけ考えては上手くいかない。
- 小学校の空スペースを活用することが必要だと感じた。
- 福祉機能と公民館は複合できるとよい、学校施設の複合化をすすめる。
- 公民館と小学校と図書館等の複合。

これからの佐倉市に望むこと

- 財源が限られる中で、行政サービスを維持するために施設コストの高い（利用率低、維持費高）ものはまず廃止を前提に検討。
- 地元愛も大切。
- 人口減は日本全体としては間違いなく進む中で、佐倉市もその中の一つと捉えたと合理判断を行わないといけない。
- ベストではなくすべての人にとってベターな状態を目指すことが重要ではないか。
- 何かを変えないといけない。
- 学校教育のAI化、オンラインでの授業の自由化



学校施設の
複合化

施設コストの高い
ものは廃止を検討

すべての人にとって
ベターな状態

地元愛

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- コスパの良い施設を優先して残した結果、コンパクトなまちになったが、まちとしてどうなのか。
- お金のことばかり気にしていたら、地区によって年齢の偏りが出てしまった。
- 実際のまちづくりはやり直せない。そのため、計画を念入りに立てる必要があるが、災害などによりその計画すら実行できないこともあると思われるため、難しい。

これからの佐倉市に望むこと

- 施設は施設として充実させていくことが必要だが、それ以外の面からも充実できる機会を増やさなければならない。
- 施設について、行政について、身近に考えられる機会が必要。
- 市全体で先を見据えたまちづくりプランができるといい。
- まちづくりのポイントは、2つあると思う。①老幼共存（多世代交流）、②災害に強いこと。このポイントへの働きかけが重要。
- 佐倉市でも労働人口が減少していることから、移住に係る施策を充実させ、佐倉に来たいと思ってもらえるようにする必要がある。（ユニークな施策や、子育て世代へのアプローチなど）
- 施設だけでは魅力を保てない気もする。



多世代交流

災害に強い
まちづくり

施設以外の面からも充実

移住施策の充実

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- 誰もが納得のいく施設の維持は極めて困難、公共施設は今後減らしていくしかないかも。
- 予算があればいいという訳でもないと思った。
- 施設の統廃合には、かなり長期的な人口や環境などの情報を踏まえた視点がないと失敗する。
- まちづくりを考えるきっかけとなった。
- お金があれば全て解決するものなのか疑問。
- 高齢者の施設は小学校に比べるとコスパが悪いのは何でなのか?と思いました。

これからの佐倉市に望むこと

- 複合化は必須か。学校の統廃合も検討。
- 施設運営の民営化・市民の協力が必要。
- ハード面（建物）からソフト面（サービス）の充実へ移行すべき。
- 維持費のかからない施設運営ができる方法を考えていくのも大事だと思う。
- お金を生む仕組みを考える必要がある。
- ふるさと納税の魅力的な返礼品で、外から税収を得る。住みたい街ランキング上位に入るような街になれば人も税収も増える。



複合化・統廃合

施設運営の
民営化

建物からサービスの
充実へ移行

お金を生む仕組み

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- 子どもの学校は各地域に残す前提で検討を行った。結果として高齢者対応施設が不足した。
- 跡地の活用があまり検討できなかった。
- 説明を聞いたときは「公共施設の中で予算をまわさせる」ゲームだと感じ、嫌悪感を覚えました。「公共施設の民営化」を推し進めたい自治体の後押しになるんだろうなと思いました。
- まちづくりのビジョンがないと予算合わせだけになり住む人が不便になり、さらに人口減少、負の悪循環になる。
- 付加価値を増やせる挑戦も、もっとできる状況を生み出せばいいと感じました。

これからの佐倉市に望むこと

- 白銀小学校のように地域全体で活用する施設としての小学校も増やす予定と聞いているが、まずは現在そうになっている学校の活用をもっと考えていきたい。
- 現状を踏まえて、人口減が加速することを前提に策を講ずることはわかるが、その策が更なる人口減を引き起こすことは避けなければいけない。
- 都内から一時間圏内、リモートワークの増加、緑のある暮らし、子育てしやすい環境等をPRすることで、人口増加につなげていけるのではないかな。
- 人口減少や公共施設の事も、市民自身の問題として捉えるべきである。
- もっと挑戦するスタンスを考えられる場に今後できたらこのようなワークショップも有意義になり、その意見を市がどれだけ受け入れてもらえるかが今後の市の維持に大きくかわると思っています。



不便と人口減少の
負の悪循環

挑戦するスタンスを
考えられる場

小学校の地域
全体での活用

佐倉の魅力PR

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- こどもと高齢者の両立した地域が難しい。地域同士のつながりを作ったり、地域の理解を得るために時間が必要。
- 机上だと地区の施設を動かすのは簡単だけど実際は難しい。
- 高齢者のために子どものための施設を削らなければならないのが歯がゆい。
- 県外からの収入と労働力が必要なのでは。
- 予算を捻出しようとするとう人口に対して施設が足りなくなり、人口に適した施設を持つと予算が足りないという、人口と予算のバランスを取るのが難しかった。

これからの佐倉市に望むこと

- 子育て支援の拡充、リモートワークをサポートする環境を整える、マーケティング、観光を発信する。
- 公共施設は防災上でも必要な施設なので、稼げるシステムを考えて、潰すのは最小限にした方がいいと考える。(学校・体育館、廃校利用)
- 住民主体のまちづくり、ボトムアップのまちづくりを行うべき。
- 廃止した施設を新しい目的でどう活用していくのか検討(完全新設ではなく、課題に合った改善を加えて)
- あれもこれもできないので、どんな街にしたいかを意識するべき。



課題に合った改善

防災上必要な施設

稼げるシステム

住民主体・ボトムアップのまちづくり

ワークの振り返り	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班
----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

公共施設マネジメントゲームの感想

- 小学校をどう維持していくか、現在の小学校にも複合化が必要かと考えた。
- 30年後以降の財政が心配。
- 今回は「子ども」と「高齢者」で考えたけど、もっとたくさんの人たちがいるから、本当の「まちづくり」はきっとこういうゲームよりお金も考えもいろいろ必要だと思う。
- ゲームでは機能を集中させたり、複合化することで合理的に配置をしたが、現実的ではなかった。
- ゲームでは人はコマとしてみてたので、本当に人だった場合にD地区に愛着を持っている人がかわいそうで大丈夫かなと思いました。

これからの佐倉市に望むこと

- その時の状況に合わせて施設をなくしていくために人口やアンケートの意見等をデータ化、可視化するとよいと思う。
- 市全体として、どうやってお金を稼ぐか。
→人を呼び込む、もっと観光地化するなど
- 子どもと高齢者で分けすぎないこと、高齢者と子どものつながりを強化する仕組み。
- 小学校で高齢者の活躍の場を作る。
→市としての一体感が生まれる。
- 昔と現在で異なる点は地域の人々のつながり
→大人と子供の距離を近づける何かを行えるといい。
- 佐倉は楽しいところだと思わせて人口を増やす。



小学校での高齢者の活躍の場

意見等のデータ化、可視化

お金を稼ぐ

大人と子供の距離を近づける仕組み

3. 第2回ワークショップ(地域回)

3-1 ワークショップの流れ

(1) 【Step1】第2回ワークショップの目的を説明

事務局より、第2回ワークショップの位置づけおよびねらいについて説明し、第1回ワークショップの結果を振り返りました。説明の概要は以下のとおりです。

- 本ワークショップは、公共施設再配置方針を策定するに当たり、「地域の声」をしっかりと把握し「行政と市民」で一緒に考える場である。
- 第1回ワークショップを終えて実施したアンケートでは、96%の参加者が「公共施設マネジメントが必要だと感じた」と回答した。
- 本ワークショップの目的は、参加者が「ぜひとも関わりたい自分事」として公共施設のあり方を考え、「公共施設を活用した地域の課題解決のアイデア」を提案することである。
- 本ワークショップの最終的なゴールは、各グループに「地域にとっての優先順位」および「実現のためのアイデア」をポスターセッション形式で発表すること。

配布資料	・ 第1回ワークショップ振り返りスライド ・ 第1回ワークショップのかわら版 ・ 地区カルテ ・ 公共施設再配置方針(中間案) ・ 行動表および付箋の記入例
------	--

(2) 【Step2】 ライフサイクルコスト(LCC)啓発講座

ワークショップに記録係として参加した、株式会社オリエンタルコンサルタンツの職員が、建物のライフサイクルコストに関して講演を行いました。講演の概要は以下のとおりです。

- 建物をできるだけ長期にわたり使用できるようにするためには、耐久性に優れた材料・工法の導入や点検・診断の強化等の長寿命化対策を行うことが重要となる。長寿命化対策を実施した建築物の寿命は、およそ 75 年とされる。
- 建物のライフサイクルにおいては、新設・改修費よりも光熱水費・点検費のようなランニングコストの占める割合の方が高い。そのため、公共施設を保有する上でも、ランニングコストを含めた全体の維持管理費を踏まえてマネジメントする必要がある。

(3) 【Step3】 グループ内での自己紹介・第1回ワークショップの振り返り

千葉大学の柳澤要先生または湯浅かさね先生による進行の下で、アイスブレイクとしてグループ内で自己紹介をした後に、第1回ワークショップに対する感想や意見について振り返りました。

(4) 【Step4】 ワーク①:行動分析

ワーク①として、参加者の普段の行動を付箋に書き地図に張り付けることで、利用頻度の高い施設や頻繁に行っている行動を地図上に可視化しました。具体的なワークの内容は以下のとおりです。

個人ワーク	・ 各参加者は付箋に、①行動番号、②行動(小分類)、③施設名を記入する。(行動番号とは、社会生活基本調査にて分類された行動を基に独自で設定した番号を割り振ったもの) ・ 付箋は利用頻度に応じて色分けする。(週1以上:赤、月 1 以上:黄、年1以上:緑) ・ 公共施設とそれ以外を区別するために、公共施設は施設名を○で囲む。 ①番号②行動 ①番号②行動 ①番号②行動 ③施設名 ③施設名 ③施設名
グループワーク	・ 佐倉市の 1/10000 地図上に付箋を貼りつける。



(5) 【Step5】ワーク②:地域課題の抽出

ワーク②として、参加者が普段の生活で感じている地域の課題を付箋に書き出し、ワーク①で使った地図の上に張り付けることで、行動と課題の関係を地図上に可視化しました。具体的なワークの内容は以下のとおりです。

個人ワーク	- 各参加者は青い付箋に、①課題だと思うこと、②なぜそれが課題だと感じているか、③場所や施設名を記入する。 1つの課題について1枚の付箋を使用する。	① 課題 ② 理由 ③ 施設名
グループワーク	佐倉市の1/10000 地図上に付箋を貼りつける。	



(6) 【Step6】発表・講評

ワーク①およびワーク②の結果について、各グループの代表者に発表いただきました。

また、ワークショップの進行を担当していただいた千葉大学の柳澤要先生または湯浅かさね先生から、講評をいただきました。

3-2 志津北部地区 ワーク結果

志津北部地区は2班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:行動分析、ワーク②:地域の課題抽出をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 志津北部地区:1班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

買い物

タイヨー
イオンタウン
ユーカリプラザ
イオンタウン
ユーカリプラザ
ヤマダ電機

食事

イオンタウン
スシロー
寿司やまと
ユーカリプラザ

ボランティア

小竹小学校
小竹小学校

運動

ジムプール
佐倉道を歩く会
志津公民館

参拝

お寺
通勤
ユーカリ駅

学習会

市民音楽ホール(ハーモニーホール)
国立歴史民俗博物館
中央公民館
根郷公民館

受診

成田赤十字病院(市外)
小林医、大木眼科
ユーカリが丘とくやま内科クリニック
工藤医院

講座参加

志津コミュニティセンター
中央公民館
志津コミュニティセンター

読書

志津図書館 ×②

合唱団(演奏・鑑賞)

志津公民館
市民音楽ホール(ハーモニーホール)

青色防犯パトロール

井野地域

映画鑑賞

ユーカリプラザ

こどものおうち運営

みんなのおうち中志津

卓球

志津コミュニティセンター

図書館

図書館(八千代市)

ボウリング

ユーカリボウル

料理クラブ

集会所

浪曲

志津市民プラザ

選挙

小竹小学校 ×②

温泉

すみれ温泉

佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

市役所

税金支払い

ユーカリ出張所

その他

市役所

人間ドック

病院

福祉まつり参加

志津コミュニティセンター

勉強

井野中学校

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 小竹小学校・志津小学校・井野小学校／教育・選挙・避難

(主な意見)

- ・ 公共施設の中で、最も重要なのは教育機関である。
- ・ 小学校は選挙時の投票所としても利用されている。
- ・ 小学校は災害発生時の避難所としての役割も有しているため、施設としての重要性が高い。

② ユーカリが丘駅周辺／通勤、買い物、食事、映画鑑賞

(主な意見)

- ・ ユーカリが丘駅は、通勤時等の移動で頻繁に利用している。
- ・ ユーカリが丘駅周辺には、ユーカリプラザなどの買い物や食事のできる施設が集積しており、利便性が高いため重要。
- ・ ユーカリプラザには、映画を見る目的でも行くことがある。

③ 志津北部中心部／各種講座の受講、祭りへの参加

(主な意見)

- ・ 志津コミュニティセンターでは、各種講座やふくし祭りなどが開催されており、志津北部地区において重要な施設である。
- ・ 志津コミュニティセンターの近くにあるユーカリが丘南公園でもユーカリまつりが開催されているため、志津北部の中心部として重要な場所である。

ワーク②：地域の課題抽出

① 利用しづらい／志津コミュニティセンター

(主な意見)

- ・ 志津コミュニティセンターには魅力的なイベントがない。
- ・ 高齢化に伴い徒歩移動が苦手になり、交通手段を自動車に依存している。
- ・ 利用可能な部屋数が少ないため使いづらい。
- ・ 北志津児童センターの蔵書数が少なく、利用しづらい。

② 駅のバリアフリー化が不十分／ユーカリが丘線

(主な意見)

- ・ 駅にエレベーターが設置されておらず、高齢者にとって利便性が低い。

③ 施設の老朽化／自治会集会所・小中学校

(主な意見)

- ・ 自治会集会所の施設の老朽化が進んでいるため、コミュニティを維持するために費用がかかる。
- ・ 小中学校の施設の老朽化が進んでおり、教育施設としての環境の整備や品質の確保が懸念される。

④ 駐輪場が遠い／ユーカリプラザ

(主な意見)

- ・ 通勤時にユーカリプラザの駐輪場を使用しているが、距離が遠い。

⑤ 駐車場が無い・停めにくい／志津北部地域包括支援センター・ユーカリが丘郵便局・佐倉図書館

(主な意見)

- ・ 包括支援センターに自動車を停めるスペースがないため不便
- ・ 包括支援センターの利用者には足の不自由な方もいるため、駐車場がないのは問題である。
- ・ ユーカリが丘郵便局に自動車を止めるスペースがないため不便

- ・ 佐倉図書館の駐車場は自動車を止めにくく、利用しづらい。

(解決策のアイデア)

- ・ 小学校への複合化を行い、空いている場所を駐車場として利用する。
- ・ 公共サービス機能を小学校の空きスペースに移動する。

⑥ 違法駐車が多い／中央通り

(主な意見)

- ・ 中央通りに違法駐車が多い。
- ・ 自動車で移動することが多いが、利用可能な駐車場が少ない。

(解決策のアイデア)

- ・ 中央通りの違法駐車を取り締まりを強化する。



⑦ 交番・消防署が身近でない／交番・消防署全般

(主な意見)

- ・ 交番に誰もいないときが多い。
- ・ 消防署には閉塞感があり、親しみ易さに欠ける。

⑧ イオンタウンへの来訪者が減少している／イオンタウン

(主な意見)

- ・ イオンタウンのテナントが少なく、客足も遠のいている。

⑨ 空き家の増加／市内全域

(主な意見)

- ・ 高齢化に伴って特に戸建ての空き家が増加し、相続が放棄される事例もあることから治安や環境の悪化が懸念される。

⑩ 公共施設の利用減少／市内全域

(主な意見)

- ・ 年々高齢化が進んでおり、高齢者夫婦や独居の高齢者が増加している。そのような人々の活力が低下し、外出が抑制されることで、公共施設の空きが多くなるのではないか。

(2) 志津北部地区:2班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上

月1回以上

年1回以上

買い物

オーケー ユーカリが丘店
×②
イオンタウン ×④
ユーカリプラザ

散歩

ユーカリが丘の街並みの
良い所

育児

志津市民プラザ

地域イベントへの協力

南公園

移動

モノレール
ユーカリが丘駅 ×③
志津駅

食事

駅前

映画鑑賞

ユーカリプラザ(映画館)

読書

志津コミュニティセンター
図書館

学習

井野中学校
小竹小学校
井野中学校
夢咲くら館

散髪

ヘアーサロンエクセル
美容室

くつろぎ

佐倉城址公園

夏まつり

南公園

趣味

佐倉市立美術館
川村記念美術館
佐倉図書館

あそび

南公園

さんぽ

上座総合公園

発表会

市民音楽ホール

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① ユーカリが丘駅周辺／移動(通勤)、食事、美容室

(主な意見)

- ・ ユーカリが丘駅は地域の中心であり、駅周辺が発展しなければ町の発展も期待できない。
- ・ 商業店舗の入れ替わるサイクルが短く、店舗のチョイスにもセンスが感じられない。もっと地域住民が希望するような店舗に入ってもらいたい。
- ・ 特急列車が停車するようになるとよい。

② 小竹小学校／学習、避難訓練、選挙の投票

(主な意見)

- ・ 教育の場として大事なのもちろんだが、投票所にもなっていてコスパがいいと言える。

③ イオンタウン ユーカリが丘／買い物

(主な意見)

- ・ 買い物や飲食と合わせて様々な目的で利用され便利(保育園、眼科、歯科、クリニックなど)

④ 志津コミュニティセンター、多目的グラウンド／趣味、読書

(主な意見)

- ・ 講演会や発表会などで大人数が集まることができる大ホールがある。
- ・ 多目的グラウンドが併設され、屋内と屋外の両方を一体的に使えるところは便利である。
- ・ 地域の避難所になっているほか、地域のお祭りの会場にもなっている。

⑤ ユーカリプラザ(YOU! PLA)／買い物、映画

(主な意見)

- ・ 映画館もあり、様々な楽しみ方、過ごし方ができる。

(上記以外の主な意見)

- ・ 趣味や学習のため、夢咲くら館(市立図書館など)、市立美術館などが利用されている。
- ・ 散歩や運動のため、上座総合公園や岩名運動公園を、くつろぎのため、佐倉城址公園などが利用されている。

ワーク②:地域の課題抽出

① 駅周辺の利便性や魅力の不足／ユーカリが丘駅周辺

(主な意見)

- ・ 人口が集中しているところから改善していくことが街の活性化に効果的である。
- ・ 通勤のついでに立ち寄れる場所が少ない。
- ・ 良いお店がなく、市外から友人を呼びにくい。
- ・ 集まりやすい場所(飲食店等)がなく、地域コミュニティ形成の阻害要因となっている。
- ・ ジョイナードに空き店舗が目立つ。駅周辺の賑わいが不足し、歩いて楽しいまちになっていない。
- ・ ウィシュトンホテル／宿泊以外の使い道(コミュニティ活動等)があるのに知られていない。スペースのコスパに問題がある。
- ・ 限られた列車しか停車しない。

② 空き店舗が多い／イオンタウン ユーカリが丘

(主な意見)

- ・ 空き店舗が多い。いいお店がない。本屋がない。
- ・ コロナ禍の時は、コロナワクチンの大規模接種会場にもなっていた。

(課題解決のアイデア)

- ・ コロナワクチンの大規模接種会場として利用されたように、人がたくさん集まる場所の利点を生かした、買い物以外の機能をもった複合施設の可能性があるのではないかと。

③ 災害時の避難場所／小・中学校

(主な意見)

- ・ 市内でも人口が多い地区であり、全員が避難するためには場所が不足しているのではないかと。
- ・ 小・中学校は施設も老朽化しており、避難所として利用するには危険ではないかと。

④ 歩道の整備／ユーカリが丘の歩道

(主な意見)

- ・ 歩道の舗装がガタガタ、ボコボコであり、徒歩やランニングがしづらい。

⑤ 利用者が少ない／志津図書館

(主な意見)

- ・ 利用者が少ない。

(課題解決のアイデア)

- ・ 他の提携する施設でも借りられるようにしてもらいたい。



⑥ 利用されていないスペース／北志津児童センター

(主な意見)

- ・ 使われていない部屋があるのにそのままにしておくのはもったいない。

⑦ 利用者が少ない／山万ユーカリが丘線

(主な意見)

- ・ 運賃が高くて敬遠する。

(3) ワークに対する講評

千葉大学 湯浅先生

- 両グループともに『学校』の多面的な機能に着目していた。一つの機能に限定せず、多様な使い方を考えていくことは今後の問題解決に向けた大事なポイントになるのでとてもいい議論と感じた。
- 「公共施設」と「民間施設」で別々に分けて考える必要はない。例えば、イオンタウンについて、買い物以外の利用用途として『コロナワクチンの大規模接種会場』になっていた、という意見があった。人がたくさん集まる場所の利点を生かすなどして、買い物以外の機能をもった複合化の可能性もあるのではないか、と感じた。

3-3 志津南部地区 ワーク結果

志津南部地区は 3 班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:行動分析、ワーク②:地域の課題抽出をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 志津南部地区:1班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

買い物

イトーヨーカドー八千代店
オーケー ユーカリが丘店
イオンタウン
ヨークマート(八千代市)
ベイシア
マルエツ
イオンタウン
滝口酒店

アルバイト

裁判所

育児
ことり保育園(八千代市)

家庭菜園
畑

楽器の演奏

島村楽器
ライブハウス サウンドスト
リーム

社会参加

中志津一号公園

趣味

ときわ書房

健康診断

古谷内科

英会話

志津公民館
中央公民館

テニス

ニッケテニススクール

飲み会

居酒屋
都内

佐倉市議会

佐倉市役所

社交ダンス

—
白井公民館

バウンドテニス

小竹小学校体育館

会合

西志津佐倉自治会館

散髪

Cut off

食事

オリーブの丘
弘祥

受診

こばやし医院
高橋歯科
東邦病院
佐倉市民体育館

給油

ENEOS

祭りの出典

多目的広場

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 志津駅周辺／移動、買い物

(主な意見)

- 志津駅前の再開発が必要。まだまだ発展していく可能性がある。

② ニッケテニスドーム佐倉／スポーツ

(主な意見)

- テニスが楽しく、週 2 回行っている。次に行くのが楽しみで、結果的に健康寿命を延ばすことに繋がっている。健康寿命を延ばすことは医療費削減に繋がり、若者の負担軽減にも貢献している。

③ イトーヨーカドー、Fululu Garden (八千代市)／買い物

(主な意見)

- クルマで行けて便利。

- ・ 生活必需品が揃う。

④ 東邦病院／受診

(主な意見)

- ・ 定期的に治療のために通院しており、欠かせない施設である。

⑤ 中志津1号公園／社会参加活動

(主な意見)

- ・ 毎月公園でイベントを実施しており、地域の方と交流する場になっている。

⑥ 西志津佐倉自治会館／地域の会合

(主な意見)

- ・ 地域の住民が気軽に集まれる場所になっている。(カラオケ、趣味の集まり等)

(上記以外の主な意見)

- ・ 趣味や学習で志津図書館や西志津ふれあいセンターが利用されている。隣接するマルエツも食料品や日用品の買い物で利用されている。
- ・ 日常の買い物の他、保育園、歯科、内科などでも、八千代市内の施設が多く利用されている。市民は行政界を特に意識せずに利用している。

ワーク②：地域の課題抽出

① 駅前の賑わい／志津駅周辺

(主な意見)

- ・ 商店街がさびれている。
- ・ 日中のバスの運行本数が少なく、高齢者もクルマの運転が必要
- ・ 現役世代は通勤・通学のため志津駅を使うが、リタイアした世代が利用することは少ない。
- ・ 駅から遠い場所への交通手段があまりない。

(上記以外の主な意見)

- ・ 市営共同墓地がない。安く入れる墓地が必要である。
- ・ 小学校までが遠い。
- ・ 志津公民館は、おもしろい講座がない。
- ・ 年金で入居できる総合高齢者施設が必要である。
- ・ 市立幼稚園が減少している。安く入れる幼稚園が必要である。
- ・ 書店がない。
- ・ 高齢者や体の不自由な方が買い物等で使える移動手段が必要である。自動運転バス等の導入



- ・ ユーカリが丘は人口が多く、どこの病院も混んでいる。病院を増やしても需要に追いついていない。
- ・ スポーツや会合、その他に必要なに応じて使える多目的施設が必要

(課題解決のアイデア)

- ・ 志津南部地区は、八千代市の施設や店舗を日常的に利用することが多い。自治体連携による公共施設の相互利用などの仕組みが有効ではないか。(湯浅先生)

(2) 志津南部地区:2班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上

月1回以上

年1回以上

買い物

イオンタウン
ベルク ×②
トップマート
D2
イオンタウン

移動

京成志津駅
京成志津駅

読書

志津図書館分館
西志津図書館
西志津図書館

楽器の演奏

さくら自治会館

食事

居酒屋「良ちゃん」
より処 えん
元氣志津駅前店
滝口酒店
菊富士二号店志津店

くつろぎ

珈琲館

イベント交流

中志津一号公園 ×②

カラオケ

ビッグエコー(ユーカリが丘駅前)

仕事

志津児童センター
滝口酒店

子どもの送迎

ひだまり歯科

部活動支援

志津中学校
佐倉西高校

自治会

上志津二区自治会館

通学

京成志津駅

美術鑑賞

佐倉市立美術館
佐倉市立美術館 ×②

スポーツ

多目的公園

通勤

京成志津駅

受診

さくら志津クリニック
さくら志津クリニック

選挙

小竹小学校

パート

職場

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 図書館／読書

(主な意見)

- ・ 主に図書館を活用するため。
- ・ 買うよりも図書館を利用する方が、多くの本を読むことができ、調べものをする上で役立つ。

② 志津市民プラザ／仕事

(主な意見)

- ・ 多くの施設が整っており、いろいろな人と交流できる。

③ 中志津一号公園／イベント交流

(主な意見)

- ・ 月に1回開催されるイベントに参加しており、多くの方と交流できてよい。
- ・ 新たな出会いや発見がある。
- ・ 独特の賑わいがある。
- ・ イベント後、ボランティア活動として清掃も実施している。



④ 滝口酒店／仕事

(主な意見)

- ・ イベントの会議を行うために活用している。

⑤ 多目的公園／スポーツ

(主な意見)

- ・ 芝生(緑)があり、癒される。

ワーク②:地域の課題抽出

① 利用者特性に応じた運営／図書館

(主な意見)

- ・ 障がい者に対する理解が必要だと感じた。
- ・ 子供が利用する場合、多少騒いでいても許容されるような図書館があるとよい。
- ・ 厳しく指導され利用しづらくなった。

② 子育てしやすいまちづくり／学童等、公園

(主な意見)

- ・ 放課後の子供の居場所が少ない。
- ・ 学童保育所は、過密状態であり、待機児童が多い。(特に下志津、南志津小学校あたり)
- ・ ボール遊びができる公園が少ない。

③ 文化系施設の充実／美術館、本屋

(主な意見)

- ・ 美術館や本屋の数が少ないと感じている。

④ 公共施設の配置／公共施設全般

(主な意見)

- ・ 市役所周辺に密集しており、志津地区からだと距離(3 駅)がある。

⑤ 医療施設の充実／内科、小児科

(主な意見)

- ・ 歯医者が多すぎるほどあるが、内科、小児科が少ない。

⑥ 駅周辺の治安の改善／駅周辺

(主な意見)

- ・ 暗くなってから、駅周辺の駐車場での飲酒等が気になる。

(3) 志津南部地区:3班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上

月1回以上

年1回以上

買い物	コミュニティ活動	イベント	移動
イオンタウン	イオンタウン	中志津一号公園	京成佐倉駅
ウエルシア佐倉志津店			
宮脇書店	スポーツ	くつろぎ	授業参観
ベルク	西志津多目的広場	ケンタッキー	西志津小学校・中学校
イオンタウン			
ベルク	通学	公園活用	趣味
	駅前駐輪場	中志津一号公園	ユーカリプラザ
仕事			
仕事場	人に会う	自習	選挙
会社	宮脇書店	志津児童センター	上志津小学校
食事	読書	地域食堂	その他
弘祥	志津図書館 ×③	染井野ふれあいセンター	志津児童センター
イオンタウン			
サイゼリヤ	育児	哲学cafe	ピアノの演奏会
	志津児童センター	スカイプラザ	市民音楽ホール
	志津中学校		
集い		友人との時間	ラジオ体操
滝口酒店	受診	イオンタウン	西志津多目的広場
滝口酒店	病院		
	西川整形外科	相談	
アルバイト		佐倉市役所 ×③	
塾(志津駅前)			

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① イオンタウン／買い物、食事、コミュニティ活動

(主な意見)

- ・ 外食や友人と過ごす際に利用しており、様々な目的で利用できるため利便性が高い。
- ・ コミュニティ活動を行う際にも利用している。

② 市民音楽ホール／ピアノの発表会

(主な意見)

- ・ 音の響きが良く、贅沢な雰囲気がある点が気に入っている。

③ 西志津多目的広場／スポーツ

(主な意見)

- ・ スポーツや散歩する場所として最適。これほど大きい広場は見たことがない。
- ・ 子どもが遊べる場所が限られているため、利用の自由度が高い広場の存在は重要である。

④ 滝口酒店／集い

(主な意見)

- ・ 滝口酒店には様々な属性を持つ人々が集まり、会いたい人たちに会える場所として大事に思っている。
- ・ 色々な人々と交流できる場所である。

⑤ 志津図書館／学習、くつろぎ

(主な意見)

- ・ 好きな本が見つかり、学習することができる場所として重要
- ・ くつろげるスペースにもなっている。



ワーク②:地域の課題抽出

① 志津駅周辺に魅力がない／志津駅周辺

(主な意見)

- ・ 人の往来が活発な場所であるにもかかわらず、行きたいと思える場所がないため不便に思う。
- ・ 行きたいと思うお店が無く、駅前なのに魅力を感じない。
- ・ 駅ビルを含め、志津駅前が閑散としている。
- ・ 町全体のイメージとして、活気が無さそうに感じる。
- ・ 交通の便の良さが活かされておらず、もったいない。
- ・ 志津駅周辺に問題が集中している。
- ・ 新しい建物や施設が出来れば、志津に対する印象も良い方向に変わるのではないか。

② 買い物が不便／志津ステーションビル

(主な意見)

- ・ 駅から直結で志津ステーションビルに行けると便利
- ・ スーパーがあると便利

③ 身近な子どもの居場所が少ない／志津児童センター・ルームさくら等

(主な意見)

- ・ 志津児童センターに行くためには自動車で向かう必要があるなど、子どもが遊べる屋内の場所が徒歩圏内にない。
- ・ 学童以外で子供が集まることができる場所が少ない。子供の自信につながる居場所が欲しい。
- ・ 子育てしやすい街にしてほしい。

④ バスでの移動が不便／京成志津駅

(主な意見)

- ・ バスの本数が少ないため、特に天候の悪い昼間などは移動が大変

⑤ 建物の老朽化／西志津小・中学校

(主な意見)

- ・ 建物が古く、行くたびにどんよりした気持ちになる。

⑥ 図書館のような施設が欲しい／下志津・中志津周辺

(主な意見)

- ・ 下志津・中志津周辺で気軽に行ける場所がない。下志津原周辺は人口が少ない気もするため、仕方ないと思う。

⑦ 施設の必要性が不明／西部保健センター

(主な意見)

- ・ 日常生活において、どのように施設の存在意味があるのか分からない。

⑧ イオンタウンの魅力が減少／イオンタウン

(主な意見)

- ・ イオンタウンに入っているテナントが減少しており、客足も遠のいているように感じる。
- ・ さびれてきている。

⑨ 職員の態度が横柄／志津市民プラザ

(主な意見)

- ・ 志津市民プラザの職員の態度が横柄であり、利用する人の気持ちを下げる。志津から人(心)が離れてしまいます。
- ・ 実際に、志津市民プラザを避けて他の施設を利用することもあった。

⑩ 赤ちゃんが楽しめる食事処がない／カフェ全般

(主な意見)

- ・ 赤ちゃんが親と同じレベルで食事を楽しめる場所がない。
- ・ 赤ちゃんは基本的にベビーカー上で過ごすしかない。

⑪ コミュニティ活動の応援／市内全域

(課題解決のアイデア)

- ・ コミュニティ活動の応援として、市民のボランティア活動やコミュニティ活動を活発化できる場の提供や後押しが欲しい。場所は、公民館、センター、商業施設など、どんな施設でも良い。
- ・ 個人が行っている市民活動とまちづくりとを合わせて考えることで、志津地域全体が輝けるのではないかな。

(4) ワークに対する講評

千葉大学 湯浅先生

- 各グループとも活発に議論が行われていた。1枚の付箋紙に書かれている文字数が多いのも、この地区の議論の特徴だと思いながら見ていた。
- 志津南部地区は八千代市との市境に近い。1班の討議では、日常的に利用することが多い施設として八千代市内にある施設や店舗が多く挙げられた。地域住民は行政界を意識せず、勝田台のほうまで生活圏を広げている。公共施設の利用に関しても、今後は隣接する自治体との広域連携が有効なのではと感じた。
- 『中志津1号公園』は全グループ共通して重要な活動場所として挙げられていた。毎月イベントをしていてとても魅力的な場所であることが伝わってきた。
- 3班の発表に関し、社会参加活動をしたい市民は多くいるが、活動できる場所がない、活動を支援するサービスが少ないことが課題であると明確に指摘している点がよかった。
- 国土技術政策総合研究所が2016年ごろに実施したアンケートでも、地域で活動したい人々に向け、活動の実現にむけた障害を聞いたところ、『施設管理者の同意』、『行政の許可』が上位に挙げられている。
- 行政に対し、市民の活動に活用できそうな場所を聞いたアンケート調査では、市民が活用したいと思うような公園や市役所、公民館などが挙げられている。にもかかわらず、現状のようなミスマッチが起きている。これが現実であり、ワークの意見にも現れていると感じた。

3-4 臼井・千代田地区 ワーク結果

臼井・千代田地区は2班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:行動分析、ワーク②:地域の課題抽出をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 臼井・千代田地区:1班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上

月1回以上

年1回以上

買い物

レイクピアうすい

ヤオコー ×③

D2

イオンモール

レイクピアうすい ×②

仕事

老幼の館 ×②

市役所

小学校

くつろぎ

レイクピアうすい

レイクピアうすい

散歩

七井戸公園

草ぶえの丘

図書利用

志津図書館

臼井図書館

志津コミュニティセンター

テニス

印旛沼サンセットヒルズ

音楽・絵画鑑賞

市民音楽ホール

病院

東邦病院

ボランティア

ひまわりの里

臼井南中学校

老人憩いの家

千代田・染井野ふれあいセンター

移動

京成臼井駅

会議

千代田・染井野ふれあいセンター

防災訓練

防災会館

検診

健康管理センター

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① レイクピアウスイ／買い物、休憩

(主な意見)

- ・ とにかく駅に近く、いろいろなお店が揃っていて便利である。
- ・ 買い物のついでに3階の公共施設に立ち寄って休むこともある。

② ヤオコー／買い物

(主な意見)

- ・ 近くの七井戸公園で散歩もできるので週末に家族で出かけることが多い。

③ 老幼の館／仕事(職場)

(主な意見)

- ・ 近隣の子供たちがたくさん利用している。

④ 臼井公民館、市民音楽ホール(佐倉ハーモニーホール)／趣味・娯楽

(主な意見)

- ・ 音楽・展示イベント、図書館、趣味のサークル活動など、色々な楽しみ方ができる。

(上記以外の主な意見)

- ・ ボランティア活動のため、ひまわりの里や老人憩の家、臼井南中学校などを利用している方もいた。

ワーク②：地域の課題抽出

「施設名」が理由で利用に抵抗がある人もいる／市内全域

(主な意見)

- ・ 「老人憩の家」、「農村婦人の家」など、施設の名前だけで利用に抵抗がある、近寄りがたい印象を持つ人もいる。
- ・ 今の時代に合っていない施設名称がある。
- ・ 過去に「老幼の館」の名称について施設利用者にアンケート調査をしたことがあるが、「このままでよい」という意見が多く、その時は名称変更を検討されることはなかった。既に馴染みのある利用者にはいいが、施設内容を知らない人にとって「～の館」から想像されるイメージがネックになることもあるのではないかと。「温浴施設」があると思って訪れてきた市民もいた。

(課題解決のアイデア)

- ・ 施設の目的を分かりやすく伝えつつ、利用したくなるような施設名に変更する、愛称を付ける。これならお金をあまりかけなくても改善できる。
- ・ 「ハーモニーホール」や「ひまわりの里」は、響きがよく、かわいいネーミングでいい例なのでは。

施設間のつながりが希薄、施設が存在が知られていない／市内全域

(主な意見)

- ・ 子育て支援施設が周辺にあったとしても、知らない市民が多い。
- ・ 似たような施設があっても、相互の案内・紹介がないので、利用が偏っている。

(課題解決のアイデア)

- ・ 例えば、レイクピアウスイのような地域住民が多く利用する施設で周辺の施設を紹介・周知すれば、もっと知られて利用されるようになるのではないかと。
- ・ 同じような市民サービスの施設が複数ある場合、もっと施設の紹介を相互にし合えば、利用の促進や利用の平準化につながるのではないかと。

クルマで利用しにくい、クルマがないと行けない／臼井・千代田地区全体

(主な意見)

- ・ 必ず混雑する区間がある。
- ・ 駐車場が狭い、道路から施設への出入りが難しい、などクルマで利用しにくい施設がある。
- ・ クルマがないとアクセスできない施設もある。
- ・ 七井戸公園の駐車場が少ないが、近くにはヤオコーの駐車場があるため、相互に利用できるようになるとよい。

(課題解決のアイデア)

- ・ 地域の道路事情の改善
- ・ クルマ以外でのアクセス手段も考慮する。(鉄道、バス等)

娯楽・スポーツ施設が少ない／臼井・千代田地区全体

(主な意見)

- ・ 臼井・千代田地区では、趣味や娯楽、スポーツができる施設が少ない。

(課題解決のアイデア)

- ・ レイクピアウスイのように人が多く集まる施設の周辺に併設してつくと効果的ではないか。

利用する機会が少ない／市民音楽ホール(佐倉ハーモニーホール)

(主な意見)

- ・ 利用する機会が少ない。

(課題解決のアイデア)

- ・ もっと市民に開かれた講座やワークショップがあるとよい。

施設が利用しにくい雰囲気／臼井公民館図書室

(主な意見)

- ・ 老朽化していて、暗い、汚い、狭いなどの雰囲気だけで利用を躊躇してしまう。

(課題解決のアイデア)

- ・ 施設の『入りやすさ』はとても重要なので、入り口を明るくする、看板を明るく見やすくする、看板のデザインを統一するなど、ちょっとした工夫で雰囲気や第一印象を変えてみてはどうか。
- ・ 『清潔感』もとても重要なので、トイレをきれいに保つ、古い内装を明るくきれいにするなども大事ではないか。

施設の老朽化、狭さ／臼井老幼の館

(主な意見)

- ・ 建物が老朽化している。
- ・ 利用者が多い割に、施設が狭い。

(課題解決のアイデア)

- ・ 「老幼の館」は利用率がとても高いため、比較的空いている「千代田・染井野ふれあいセンター」の利用も促し、同じように利用してもらってはどうか。



施設が利用されていない／千代田・染井野ふれあいセンター、老人憩の家 千代田荘 など

(主な意見)

- ・ 利用者が少ない。

(課題解決のアイデア)

- ・ 一施設で様々な用途で利用できるようにしたほうがいいのでは。

(2) 臼井・千代田地区:2班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

乳幼児の世話・送迎	買い物	美容院・エステ	料理のテイクアウト・食事会
レイクピアうすい	レイクピアうすい ×③	場所要確認	ノーチェ ×②
老幼の館	ウェルシア	楽器の演奏	風流
森のようちえん	イオン ユーカリが丘店	八幡台自治会館	
夢咲くら館	ヤオコー	(子供と)遊ぶ	事務作業
家族と団らん	マツキヨ	七井戸公園	コメダ珈琲
忍公園 ×②	ダイソー	上座公園(プール)	会合
佐倉市立美術館	寺崎ベシア周辺	フォレスト岩名	喫茶店 さびゆう
上座公園 ×②	市民活動などの会議	保育・子供の付き添い	行政手続き
佐倉城址公園 ×②	市役所	老幼の館	臼井出張所
八幡台図書公園	イベント開催	夢咲くら館	市役所
佐倉ふるさと広場 ×②	大手門跡広場	社会活動	リラクゼーション
移動	英会話サロン	草ぶえの丘	スーパー銭湯
京成臼井駅	佐倉中央公民館	交際・子ども食堂	墓参り
JR佐倉駅	美術鑑賞	弥富公民館	場所要確認
バス(はっちまん)	DIC川村記念美術館×②	人の案内	ドライブ・農村訪問
草刈り整備	整体	和田ふるさと館 展示室	和田直弥地区
佐倉里山自然公園	場所要確認		
介護			
場所要確認			

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① レイクピアウスイ／買い物・乳幼児の世話

(主な意見)

- ・ 京成臼井駅に近くて行きやすい。
- ・ 車がないと買い物も大変。
- ・ 子供が遊ぶスペースがあるので安心して買い物できる。

② 老幼の館／乳幼児の世話

(主な意見)

- ・ 子供を遊ばせによく行く施設。

③ 公園全般／乳幼児の世話

(主な意見)

- ・ いろんな公園に行くのでどの公園が重要とは選べない。
- ・ 上座公園のプールはなくさないでほしい。
- ・ 公園は子供を遊ばせるだけではなくて、家族との団らんや、スポーツ、リフレッシュ、色んな場面で重要。

④ 新町地区一帯(夢咲くら館)／子供のつきそい

(主な意見)

- ・ 新町地区一帯は、いろんな施設があるので立ち寄りたくなる。
- ・ 城下町の風景も残っており、文化・交流の拠点になっている。
- ・ 新しくできた「夢咲くら館」の図書館に子供の付き添いで行く。

⑤ 佐倉城址公園／家族団らん

(主な意見)

- ・ 春になると桜がきれいで行きたくなる。
- ・ 駅から遠いのが難点。

ワーク②：地域の課題抽出

① 公共交通手段が少ない／市内全域

(主な意見)

- ・ 子どもや運転できない人は恵まれた施設があってもそこに行けない。
- ・ バスも走っているが、本数が少ない。
- ・ 京成佐倉駅と JR 佐倉駅を繋げる交通手段がもっとほしい。

(解決策のアイデア)

- ・ はっちまんのような地域コミュニティバスの便数を増やす。
- ・ 定額制の料金にすれば利用が促進されるのではないか。

② 歩道が狭い／296号線道路

(主な意見)

- ・ 交通量が多く、歩くと危険を感じる。

③ 施設が分かりにくい／子育て支援センター(レイクピアウスイ)／市民音楽ホール

(主な意見)

- ・ 施設の情報発信が分かりにくい。分かりにくいからその施設を知っている人が少なく、利用者が少ないのではないか。レイクピアウスイに子育て支援スペースがあることもあまり知られていない。
- ・ 情報発信がないので、利用の機会が少ない。もっと市民に開かれた講座やワークショップがあれば良い。

(解決策のアイデア)

- ・ その公共施設で何ができるのか、ぱっと見て分かるようなデザイン性が統一された看板があると良い。子育て支援、高齢者支援、休憩などの機能。
- ・ 分かりやすいデザイン性も重要。



④ 図書館が各学区から遠い／千代田地区・市内全域図書館

(主な意見)

- ・ 臼井・千代田地区に限らず図書館は車がないと行きにくい場所にあるため、子供が行きづらい。
- ・ 本は余っているはずなので小さな図書館や学校の図書室を利用出来たら良い。

⑤ 子育て支援センターのおもちゃ・本の選定がいまいち／市内全域の子育て支援センター(夢咲くら館)

(主な意見)

- ・ 新しくできた「夢咲くら館」のおもちゃは特にコンセプトもなく適当なプラスチック製のものが多く、残念に感じた。せっかく新築したのだから、施設に置く備品にもこだわりを持って選んでほしい。
- ・ 自宅にはない、揃えられない木のおもちゃや本があれば子育て環境の魅力にもつながる。

(解決策のアイディア)

- ・ どの子育て支援センターに行っても代わり映えしない。ここの施設は木のおもちゃが充実、ここはワークショップが充実など、施設によってコンセプトや特性があると良い。

⑥ 相互扶助の仕組みがほしい／市内全域

(主な意見)

- ・ 近隣との関わりが減って、ちょっとした水分補給や立ち寄れる場が少ない。
- ・ 子ども110番のような地域が地域の人を助ける仕組みがあると良い。

(解決策のアイディア)

- ・ 子ども110番と同じように、ここの家は立ち寄れば支援してくれることが分かるようになるとう良い。

⑦ 課に分かれていろんな案内が来る／市内全域

(主な意見)

- ・ 子育て関連の連絡が色んな課から来る。ひとつにまとめてほしい。
- ・ 小学生の親にとっては学校に通わせることと学童はセットなのに、別々の課への手続きが必要。もっと市民目線で課を役割分担してほしい。

(解決策のアイディア)

- ・ 子育て関連施設が市内のどこにあるのかあまり知らない。保育園、学童、子育て支援センター等の個別分類ではリストやマップがあるが、親としては子育てに関連する施設はまとめて見たい。

⑧ 農産物の直売所を公共施設内に点在させて農家の支援、食の手作り可視化

(解決策のアイディア)

- ・ 佐倉市は農家もたくさんあるけど、農家と市民を繋ぐ仕組みが少ないと感じる。農作物がもっと身近になることで子供たちの食への関心も高まるし、農家さんの支援にもある。

(3) ワークに対する講評

千葉大学 柳澤先生

- 両班で挙げた課題を整理すると、インフラに起因するアクセス性の問題、バラバラになった情報の一元化、行政の縦割り問題、地域の外にある施設のあり方等が挙げた。
- 課題に対するアイディアも本ワークの中で挙げる事ができた。市民目線でお金をかけずに魅力を増す施設にする提言が多く挙げた印象

3-5 佐倉地区 ワーク結果

佐倉地区は 3 班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:行動分析、ワーク②:地域の課題抽出をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 佐倉地区:1班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

買い物

京成トウズ ×②

ベイシア ×②

いなげや

市内民間施設

食事

廻転寿司他

市内飲食施設

スポーツ

カーブス(佐倉駅前)

グランドゴルフ

印南小学校

高齢者向け体操会

おもてなしラボ

仕事の資料

夢咲くら館

補充用

隣のコンビニ

ボランティア・社会参加活動

大手門跡広場

市役所

ユウカリ南公園

おいせ公園

西志津中学校

ミレニアムセンター佐倉

趣味・娯楽

夢咲くら館 ×②

市民音楽ホール ×②

ふるさと広場

草ぶえの丘

市民音楽ホール(ハーモニーホール)

町内会

ミレニアムセンター佐倉

市役所

おはやし館

中央公民館 ×②

主婦グループ

ミウズ

市民音楽ホール

受診・診療

佐倉市中央病院

厚生園病院

移動

京成佐倉駅

観光

国立歴史民俗博物館

おはやし稽古

町内会借上げ室家

介護予防研修

ミレニアムセンター佐倉

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

①夢咲くら館／読書、仕事の資料収集

(主な意見)

- ・ 図書館がある。紙の本を読める場所は貴重な存在
- ・ 子育て支援施設(佐倉市子育て交流センター)が入っている。

②ミレニアムセンター／社会参加、研修、町内会

(主な意見)

- ・ 多くの人が集まる場所 集会施設

- ・ 立地が良い。佐倉地区の中心である京成佐倉駅に近い。山を越えなくてもアクセスできる。
- ・ お風呂がある頃はよかった。

③中央公民館／話し合い、神社役員会

(主な意見)

- ・ 集会施設
- ・ たくさんの枚数をコピーする場合、サポセン(市民公益活動サポートセンター)よりも安くできる。

④国立歴史民俗博物館／趣味

(主な意見)

- ・ 国立であり、これからも頑張ってもらいたい。
- ・ 市外から観光客を呼び込める貴重な観光スポット
- ・ 市外の人に誇れる場所である。誇れる魅力がある。
- ・ お花見ができる。

⑤佐倉市役所／ボランティア

(主な意見)

- ・ 佐倉地区のシンボル。市役所があるから佐倉地区が市の中心であると胸を張れる。
- ・ 坂を上る必要があり、高齢者には大変である。
- ・ 仮に市役所が老朽化で移転することになっても、現在の庁舎は歴史的建物として残してもらいたい。

(上記以外の主な意見)

佐倉ハーモニーホール(佐倉市民音楽ホール)／自己啓発、趣味

※『重要な施設』との意見もあったが、臼井・千代田地区にあり、5 つに絞るために除いた。

- ・ 公民館と併設(複合施設)
- ・ 色々なイベントを実施している。
- ・ みんなが使いやすい。

ワーク②:地域の課題抽出

① 施設へのアクセス性(坂が多い、歩道が狭い)／佐倉市役所、地区全体

(主な意見)

- ・ 坂が多い。施設に向かう道・帰りの道のいずれかは坂を上ることになる。高齢者には負担である。
- ・ 歩道が狭い。親子が並んで安心して歩けない。
- ・ 市役所が駅から遠くて不便

(課題解決のアイデア)

- ・ コミュニティバスなどの移動支援サービスを充実させれば、佐倉地区の地形的な課題は克服可能ではないか。

② 小学校が地域に開かれていない／佐倉小学校

(主な意見)

- ・ 高齢者にとって、小学生が身近にいないと小学校は遠い存在である。
- ・ 地域に開かれていない。防犯上難しいことは理解しているが、高齢者が気軽に行くことができない。

③ 日かげや魅力がない／佐倉地区の公園・遊び場

(主な意見)

- ・ 公園や遊び場に日かげや魅力がない。親子のコミュニティがない。

④ 多目的に使える集会施設が台地がない／集会施設

(主な意見)

- ・ 会議や趣味に使える集会所が台地がない。

⑤ これほど多くの施設が必要か疑問／集会施設

(主な意見)

- ・ 坂が多く、移動するのに不便な地域であり、佐倉地区にこれほど多くの施設がなくてもよいのではないか。
- ・ 人口も減っているため、集会のためにこれほど多くの施設が必要なのか疑問である。



(2) 佐倉地区:2班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上

月1回以上

年1回以上

買い物	移動	受診・診療	子育てイベント	自治会
マツモトキヨシ ×②	バス停(国立歴史民俗博物館)	市役所近くの病院	大手門跡広場	白銀小学校
ブーランジュリーセット	京成佐倉駅	うさびょんクリニック	大手門跡広場	スポーツ大会
カインズ・ベシア	京成佐倉駅	いとうクリニック	子供の学習	市民体育館
Big house		うさびょんクリニック	佐倉南図書館	にわのわ
トウズ京成	仕事	こしべクリニック	子供の付き添い	佐倉城址公園
いなげや ×②	ハイホーム佐倉	厚生園	老幼の館	プール
セブンイレブン(京成佐倉)	中央公民館	こどもクリニックmom	その他	岩名運動公園(プール)
セブンイレブン(白銀)			市役所	休業・くつろぎ
カインズ・ベシア	食事	子育てNPO団体そーらん練習	竹林整備	草ぶえの丘
Big house	いろいろ	西志津中学校	佐倉東中学校	
エネオス(白銀)	小さな箱カフェ	御伊勢公園	子育て支援	
レイクスピアうすい ×②		白井公民館	佐倉幼稚園	
育児	ボランティア・社会参加活動	趣味・娯楽	子供の発表会	ゴミ拾い(秋祭り)
夢咲くら館	ミレニアムセンター佐倉	佐倉南図書館	ミレニアムセンター佐倉	佐倉地区商店街
ヤングプラザ	夢咲くら館	佐倉城址公園 ×②		
佐倉幼稚園	トウズ京成	佐倉市美術館		
南部児童センター	中央公民館 ×②	印旛沼探検隊		
老幼の館	老幼の館	市民の森		
西部保健センター	市役所 ×②	岩名フォレストイン		
子供の送迎	市役所	学習・自己啓発・訓練		
飯田のピアノ教室	白井公民館	夢咲くら館		
城南幼稚園	大手門跡広場	佐倉南図書館		
佐倉防災交差点	京成佐倉駅			
岩名運動公園(岩名テニスコート)	市役所			

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 夢咲くら館／育児

(主な意見)

- ・ 育児の拠点になっている。
- ・ 打合せ等にも気軽に使える施設。イベントもできる。

② 中央公民館／地域活動

(主な意見)

- ・ 子育て世代はよく使っているが、仕事をしている世代はあまり使っていない。
- ・ 車がないといけないので不便。交通の便が悪い。

③ 佐倉城址公園／娯楽

(主な意見)

- ・ ウォーキング、散歩等で多様な世代が利用できる場所
- ・ 文化的な雰囲気が味わえる。
- ・ 涼しくて快適

④ 大手門跡広場／地域活動

(主な意見)

- ・ 何もなくて周囲が見渡せるので、子供が迷子にならない。
- ・ 屋外での地域活動機能は佐倉城址公園でもできる。
- ・ トイレが使いたい時に使えない。バイオトイレなので使用回数に制限がある。

(その他の意見)

- ・ 仕事をしているとそもそも佐倉市の施設を利用する機会が少ない。
- ・ 市役所は班の中でも行く人が多いが、行かないといけなから行くのであって重要ではない。
- ・ 岩名運動公園のプールは大事
- ・ 駅前にある複数の診療所は便利。駅前にあると行きやすい。

ワーク②:地域の課題抽出

① 多世代交流ができる施設が少ない／市内全般

(主な意見)

- ・ 高齢者と子供の世代交流の場があって、気軽に行けるところが欲しい。
- ・ 高齢者が行きやすい施設があると良い。
- ・ 雨の日に子供が遊べる場所、スペースがもっと欲しい。

② バスが少なく行きたい所に行く手段がない／施設行のコミュニティバス全般

(主な意見)

- ・ バス停の場所や認知度が低い。
- ・ 山王地区等は高齢者が多いのに民間バスが少なく、駅から遠い地域にいきわたっていない。そのために地域格差があり、長く住めない町になってしまっている。
- ・ 公民館等でイベントがあっても行く術がない。
- ・ 買い物するところが点在していて、車がないと行けない。老人一人世帯等は車もバスもなければ生活用品も買いに行けない。

(解決のアイデア)

- ・ ベイシア行きの手段増加や、駅周りに商店街があると良い。

③ トイレが使いづらい／市内の公共施設、大手門跡広場

(主な意見)

- ・ 公共施設のトイレが和式だと、高齢者や子供は使う事を敬遠し、洋式トイレに行列ができています。洋式トイレに改修をしてほしい。(市内の公共施設)
- ・ バイオトイレで使用制限があるためイベント時等トイレが使えない時がある。その際に子供は自由広場まで行くが間に合わない。(大手門跡広場)

④ 子供を遊ばせる環境が乏しい／夢咲くら館、大手門跡広場

(主な意見)

- ・ 2 歳以上の子供がいると図書館に行くついでに外で遊ばせたい。広い場所がほしかった。学校に近いのに小学生が遊べるスペース少ない。(夢咲くら館)
- ・ 近隣に遊具のある公園がないため、大手門広場にも子供が遊べる遊具がほしい。高齢者向けの健康遊具もあるといい。(大手門広場)

(解決のアイデア)

- ・ 夢咲くら館にヤングプラザのような機能を持たせる。

⑤ 市の広報が分かりにくい／市の HP、広報さくら

(主な意見)

- ・ 広報さくらは文字が小さくて見にくい。周知に繋がっていないのではないか。
- ・ 市の HP は子育て情報が集約されているページになかなかとり着けない。必要な情報にすぐアクセスができない。
- ・ 高齢者に対して情報が少ないと感じる。

⑥ 道が狭くて危険／新町とおり、裏新町とおり、佐倉防災交差点

(主な意見)

- ・ 子育て施設や小学校が近隣にあるのに安心して歩けない。(新町とおり、裏新町とおり)
- ・ 観光バスが通れない。城址公園へ行く道が回り道になる。(佐倉防災交差点付近)

⑦ 施設へ行く横断歩道がなくて危険／夢咲くら館

(主な意見)

- ・ 夢咲くら館前には横断歩道がなくて、道路を渡る人が多いので危険ではないか。

⑧ 交通量が多くて渋滞している／ベイシア周辺

(主な意見)

ベイシア周辺はお店が多く、いつも渋滞しており車で走りづらい。

⑨ 駅北口にエレベーターがない／京成佐倉駅

(主な意見)

- ・ バリアフリーとしては不十分

⑩ 施設がいつまでも壊れた状態／市民体育館

(主な意見)

- ・ 外階段がいつまでも壊れており、普段利用禁止になっている。イベント時は使うので危険ではないか。

⑪ 時代に合わせた幼稚園の制度がないために入園者の減少／佐倉幼稚園

(主な意見)

- ・ 2年制から3年制化や、預かり保育時間の短さ等、時代に合わせた施策を行わなかったために幼稚園の入園数が減っている。
- ・ 恵まれた環境、スキルの高い先生方、佐倉市に公立幼稚園があることを活かせば、子育て世代を呼び込むことにつながるのではないかな。

⑫ 駅前が暗くて寂しい／JR、京成の駅

(主な意見)

- ・ 外灯が少ない。店が少なく、栄えていない。
- ・ 駅付近が夜買い物するようなところがなく、仕事をしてから帰ってきた時に夕飯を買えない。安全性も低い。



⑬ 自由に BBQ できる公園が少ない／公園

(主な意見)

- ・ 子供が自分たちでキャンプ活動サークルを立ち上げたので、活動できる場がほしい。

⑭ 台風のたびに水害が起きないか不安になる／施設全般

(主な意見)

- ・ 被害を受けやすい地区は対策をしているようだが、台風のたびにドキドキする。

⑮ 公共施設に市営駐車場が少ない／ミレニアムセンター、ヤングプラザ

(主な意見)

- ・ この2つの施設は駅前に立地していることもあり、駐車場が少ない。車で行こうとしても行けない。行く手段がない。

⑯ 工業団地に新しい企業が入らず活性化していない／佐倉工業団地

(主な意見)

- ・ 誘致活動が足りないのではないかな。

⑰ 屋外スポーツ施設が公式記録をとれる条件を満たしてない／岩名運動公園

(主な意見)

- ・ 市内の小中高生や実業団が不便ではないかな。

⑱ 屋外スポーツ施設が動物多い／岩名運動公園

(主な意見)

- ・ 猿やイノシシが出てきて危ない。

(3) 佐倉地区:3班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

買い物

ベシア×③
いなげや
Big house
セブンイレブン
TSUTAYA佐倉寺崎店×②
ウエルシア佐倉錦木店
Big house
イオンタウン
カワチ
トイズ京成佐倉店

通学

JR佐倉駅×②

移動

JR佐倉駅
京成佐倉駅
京成佐倉駅×②
京成佐倉駅

育児

佐倉市立佐倉保育園
ヤングプラザ
ミレニアムセンター佐倉

食事

セブンイレブン
マクドナルド佐倉寺崎店×②
スシロー
サイゼリヤ
焼肉きんぐ

くつろぎ

夢咲くら館
佐倉天然温泉すみれ

読書

夢咲くら館

趣味・娯楽

イオンタウン
七井戸公園
大手門跡広場
TSUTAYA佐倉寺崎店
佐倉ふるさと広場×③
佐倉城址公園×③
ヤングプラザ
岩名運動公園

映画

イオンタウン

受診

聖隷佐倉市民病院

イベント

麻賀多神社

参拝

麻賀多神社

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 移動・通学／京成佐倉駅・佐倉駅(JR)

(主な意見)

- ・ 移動や通学に鉄道を利用することが多い。
- ・ 駅前から更にバスで移動する際の基点にもなっている。

② 読書・学習・子育て／夢咲くら館

(主な意見)

- ・ 佐倉図書館で読書・勉強するのに利用している。
- ・ 子育て交流センターに行き、子どもと一緒に過ごすために利用している。

③ 散歩・花見／佐倉城址公園

(主な意見)

- ・ 緑の多い広大な公園で、花見を楽しんだり、花の写真を撮影している。
- ・ 佐倉地区の中では佐倉城址公園ほど大きい公園は他になく、よく散歩するために出掛けている。

④ 花見・花火大会／佐倉ふるさと広場

(主な意見)

- ・ 佐倉ふるさと広場には、チューリップ、ひまわり、コスモスなどの花が広がる風景を見たり、写真を撮影するために足を運んでいる。
- ・ 佐倉花火フェスタで打ち上げられる花火を鑑賞するために訪れている。

ワーク②：地域の課題抽出

① 駅周辺の利便性が低い／京成佐倉駅・佐倉駅(JR)

(主な意見)

- ・ 駅前から発車するバスの本数が減少し、最終バスの時刻も早くなった。白銀方面へのバスも不足している。望む時間にバスを利用することができず、利便性が低下している。
- ・ バスの停留所が狭い。また、雨天時にバス停で雨をしのぐ手段がなく、付近のコンビニ前でバスを待つ利用者も多い。
- ・ 駅前には魅力的な施設が無いため、交通手段としてのみ利用している。
- ・ 京成佐倉駅北口にはスーパーなど買い物ができる場所が少ない。

(解決のためのアイデア)

- ・ 駅前に商業施設や子供が遊べる場所を設置して、駅周辺の活性化を図る。
- ・ 図書館で借りた本を駅で返却できる仕組みがあると便利

② 施設の運用に改善の余地がある／夢咲くら館

(主な意見)

- ・ 夢咲くら館内の子育て交流センターは、主に年齢の低い子供のための施設であり、小学生くらいの年齢の子供が遊べるスペースがない。
- ・ 夢咲くら館内に設置されているカフェは値段が高い。無料で自由に交流できるスペースが欲しい。
- ・ 佐倉図書館では、自習スペース以外で勉強している人もおり混雑している。何となく読書スペースを利用したいときに使いづらさを感じるため、混み具合を事前に把握することができたらと思う。

③ ミレニアムセンター佐倉の利活用が不十分／ミレニアムセンター佐倉

(主な意見)

- ・ アクセスが良いが、立ち寄る機会は少ない。ミレニアムセンター佐倉で行われるイベント等について告知があったときだけ利用している。
- ・ どんな施設がよく知らず、子どもと過ごせるような休憩スペースが設けられているのかも分からない。
- ・ 以前はミレニアムセンター内に防災啓発センターが設置されていたが、今は無くなってしまっていることを勿体無く感じる。

④ 施設の内容や存在意義が分からない／七井戸公園・佐倉新町おはやし館・印旛合同庁舎

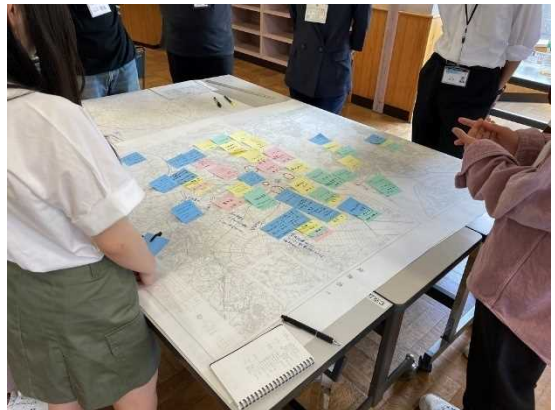
(主な意見)

- ・ 七井戸公園で最近何かのイベントが開催されているが、詳細な内容が分からない。ソメイノファーマーズマーケットに関する周知が不十分
- ・ 佐倉新町おはやし館は、おはやしや秋祭りの普及のために存在しているのと思うが、存在意義が不明確である。もっと広く市民が利用できる施設にした方が望ましい。
- ・ 印旛合同庁舎がどのような施設か分からない。施設の用途について周知されれば、利用したい市民もいるのではないかな。

⑤ アクセスが悪い／岩名運動公園・岩名地区・和田地区

(主な意見)

- ・ 岩名運動公園やその周辺地域へのアクセスが悪い。また、コンビニも少ない。直売所があってもいいのではないかな。
- ・ 和田地区へのアクセスが悪く、車でなければ行くことができないため、学生には移動手段がない。



⑥ テナントの数や魅力が減少／イオンタウン

(主な意見)

- ・ イオンタウン内に以前あった本屋が無くなり、その他に閉まっているテナントも増えているため、行くことが無くなった。

(4) ワークに対する講評

千葉大学 柳澤先生

- 本地区のワークショップでは沢山の課題を抽出することができた。
- ベテラン世代の1班は公共施設を利用しているが、アクセスの問題が大きいことが明らかになり、特に買い物への負担が大きいことが分かった。
- 子育て世代の2班も育てを支援する場所があってもそこへのアクセスが課題となっていた。また、市民への情報発信が不十分なこと、トイレが洋式化されていないこと、世代間交流施設が少ないことは、今後の佐倉市の課題でもある。
- 若い世代の3班は佐倉市内であまり活動をしておらず、公共施設もあまり使っていないので、駅前の利便性や、駅自体の使いやすさに関する意見が多く出た。また、若年層についてもイベントの情報発信が少なく、あまり伝わっていないことが意見として挙がっていた。
- 次回第3回では、本日出た課題を解決するためのアイデアを皆さんに出していただきたい。

3-6 根郷・和田・弥富地区 ワーク結果

根郷・和田・弥富地区は1班として班分けせずにワークを行いました。ワーク①:行動分析、ワーク②:地域の課題抽出をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 根郷・和田・弥富地区:1班

ワーク①:行動の分析

● ふだんの行動

赤字は市の施設 凡例

週1回以上 月1回以上 年1回以上

仕事

市役所

寺崎小学校

山王小学校

根郷小学校

南部児童センター

市役所

買い物

ベイシア

トウズ

コンビニ

学校給食

根郷中学校

その他

ガソリンスタンド

学習

根郷中学校

敬愛大学佐倉キャンパス

佐倉南図書館

スポーツ

佐倉城址公園

ゴルフ佐倉カントリーCC

社会活動

はちす苑 オレンジカフェ

大手門跡広場

子育て支援

南部児童センター

老人憩いの家千代田荘

根郷公民館

受診

みずきが丘クリニック

聖隷佐倉市民病院

ゴミ拾い

印旛沼周辺

ダンボールいかだレース

印旛沼サンセットヒルズ

学校行事

市民音楽ホール

交流会など

小出農園

ナガエツルノゲイトウ除去

高崎川周辺

野球観戦

岩名運動公園

移動

JR佐倉駅

防災訓練

自治集会所

食事

喜多方食堂

● 重要な行動や施設(班で話し合って5つ程度抽出)

① 印旛沼サンセットヒルズ／ダンボールいかだレース

(主な意見)

- ・ BBQ やイベント等色んなことができる、景色がとてもきれい。
- ・ 行き方が分かりづらくて道が悪い。

② 草ぶえの丘／遊び

(主な意見)

- ・ 参加者はほとんど行かないが、佐倉市民の遊びの場として重要だと思う。
- ・ 駐車場も利用しやすい。

③ 岩名運動公園(長嶋野球場)／高校野球観戦

(主な意見)

- ・ 夏になると高校野球が行われており、重要な場所

④ 南部児童センター／仕事

(主な意見)

- ・ 地域の出会いの場としても重要
- ・ 友達と遊ぶには行くが、遠いので子供だけで行く場合は親の送り迎えが必要

⑤ 佐倉城址公園／スポーツ

(主な意見)

- ・ 子供と遊んだり、ランニング、散策などいろんな場面で利用できる。

ワーク②:地域の課題抽出

① 中高生の遊ぶ場所がない／市内全域

(主な意見)

- ・ 遊ぶ場所があっても車がないと行けないので、千葉方面に出ていくことが多い。

② どんな施設があるか分からない／市内全域

(主な意見)

- ・ 市内の公共施設はどこにどんな機能があるのか市民にあまり伝わっていないと思う。だから使っていないのかもしれない。周知が必要だと思う。
- ・ 市内の美術館や博物館はコロナ禍だったこともあるが、学校の授業でも行ったことがない。

③ 城下町風致の思想が不足している／新町通り

(主な意見)

- ・ 新町通りの民間企業の看板、舗装、歩道のグレーチング等、城下町にふさわしくない。舗装を石畳にするなど、城下町のまちづくりをもう少し全面に出して、観光客を集められるようにしてはどうか。

(解決策のアイデア)

- ・ 市内の竹やぶなど、外国人が喜ぶ隠れスポットを発掘して佐倉 PR 係を作ってどんどん発信する。
- ・ クラウドファンディングで佐倉城址公園の本丸を再現して観光資源にする。

④ 施設のコンセプトがなく中途半端／草ぶえの丘

(主な意見)

- ・ 子供が遊ぶための施設なのか、園芸趣味の施設なのかどの世代をターゲットにしているのか不明で全てが中途半端
- ・ バンガローがボロボロすぎる。

- ・ 駐車場料金が場所によって変わるので渋滞が起きている。

⑤ 施設へたどり着きづらい／印旛沼サンセットヒルズ

(主な意見)

- ・ 行くまでの道路が悪路で、とにかく場所が分かりづらい。
- ・ 道の案内も少なく、周知が足りないのではないかな。

⑥ 大手門跡広場のトイレが少ない／大手門跡広場

(主な意見)

- ・ バイオトイレなので使えるまで時間がかかってしまう。

⑦ 道路の安全性、災害対策が必要／市内道路

(主な意見)

- ・ 大崎台5丁目、4丁目内は歩く際に危険なので、速度規制を設けるべきではないかな。
- ・ 大雨があると道路が冠水して通行が困難になり渋滞することがある。

⑧ 施設が分散している／京成佐倉駅、JR 佐倉駅、京成ユウカリが丘駅

(主な意見)

- ・ 市内の主要駅にいろいろな施設があるが、分散してしまっている。

(その他の意見)

- ・ 山王地区は「さくら学園ニュータウン山王」として開発されたが、敬愛大学が撤退してしまい、学園都市ではなくなっている。
- ・ 山王地区はコミュニティバスもあまり通っておらず、施設に行きたくても移動手段がない。最適な移動手段があればもっと施設も使うようになるのではないかな。
- ・ 佐倉地区、根郷地区に行くことが集中してしまっている。和田・弥富地区にもみんなが行きたくなるホットな場所があると良い。



(2) ワークに対する講評

千葉大学 柳澤先生

- 施設情報をもっと発信していくことが重要である。
- 高齢者、若年層の移動手段となるバスが少ないという意見が挙がったが、バスも簡単には増やせないなので、市内でシェアライドが可能になるよう特区申請をするという案もある。
- 行動の付箋が貼られた場所は特定の場所が多く、和田・弥富地区をはじめとした地域全体の活性化が必要だと感じた。

4. 第3回ワークショップ(地域回)

4-1 ワークショップの流れ

(1) 【Step1】第3回ワークショップの目的を説明

事務局より、第3回ワークショップの位置づけおよびねらいについて説明しました。説明の概要は以下のとおりです。

- 本ワークショップの最終的なゴールは、各グループに「地域にとっての課題や大切なことの優先順位」および「実現のためのアイデア」をポスターセッション形式で発表すること。
- 第3回ワークショップでは、第2回ワークショップでのワーク結果をもとに、地域の課題や大切なことの優先順位を決め、その解決方法や実現のためのアイデアを検討する。
- 最後に検討内容をポスターの素案としてまとめ、班ごとに発表を行う。

配布資料	・ 第2回ワークショップ振り返りスライド(行動・課題一覧) ・ 第2回ワークショップのかわら版 ・ 公共施設を活用した課題解決事例 ・ 地区カルテ ・ 作成するポスターイメージ
------	--

(2) 【Step2】第2回ワークショップの振り返り

第2回ワークショップで作成した付箋の内容を抜粋した、「行動カード」、「課題カード」、「アイデアカード」を用いて、第2回ワークショップの振り返りを行いました。

また、振り返りの中で新たに出た意見や発見したことを、追加用のカードに書き出しました。

種類	記載内容	例	追加用カード
行動カード	① 重要と考える行動 ② 重要と考える理由 ③ 対象施設・場所		
課題カード	① 課題の内容 ② 課題と捉える理由 ③ 対象施設・場所		
アイデアカード	① 解決したい課題 ② 課題解決のためのアイデア		

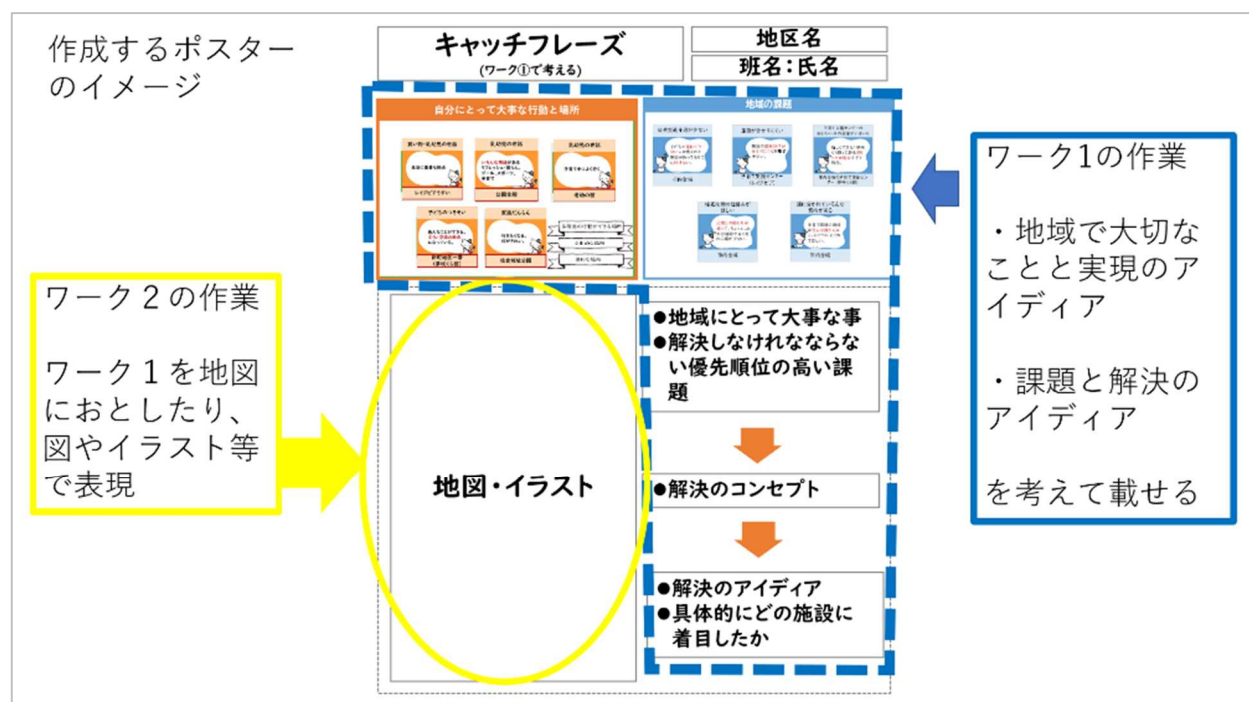
(3) 【Step3】ワーク①:地域にとっての優先順位・アイデアの検討

地域にとって大切なことや課題の優先順位を検討し、解決のためのアイデアを検討しました。

地域の優先順位の検討	・ 「行動カード」、「課題カード」、「アイデアカード」を用いて、地域にとっての課題や大切なことを整理 ・ 「地区カルテ」に記載の施設の稼働率を踏まえ、どの施設・エリアに着目するか検討
アイデアの検討	・ 地域にとっての課題や大切なことについて、「公共施設を活用した課題解決事例」を踏まえ、公共施設を活用して実現するためのアイデアを検討 ・ ポスターのキャッチフレーズを検討

(4) 【Step4】ワーク②:ポスターへの落とし込み

ワーク①の検討結果をポスター形式にまとめました。



(5) 【Step5】発表・講評

ワーク②で作成したポスターをもとに、各グループで検討したアイデアについて代表者に発表いただきました。

また、ワークショップの進行を担当していただいた千葉大学の柳澤要先生または湯浅かさね先生から、講評をいただきました。

4-2 志津北部地区 ワーク結果

志津北部地区は2班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①：地域の優先順位の検討、ワーク②：アイデアの検討をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 志津北部地区:1班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 地域の交流の場が少ない／志津北部全域

- ・ 少子高齢化が進行しているため、高齢者のコミュニティ形成を支援することの重要性が高まっている。
- ・ 地域としての一体感や連帯を強化することで、災害時の助け合いも促進される。

② 交通の便が悪い／志津北部全域

- ・ コミュニティの拠点となる施設は、移動に難がある高齢者も通いやすいように、地域内に点在していることが望ましい。
- ・ 高齢化に伴って自動車の運転が難しくなるため、公共交通の充実が求められる。

③ 公共施設に空きスペースが多い／志津北部全域

- ・ 公共施設にはいくつか空いているスペースが存在し、特に小学校は将来的に空き教室が増加することが見込まれている。

(主な意見)

- ・ 高齢者支援施設と学童が同じ施設内に設置されていることで、多世代交流が実現されている事例もある。
- ・ コミュニティの場所を用意するだけでは問題は解決されない。ソフト面でどのような施策を行えば良いか検討する必要がある。
- ・ 公共施設の運営に係る費用に対して得られる便益を考慮する必要がある。

● 公共施設を活用した解決アイデア

各小学校に地域の相談所を作り、人々のニーズを解消する

(具体アイデア)

- ・ 小竹小学校、志津小学校、井野小学校、青菅小学校における空き教室を、地域の「万事相談所」として活用する。
- ・ SNS上のプラットフォームを利用して相談したい人と教える人をマッチングし、人々が集まりやすい環境を整備する。
- ・ 小学生・大学生・親世代・高齢者など、多様な人々が相談・解決に訪れる場となることで、多世代交流も促進される。
- ・ 小学校に交番を移設することにより、安全面・防犯面の課題を解決すると同時に、警察機関が地域にとって身近な存在になる。

(その他のアイデア)

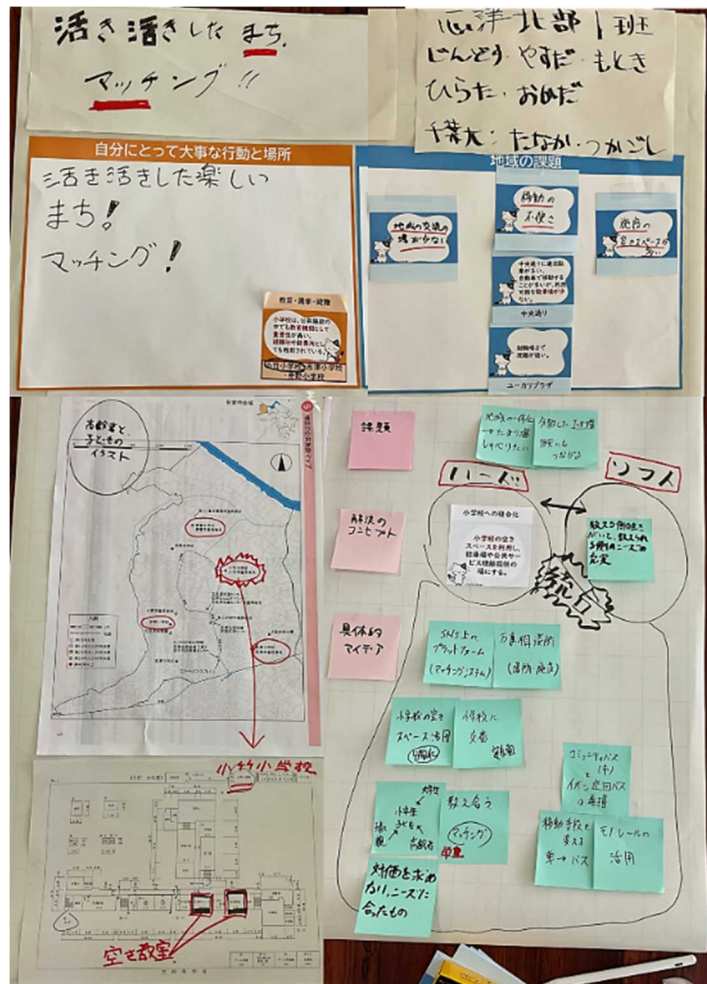
- 市のコミュニティバスとイオンの巡回バスを連携して一本化することにより、バス路線網の充実を図り、移動手段としての利便性を高める。
- モノレールも活用して交通網全体の利便性を向上させる。



- 班で選定したキャッチコピー

活き活きたまち、マッチング!!

- 完成したポスター



(2) 志津北部地区:2班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 空き店舗が多い/イオンタウンユーカリが丘

- ・ 施設のポテンシャルを活かしきれていない。

② 利用されていないスペース多い/北志津児童センター(志津コミュニティセンター)

- ・ 使われていない部屋があるのにそのままにしておくのはもったいない。

③ 駅周辺の利便性・魅力の不足/ユーカリが丘駅周辺

- ・ 集まりやすい場所もなく地域コミュニティの形成が阻害されている。

④ 公共サービスにアクセスしにくい/志津コミュニティセンター

- ・ 毎回市役所に行かなければならない。

⑤ 図書館が利用しにくい/志津北部地区の図書館

- ・ 図書館で本を借りたいが返すのが大変で使わなくなる。

⑥ 子どもを遊ばせるスペースが少ない/志津北部地区の子育て支援施設

- ・ 志津北部地区の施設は「夢咲くら館」のようなキッズスペースが少ない。

⑦ 子育て支援機能があっても使いにくい/志津北部地域子育て世代包括支援センター

- ・ 予約しないと使えなかったりすると使わなくなる。

(主な意見)

- ・ 事例紹介で旭市のイオンに子育て支援スペースを借りて運営している事例があったが、ユーカリが丘のイオンタウンも空き店舗が目立っている。機能不全を起こして魅力が不足している商業施設に公共機能を入れて有効活用ができないか。
- ・ いろいろな場所に公共機能が散らばっていると、移動するのが大変なのでコンパクトにまとまって欲しい。買い物ついでに公共サービスを利用できれば便利。商業施設に集約すると駐車場問題も解決できるのではないか。車移動する人にとっては駅前よりも駐車場がある施設に集約された方が便利
- ・ 一方で、ユーカリが丘駅前の賑わいは減っているのも問題で、車を使わない人にとっては駅前にいろいろな機能をぎゅっと集約した方が良い。
- ・ 志津コミュニティセンターの貸スペースは、あまり使われていない。特に茶室や調理室は用途が限定されているので利用率が低い。調理室で合唱の練習をしている市民もいる。貸スペースはコミュニティを活性化する目的で作られたが、時代と共に市民が求める機能も変わっているので使い方を考え直すタイミングではないか。
- ・ 志津北部地区には夢咲くら館のようなキッズスペースが少ない。駅前の志津北部地域子育て世代包括支援センターは予約しないと利用できないため、ふらっと立ち寄って利用できない。一方で、イオンタウンは子供が騒いでも気にならないし、買い物、遊び、いろいろできるので子連れで行きやすいと感じる。

- ・ コロナ禍でここ数年小学校ではプールの授業がなかったため、学校のプールに苔がいっぱい生えていて不衛生。八千代市は学校のプール授業を屋内民間プール施設でやっていて羨ましい。ユーカリが丘駅前にも屋内民間のプール施設があるので活用できないのか。
- ・ 上座公園にも屋外プールがあるが利用率は多くない。施設のポテンシャルは高いのに活かしきれていないので人が集まる場所として利活用できないのか。

《優先課題》

- ・ 駅前を活用しきれておらず、駅前商業施設の空き店舗が多い。
- ・ 1つ1つの公共施設の位置が離れており移動が困難
- ・ 公共施設が使いにくく、あっても有効利用できていない。

● 公共施設を活用した解決アイデア

公共サービス機能を集約し、コンパクト化する

(着目した施設)

- ・ 公共機能も複合している駅前商業施設「スカイプラザ」、車を使う人に便利な「イオンタウン」、市の公共施設である「志津コミュニティセンター」の3つの施設に様々な公共機能を集約する。

(具体アイデア)

- ・ 施設に機能を集約すれば、移動の必要が少なくなるため多様な世代にとって使いやすく、コストの高い施設になる。
- ・ 車を使う人も使わない人も便利になるように、1つの施設に集中させるのではなく、それぞれの施設の立地、特性に合った公共機能を集約する。
- ・ 「志津コミュニティセンター」は大規模改修を控えているので、そのタイミングに合わせて老朽化対策だけでなく、間取りを変更する機能・用途整理を行う。畳を取り外し可能にする、移動式棚をつけるなど、フレキシブルに使える間取りに改修する。
- ・ 参加者で3つの施設にあるべき機能(サービス)を考えた結果は以下のとおり。

スカイプラザに集約したい機能

- ・ 子育て支援機能(保育園、学童保育所)／理由:通勤帰りのお迎えに便利。
- ・ 返却・予約本受け取りに特化した図書館の分室／理由:駅前にあると本が利用しやすい。
- ・ 民間スポーツクラブ内での小学校プール授業／理由:屋内プールの方が利用しやすい、小学校にプールを設置しなくて良くなるのでコストが良い。

イオンタウンに集約したい機能

- ・ 図書館／理由:ふらっと立ち寄れる場所に図書館があると利用が増える。
- ・ 図書館併設カフェ／理由:本を読みながらお茶が飲めれば利用率が上がる。カフェで収益を出せる。
- ・ 行政窓口／理由:スカイプラザにもあるが、車で行けるイオンタウンにも時間帯を分けてあると良い。
- ・ 子どもが遊べるスペース／理由:商業施設内にあると騒いでも気にならないし、買い物ついでに立ち寄れて便利。

志津コミュニティセンターに集約したい機能

- ・ 介護機能／理由：機能集約して使いやすくするために志津北部地域包括支援センターの機能を集約する。
- ・ 防音室(楽器、歌の練習用)／理由：市民需要はあるが、防音室はない。現状は調理室を借りて合唱の練習などを行っている。
- ・ ホームシアター／理由：大人も子供も関係なく使える。

(主な意見)

- ・ コンパクト化(機能集約)により、駅前をはじめとした空間の活用
- ・ 志津北部地区は図書館が遠く、利用しにくい。図書館の分館がイオンタウンにあるとついで利用できて本を借りる機会がもっと増えるかも。
- ・ 一方で、図書館の本の返却・受け取りは図書館でなくてもできるので、駅前にその機能が欲しい。



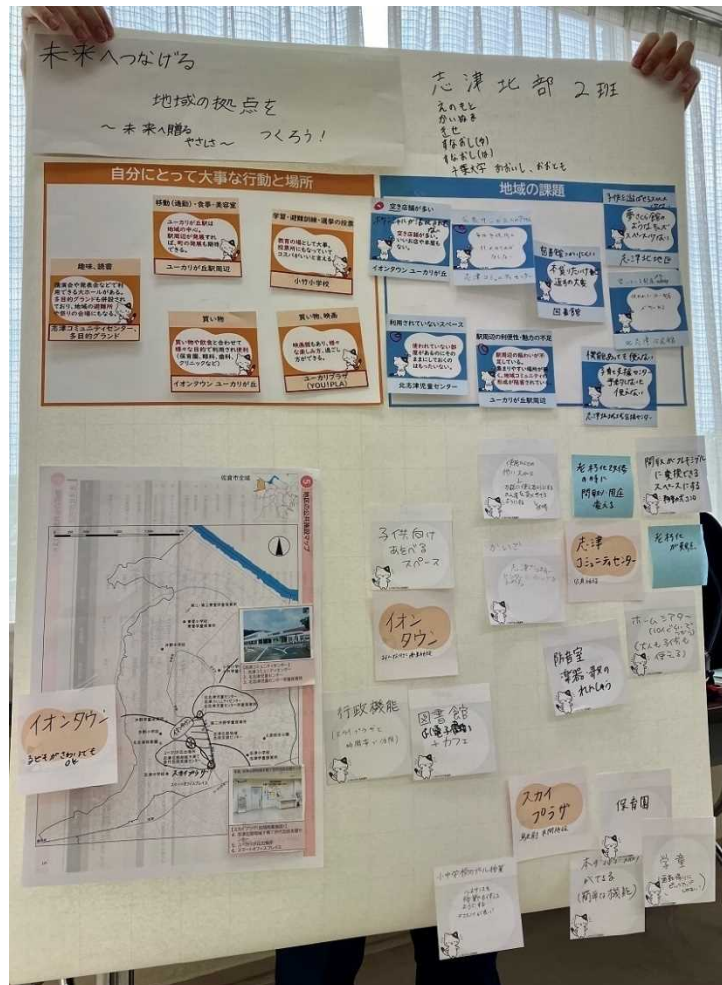
● 班で選定したキャッチコピー

未来へつなげる地域拠点をつくろう！～未来へ贈るやさしさ～

(主な意見)

- ・ 多くの人が必要と思うサービス、継続的に利用できるサービスを考えて配置することで未来につなぎたい。
- ・ みんなに使いやすく、集える、便利な施設を未来に贈りたい。
- ・ みんなにやさしい街にしたい。

● 完成したポスター



(3) ワークに対する講評

千葉大学 湯浅先生

- 1班:ハコ(建物)ではなく、サービスに着目して地域の仕組み、解決案を出せたことに感銘を受けた。
- 2班:市民の行動から設定した 3 つの拠点にその立地や施設特徴を活かした拠点のアイディアが出た。更にカフェから収益を得ることなど、マネジメントの視点が盛り込まれていた。

4-3 志津南部地区 ワーク結果

志津南部地区は 3 班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:地域の優先順位の検討、ワーク②:アイディアの検討をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 志津南部地区:1班

- 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 駅前ビルに空きが多く賑わいがいい/志津駅前商業施設

- ・ 駅ビルは空き店舗が目立つ。

② 多目的施設の不足/志津南部地区

- ・ スポーツや会合、その他必要に応じて使える多目的施設が必要

③ 施設の魅力の不足/志津公民館

- ・ 面白い講座がない。

④ ふらっと立ち寄れる場所がない/志津南部地区

- ・ 特に用がなくてもふらっと立ち寄って集まれる場所が少ない。

⑤ 体育館が少ない/志津南部地区

- ・ 運動できる場所が少ない。市民体育館しかない。

⑥ 病院の不足/ユーカリが丘

- ・ ユーカリが丘は人口が多いため病院が混んでおり、需要に追いついてない。

(主な意見)

- ・ 志津ステーションビルはパチンコの床面積が多く、さびれていると感じる。
- ・ 地域にとって大事なことは子供が育つ環境だが、この班は高齢者が主体なので具体的な課題やアイディアが出せない。なので、まずは自分たちにとって解決したい課題を検討する。
- ・ 高齢者にとっては命、健康を守ることの優先順位が高い。
- ・ 旭市の事例では商業施設の中に様々な公共施設を複合化させていたが、志津駅の商業施設も空き店舗が目立ち、賑わいに欠けるので、有効活用できないか。
- ・ ヤングプラザのようなふらっと立ち寄れる施設がたくさんあると良い。ヤングプラザは若年層向けの施設だが、そもそも「高齢者支援施設」、「子育て支援施設」などのカテゴリを設けて利用者を限定する必要はない。

《優先課題》

- ・ 健康寿命を延ばす環境が必要。
- ・ 健康について相談できる場所、ふらっと来られる場所、外に出て体を動かして、色んな人と交流できる場所、地域の居場所づくりが必要。

- ・ 多様な世代が交流できる場が少ない。

● 公共施設を活用した解決アイデア

① 志津ステーションビルに公共機能を複合させて健康増進の拠点にする

② 小学校や公民館に集まれる場(機能)を付加して健康増進の準拠点にする

(着目した施設)

- ・ **健康増進の拠点:** 志津ステーションビル(民間駅ビル)
- ・ **集まれる場:** 志津市民プラザ、西志津ふれあいセンター、西部保健福祉センター、下志津小学校、南志津小学校、西志津小学校、上志津小学校

(具体アイデア)

① 健康増進の拠点

- ・ 志津ステーションビルのフロアを借りて健康増進機能(サービス)を付加させる。
- ・ 多機能な場所を作りたい。いろんな人がふらっと立ち寄れる場所、賑やかな場所があれば、健康増進につながる。
- ・ 保健師が常駐していて気軽に健康相談できる場所がたくさんあると良い。

(健康増進拠点に付加したい機能)

- ・ 健康相談窓口
- ・ 貸スタジオ(用途を限定しない、様々な用途で使える)
- ・ 卓球・ボッチャ等の屋内スポーツ練習場
- ・ 階段を使ったウォーキング場
- ・ 温泉



② 集まれる場

- ・ 今ある公共施設に気軽に「集まれる場」の機能を付加したい。
- ・ 小学校は少子化で余裕教室が多くなっているの、そこを活用できないか。
- ・ あまり知られていないが、小学校では様々な市民スポーツクラブが活動しており、年齢を問わず楽しめるレクリエーションの拠点、健康増進の拠点になり得る。特に卓球は老若男女楽しめるスポーツとして人気が高い。
- ・ 「健康増進の拠点」機能を、ゆくゆくは地域にたくさんある「集まれる場」にも付加していく。

● 班で選定したキャッチコピー

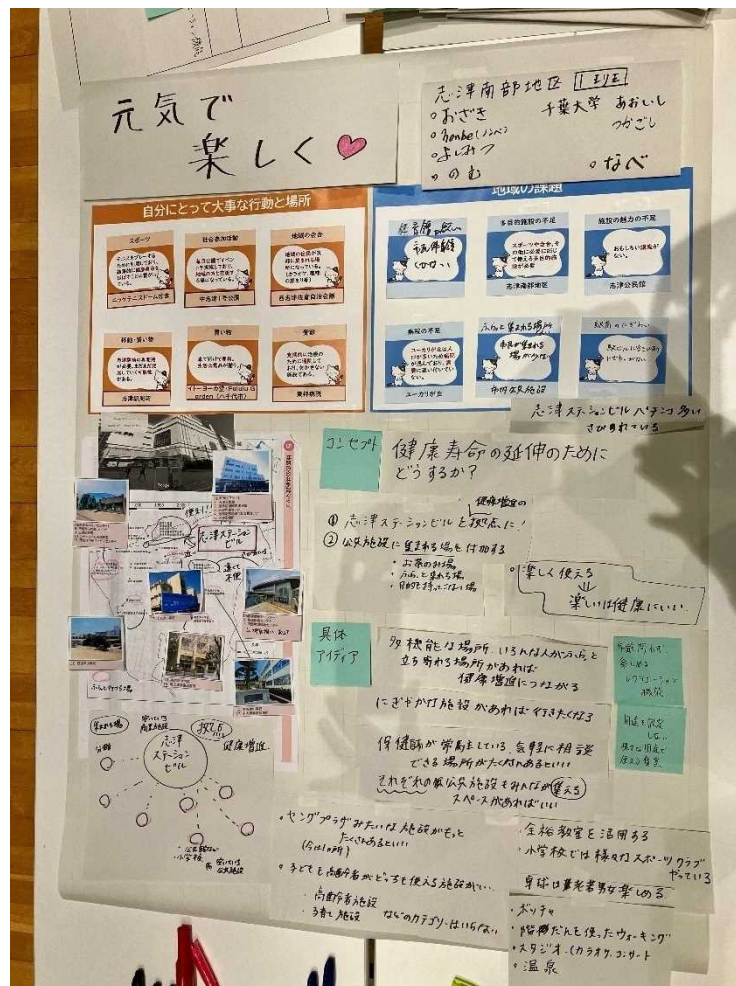
元気で楽しく♡

(主な意見)

- ・ 楽しいことは健康に良い。楽しく使える公共機能を既存施設に付加していきたい。

- 健康寿命を延伸するためにどうするかを班で話し合っ考えた結果、元気で楽しいことが一番との結論になった。

● 完成したポスター



(2) 志津南部地区:2班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 利用者特性に応じた運営/図書館

- ・ 障がい者が受容され、子供が多少騒いでも許容される図書館があるといい。

② 子育てしやすいまちづくり/学童・公園

- ・ 学童保育所は、過密状態であり、待機児童が多い。放課後に子供が遊べる場所が少ない。

③ 施設間の連携/貸し部屋

- ・ 学童と図書館が併設され、気軽に本を借りて持ち込める仕組みがあるとよい。

④ 公共施設の配置/公共施設全般

- ・ 公共施設が市役所周辺に密集しており、志津地区からは距離(3 駅)がある。

⑤ 有効活用/西志津ふれあいセンター

- ・ 貸し部屋の存在を十分に知らないため、有効活用できていない。

⑥ 情報共有/貸し部屋

- ・ 目的に応じて借りたい部屋を探すのに苦労している。

(主な意見)

- ・ 大人も子供ももっと気軽に過ごせる場所があるとよいのではないか。
- ・ 西志津ふれあいセンターに来て感じたことは、2 階にも貸しスペースがいくつもあることに初めて気づいた。2 階は上がりづらい雰囲気もあり、もう少し気軽に上がることができるとよい。
- ・ 貸しスペースは、知っている人が少ないのでは？もう少し、情報が見えるようになるとよい。
- ・ 貸しスペースを借りる方法をこれまでよく知らなかった。
- ・ 目的に応じて借りることができる部屋が限定されるが、問い合わせをしたときに他の類似施設(貸し部屋)を紹介してもらえると助かる。また、検索しやすい仕組みがあるとよい。
- ・ 貸し部屋が存在することに気づいていない状況にある一方で、西部地域福祉センターの娯楽室の利用率が0%であることを考えると、もっと改善できる方法があるのではないか。

《優先課題》

- ・ 大人も子どもも気軽に過ごせる場所が少ない。
- ・ 部屋の空き状況はあまり知られてなく、使いたいときに目的に応じて利用できる部屋を探しづらい。

● 公共施設を活用した解決アイデア

子どもも大人も集まれて、気軽にコミュニケーションが取れる場所を作ろう！

(具体アイデア)

【公共施設の機能】

- ・ “魅力的な”フリースペース(無料)を様々な施設に設置
- ・ 市民の利用機会を増やすことで公共施設を知ってもらう。
- ・ 施設(機能)の複合化と施設間の連携を強化し、利便性を高める。

【公共施設の運用】

- ・ 施設がどのように使われているか見える形で示す。(看板設置等)
- ・ HP 上で貸しスペースを簡単に検索できるような仕組みを構築
- ・ 問合せした際、他の施設の情報や空き情報を教えてもらえる。

【着目した施設】

- ・ 西志津ふれあいセンター



(主な意見)

- ・ 子供の居場所+図書館の併設によって、気軽に本が借りられて読めるとよい。施設同士の連携を高めれば人も集まりやすいのでは。
- ・ 老人憩の家志津荘で、高齢者の方と子供が交流できるとよい。(例:折り紙を教えてもらえるなど、大人に教わるような場があるとよいのでは。)
- ・ 公共施設を訪れることで、施設の概要を知り、更に利用頻度を高めることにもつながると思うため、気軽に来てもらえるような仕組みができるとよい。
- ・ 貸し部屋を全て無料にできないことは承知しているが、利用率0%ではもったいない。フリースペースと有償スペースをうまく使い分け、利用率の向上につながるとよい。
- ・ フリースペースを作れるだけの空きスペースのある施設があるのではないかな。
- ・ いろいろなところに“魅力的”なフリースペースを作ることによって利用者の増加を図り、他の施設の情報も得ることができる。自然と地域全体の施設情報が住民の間に広まっていく。
- ・ 施設内の案内板を充実させることも必要である。その建物がどのように使われているのか、目でわかるようにする。

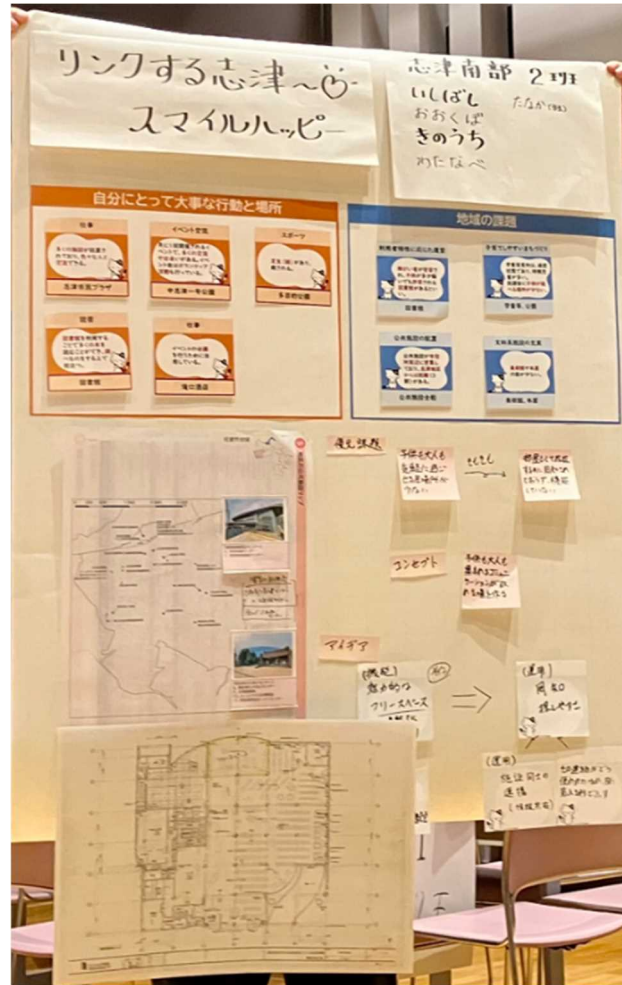
● 班で選定したキャッチコピー

リンクする志津〜♡ スマイルハッピー

(主な意見)

- ・ 子どもも大人も集まれて、気軽にコミュニケーションがとれる場所を作ろう！
- ・ 人と人が繋がる(リンクする)
- ・ コミュニケーションで笑顔が生まれる

● 完成したポスター



(3) 志津南部地区:3班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 施設を利用できる世代が限られている／西部保健センター

- ・ 西部保健センターは、施設の用途が限定的であり、施設を利用できる世代が限られている。

② 既存施設を活用できていない・あるものをもっと使う!／志津図書館・西部福祉センター

- ・ 志津図書館や西部保健センターなどの施設は十分に活用されていない。
- ・ 既存施設の活用性を高める施策を検討すべき。

③ 子どもの居場所が身近に少ない／志津児童センター・ルームさくら等

- ・ 志津児童センターに行くためには自動車で向かう必要があるなど、子どもが遊べる屋内の場所が身近な徒歩圏内にない。
- ・ 学童以外で子供が集まることができる場所が少ない。

(主な意見)

- ・ 志津駅周辺とユーカリが丘を比較して、志津の魅力の低さを感じている。
- ・ 志津にはユーカリが丘駅にはない図書館が設置されているため、志津図書館を志津南部地区のシンボルにしたい。
- ・ 西志津ふれあいセンターの駐車場は地下に設置されており、これも他の公共施設には見られない特徴である。
- ・ 既存の施設の活用方法を増やすことで、施設の価値を伸ばしていきたい。
- ・ 志津図書館を軸に、多世代交流が促進され、市民のコミュニティ活動が活発化するような場があるとよい。

● 公共施設を活用した解決アイデア

志津図書館の用途拡大・イベント開催

(具体アイデア)

【志津図書館の活用】

- ・ 志津図書館の夜間の利用時間を延長し、多様なイベントを開催することで、人々の出会いを創出し、世代間の交流を促進する。
- ・ 「志津に愛着をもつ会」を設立し、志津図書館の利用に関係する行政課と話し合い、小さなステップから活動を始める。
- ・ 西志津市民サービスセンターは別の施設に移転し、空いたスペースはアトリウムと併せて「市民活用スペース」とする。
- ・ 「市民活用スペース」や図書館内のスペースでは、カフェバーやアートイベント、夜のライブ、ファッションショーなど多様なイベントを開催する。
- ・ 西志津ふれあいセンターの地下空間は、アートイベントやローラースケート、お化け屋敷の会場として活用する。

【財政的効率化】

- ・ 西志津ふれあいセンターには既に指定管理者制度が導入されているため、志津図書館や西志津多目的広場まで含めた包括的な管理運営を検討し、運営の財政的な効率化を目指す。
- ・ 西部保健センターの検診等の機能を志津図書館や小学校に移転し、削減されたコストをバス運行の充実やイベント開催の費用に充てる。
- ・ 行政側では施設の利用料金やイベント参加料金の設定を検討し、市民側では商業的な販売活動などを認めることで、両者に金銭的なメリットが生じる仕組みを構築する。



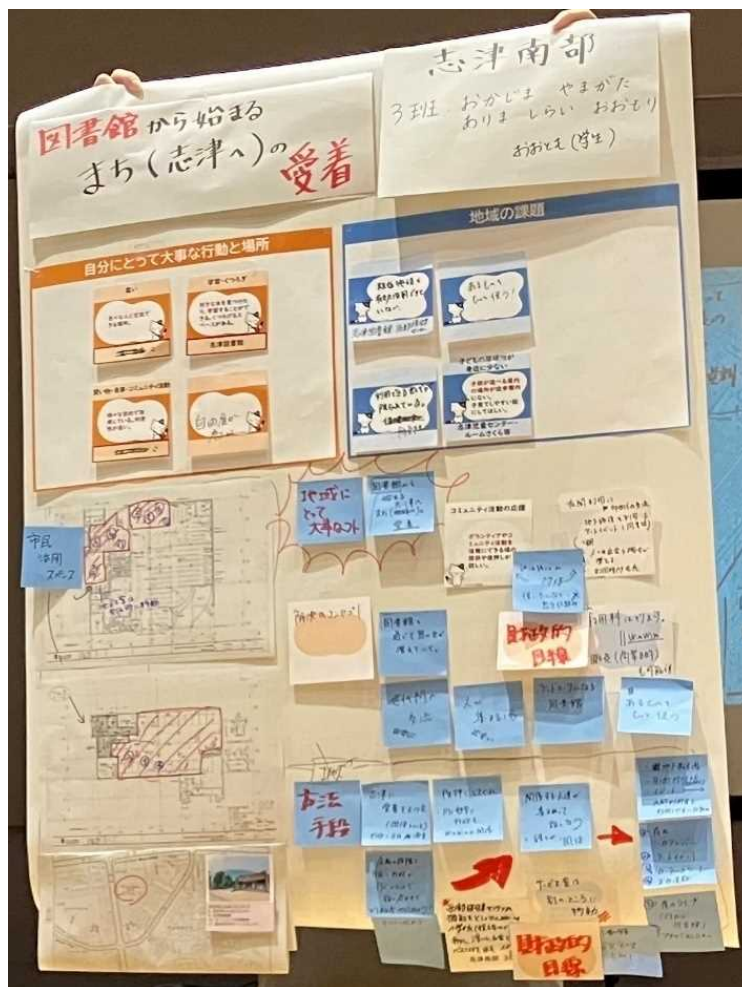
● 班で選定したキャッチコピー

図書館から始まるまち(志津)への愛着

(主な意見)

- ・ 地域に住む人々との関わりから生まれる思い出が、自分が住むまちへの愛着を醸成する。
- ・ 志津図書館を通じて思い出を増やすことができれば良い。

● 完成したポスター



(4) ワークに対する講評

千葉大学 湯浅先生

- 各班それぞれ一般論ではなく、自分たちならこう使いたいという案を考えてくれていた。
- 1班:駅ビルを活用する大胆な案を提示してくれた。
- 2班:非常にユニークな案だと感じた。デッドスペースに着目してそれをフリースペースに変えていく仕組みを考えてもらった。
- 3班:具体的でたくさんのアイデアが詰まった提案になった。完成度はかなり高いと感じた。

4-4 臼井・千代田地区 ワーク結果

臼井・千代田地区は2班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①：地域の優先順位の検討、ワーク②：アイデアの検討をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 臼井・千代田地区：1班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 施設が利用されていない／千代田・染井野ふれあいセンター

- ・ 利用者が少ないので、もっと様々な用途で利用しては
- ・ コロナ禍の時期に施設利用を制限していたが、コロナ禍が終わって再開した後も一度離れた利用者呼び戻すのは難しい。
- ・ 外から見ても、開館(営業)しているのかどうか分からず、入りにくい雰囲気。
- ・ 施設名から、千代田地区の住民しか利用できない印象がある。

② 利用しにくい雰囲気／臼井公民館図書室

- ・ 暗い、汚い、狭いなどの雰囲気だけで利用を躊躇してしまう。

③ 子供が思いっきり遊べる場所(施設)が少ない／地区全体

④ 施設が利用されていない／老人憩の家 千代田荘

- ・ クルマがないと行くことができない。
- ・ 利用者が少ない。

⑤ 「施設名」が時代に合っていない／市内全域

- ・ 「老人憩の家」、「農村婦人の家」など、施設の名前だけで利用に抵抗がある人もいる。

⑥ 施設が存在が知られていない／市内全域

- ・ 似たような施設があっても、相互の案内・紹介がないので、利用が偏っている。

● 公共施設を活用した解決アイデア

千代田・染井野ふれあいセンターを、幅広い年代が利用しやすいように改善する

(具体アイデア)

- ・ 多世代利用、複合化・多機能化／子どもから高齢者まですべての年代が様々な用途で親しめる、利用できる施設を目指す。名称も用途や機能を制限しないものとする。
- ・ 休憩・カフェスペース／ドリップコーヒーが飲める自販機が設置しており、読書ができるなど適度に落ち着ける場所とする。
- ・ 施設名の工夫／施設名が時代に合っていないため、利用したくなるような施設名に変更する、または愛称をつける。(お金をかけずに改善ができる。)
- ・ 入口の工夫／『入りやすさ』はとても重要なので、入口にポップなカラーの幟旗をたてる、入り口を明るくする、看板を明るく見やすくす



るなどし、入りやすい雰囲気演出する。

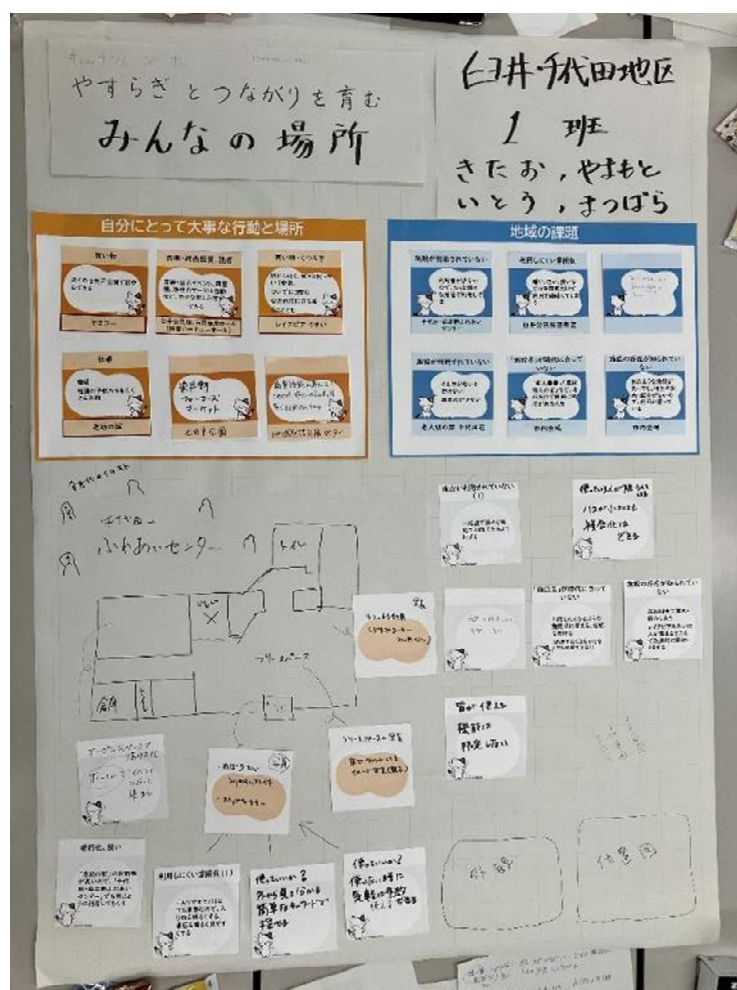
- ・ 平準化の工夫／「老幼の館」の利用率が高いので、千代田・染井野ふれあいセンターの利用も周知し、同じように利用してもらう。
- ・ 施設の広報／施設の存在が知られていないため、施設同士で案内・紹介しあう。レイクピアみたいに人が集まる場所で効果的に周知・PRする。

● 班で選定したキャッチコピー

やすらぎとつながりを育む みんなの場所

- ・ 千代田・染井野ふれあいセンターを、子どもから高齢者まで全ての年代が様々な用途で親しめる、利用できる施設とすることを目指す。

● 完成したポスター



(2) 臼井・千代田地区:2班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 図書館が各学区から遠い／千代田地区・市内全域図書館

- ・ 公共施設にアクセスできる公共交通機関がもっとあれば暮らしやすい街になるのではないかな。図書館が学区から遠すぎて子供だけでは行くのが困難

② 公共交通手段が少ない／市内全域

- ・ 乳幼児の頃は親が自転車でいろいろな場所に連れて行ってあげることができるが、小学生ぐらいになると自分の足で行動する範囲に施設がないと困る。

③ 活動できる場所探しが大変／市内全域

- ・ 公共施設が気軽に貸し出せる仕組みが欲しい。公共施設での活動申請において、一部の人に利益が出ることを良しとしていないため、イベントや施設貸し出しの申請を断られることがある。
- ・ 佐倉市は地域を良くするための活動をやりたい人はたくさんいて、人的資源は豊富なのに、それを実現する場所がない。そもそも使える場所の存在を知らない。検索できない。

④ 魅力的な場所のアピール不足／市内全域

- ・ 市外の人から佐倉市に来て魅力的な街だと思ってほしい。尾道市は海が見える美しい庁舎に人が集まっている。多くの人が来てくれる、行きたくなる施設があると良い。

⑤ 施設が分かりにくい／子育て支援センター(レイクピアウスイ)／市民音楽ホール

⑥ 相互扶助の仕組みがほしい／市内全域

● 公共施設を活用した解決アイデア

各小学校や公共施設に地域の「たまり場」をつくる

(具体アイデア)

- ・ 「たまり場」にほしい機能は、野菜直売所、子ども食堂、プレイパーク、カフェ、図書室(移動図書館)、シェアサイクルステーション、乳幼児の居場所など。
- ・ 小学校区に一つ設ける。
- ・ 小中学校の空き教室も利用する。
- ・ 将来的に統廃合していくことも検討する。

(主な意見)

- ・ 各地域にはあまり使っていない貸しスペース(防災集会所や健康管理センターなど)がある。そこを地域の「たまり場」として使ってはどうか。
- ・ 学童保育的なスペースを小学生の足で行ける範囲に点在させたい。子供だけでなく、地域の人みんなが集える拠点＝「たまり場」をつくりたい。



小学生の足で行ける地域のたまり場をつくろう

- ・「小学生の足で行ける」キーワードにしたのは、小学生の足で行けるということは、誰でも行きやすい距離であることを表現するため。

[illegible]

- 1 班と2班で着眼点が対照的であり、1班は 1 つの施設に着目した解決アイデアで、2班は地域全体をマクロ的な視点で考えた解決アイデアになっていた。どちらも大切なプロセスを経て班で考えてもらった結果になった。

4-5 佐倉地区 ワーク結果

佐倉地区は 3 班に分かれてワークを行いました。各班のワーク①:地域の優先順位の検討、ワーク②:アイデアの検討をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 佐倉地区:1班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 多世代が交流できる場が必要/地区全体

- ・ 高齢化が進み、近隣同士のコミュニティや助け合いがますます重要になる。近隣関係の希薄化は、近隣同士が気軽にコミュニケーションをとれる場が少ないことも一因では。
- ・ 高齢者向けの施設と若者向けの施設を複合化するなどして、多世代が交流できる場を整備しては。

② 多目的に使える集会施設が台地でない/集会施設

- ・ 比較的アクセスしやすい台地のエリアに会議や趣味に使える集会施設が少ない。

③ 集会施設の必要性の低下/集会施設

- ・ 佐倉地区には多くの公共施設があり集会施設も多くある。人口が減るなか、これほどの数の施設が必要か疑問である。

④ 小学校が地域に開かれていない/小学校

- ・ 小さな子や孫がいる世帯にとっては、小学校は地域コミュニティの拠点として身近な存在だが、子供が大きくなるに伴い小学校に行く機会がなくなり、縁遠い存在となってしまう。
- ・ 用もないのに小学校の外から中を見ていたら不審者と思われるのでは、と心配してしまう。気軽に近寄りがたい。

⑤ 公園がコミュニティの場になっていない/佐倉地区の公園・遊び場

- ・ 公園や遊び場に日かげが少なく、施設や遊具等にも魅力がないため、親子や近隣のコミュニティの場になっていないのでは。(ex 七井戸公園は、遠くても行く価値がある。)

⑥ 老朽化した施設が多く、集約化が必要/佐倉地区の公共施設

- ・ 佐倉地区は市の中心的地域として、昔から多くの公共施設が整備されてきたため、施設が点在し、その多くが老朽化している。アクセスしやすい場所に集約してよいのでは。

● 公共施設を活用した解決アイデア

公共施設の活用を考える際の大前提

移動弱者(高齢者、障がい者等)を取り残さないまちにする

- ・ 佐倉地区は高低差のある地形のため、移動弱者に特に配慮が必要。
- ・ 移動弱者を取り残さないまちでありたい。移動弱者も行きやすい、行きたくなるような施設やサービスが増えてほしい。(コミュニティバスなどの移動支援サービスの充実など)

アイデア

(具体アイデア)

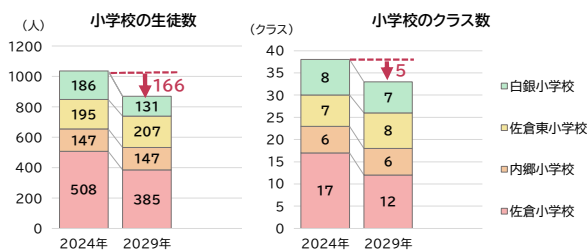
① 地域の人が利用しやすい「小学校」に周辺の老朽化した施設の機能を集めて、複合施設に

- ・ 佐倉地区には機能や利用形態が似た施設が複数点在している。老朽化し、更新時期を迎えているそれらの施設の機能(サービス)を地域住民が行きやすい場所に集約・複合化してはどうか。
- ・ 小学校は周辺地域の子供が歩いて通える場所に立地しているため、地域の人にとっても利用しやすい場所にある。今後クラス数が減少(下図参照)して増える空き教室を放課後や週末などに地域住民のために開放すれば、公民館などの集会施設は不要になるのでは。

3 地区の生徒数推移【佐倉地区】

- 小学校の生徒は、2024年から2029年までの6年間で166人減少し、クラス数は5クラス減少する見込みです。

※小学校の学級数が12未満になるとクラス替えのできない学年が発生し、6未満になると複式学級が発生する可能性があります。



項目	佐倉小学校		内郷小学校	
	2024	2029	2024	2029
生徒数	508	385	147	147
学級数	17	12	6	6
うち1年生の人数	68	52	22	23
うち1年生の学級数	2	2	1	1

項目	佐倉東小学校		白銀小学校	
	2024	2029	2024	2029
生徒数	195	207	186	131
学級数	7	8	8	7
うち1年生の人数	34	33	43	11
うち1年生の学級数	1	1	2	1

- ・ 例えば、「佐倉小学校」に、老朽化が進んでいる「中央公民館」、「老幼の館」、「佐倉新町おはやし館」、「レインボープラザ佐倉」などの周辺施設を集めることが考えられる。
- ・ 校庭に「巨大なサンシェード」を設置して夏季でも利用しやすくする、学校プールを地域に開放するなど、学校施設の様々な利用方法が考えられる。

② 「ヤングプラザ」の機能を「ミレニアムセンター」に集約し、多世代交流の拠点に

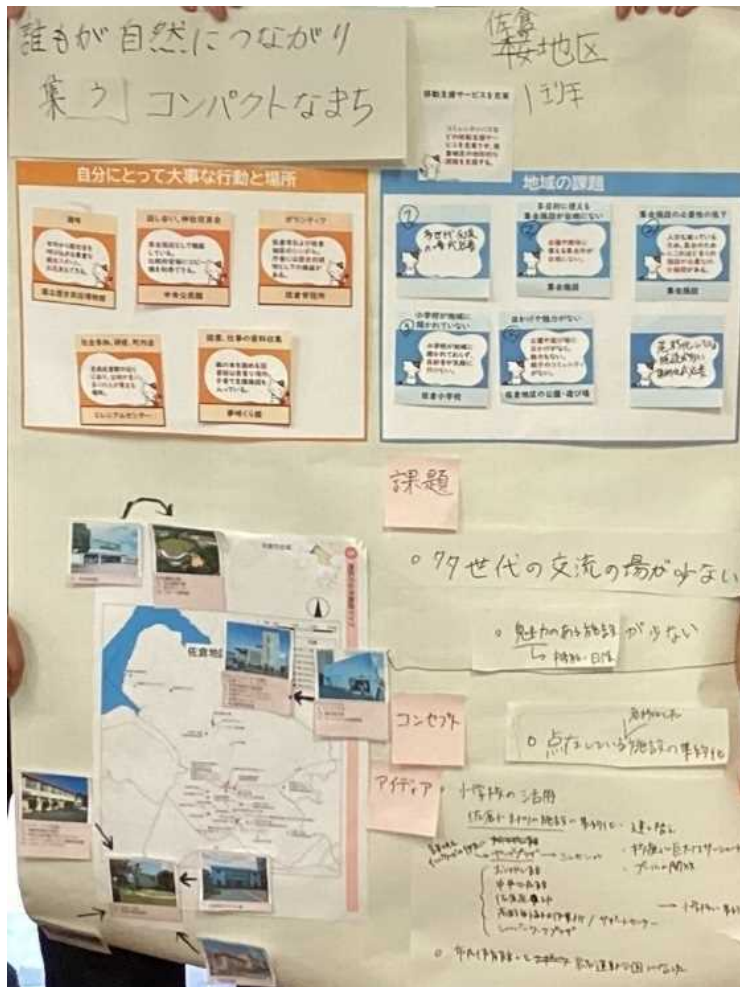
- ・ 現在の施設は、駅前の好立地を生かし、成田空港拡張で今後も増加が見込まれるインバウンド向けの観光案内所として整備・充実を図る。

④ 「市民体育館」の機能を「岩名運動公園」に集約し、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点に再整備

- 班で選定したキャッチコピー

誰もが自然につながり 集う コンパクトなまち

● 完成したポスター



(2) 佐倉地区:2班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 多世代交流できる施設が少ない/市内全域

- ・ 2 班は子育てと介護をしている参加者なので、最も相応しい課題と感じる。

② 子どもの居場所が少ない/市内全域

- ・ 雨の日にも遊べて、外遊びもできて、車で行けて、食べ物がある場所があれば居場所になりやすい。

③ 多世代が交流するきっかけが不足している/市内全域

- ・ あるきっかけで子どもが高齢者施設へ行く機会が増えた際に高齢者との交流が生まれ学校では教わらないことを学べた。子供の選択肢を広げる場所、きっかけ作りがほしい。

④ バスの運行ルートが充実していない/市内コミュニティバス全域

- ・ 多世代交流の場所を作っても行ける足がないと使われない。コミュニティバスの本数は現状かなり少ない。

⑤ 公共施設に市営駐車場が少ない/ミレニアムセンター、ヤングプラザ

- ・ 上記の施設は駅前にあるので、子供迎えの時間帯は路上駐車がおきてしまっている。送迎を考えると駐車場の整備も必要

(主な意見)

- ・ 多世代交流ができる場所はひとつにこだわらなくても良い。
- ・ 児童センターがあってもあまり使われていない場所がある。足が不便な人でも行けるようにしたい。バスルートと施設の重ね合わせが必要
- ・ 老幼の館はゲーム持ち込みが禁止なので、子供たちは行かなくなってしまう。ヤングプラザは持ち込み OK なので比較的行きやすい。ルールレスな居場所、子供がのびのびできる環境を用意したい。
- ・ 高齢者が昔遊びを通して子供たちと繋がりをもっている事例もある。根郷地区には子供たちの宿題を高齢者がみてる場所もある。

● 公共施設を活用した解決アイデア

歩いていける身近な場所をつくる

(具体アイデア)

- ・ 今ある公共施設の特性を活かして多世代交流のきっかけになる場所を作る。
- ・ 施設を分散させることで、市民にとって行きやすい場所を選択できるようにする。
- ・ 学校になじめない子供の居場所にもしたい。
- ・ 子どもとお年寄りが相互に教え合う場をつくる。
- ・ 「食」を通じた交流の場を作る。(子ども食堂、百円喫茶、単身者のお食事会 など)

- ・ 何をしても自由な場所にする。みんなが気持ちよくいたら OK。
- ・ 子どもの選択肢を増やすきっかけ作りの場にする。
- ・ 障がいのある子どもと大人の交流づくりができる場にする。

(着目した施設)

- ・ バスルートなどを確認し、「ミレニウムセンター佐倉」、「佐倉幼稚園」、「佐倉東小学校」、「佐倉老幼の館」の4施設に着目。
- ・ 立地、施設規模・用途からそれぞれの施設に付加したい機能を検討した。

ミレニウムセンター佐倉

(着目した理由)

- ・ 既に地域活動やサークルの拠点となっており、駅前という立地を活かしたい。

(付加したい機能)

- ・ 調理室を活かした「子ども食堂」
- ・ 5 階の停止になった浴場を活かした「ボールプール」
- ・ 地域活動、サークル活動の拠点であることを活かした「屋内遊び場」
- ・ 宿題を見てくれる居場所

佐倉東小学校

(着目した理由)

- ・ 屋外空間が広く、調理室がある。

(付加したい機能)

- ・ 屋外空間の広さ、調理室を活かしたバーベキューができる屋外の遊び場
- ・ 宿題を見てくれる居場所



佐倉幼稚園

(着目した理由)

- ・ 自然豊かな環境にあり、施設までの道のりも安全。屋外、屋内両方の遊びが楽しめる。

(付加したい機能)

- ・ 昔あそびの交流
- ・ フリースクール
- ・ 食のコミュニティ
- ・ 自然を楽しむバーベキューなどの屋外あそび
- ・ 宿題を見てくれる居場所

老幼の館

(着目した理由)

- ・ 子どもと老人が集う拠点になっており、古民家のような雰囲気がある。

(付加したい機能)

- ・ 子どもが高齢者にスマホの使い方などを教える場
- ・ 食のコミュニティ
- ・ 宿題を見てくれる居場所

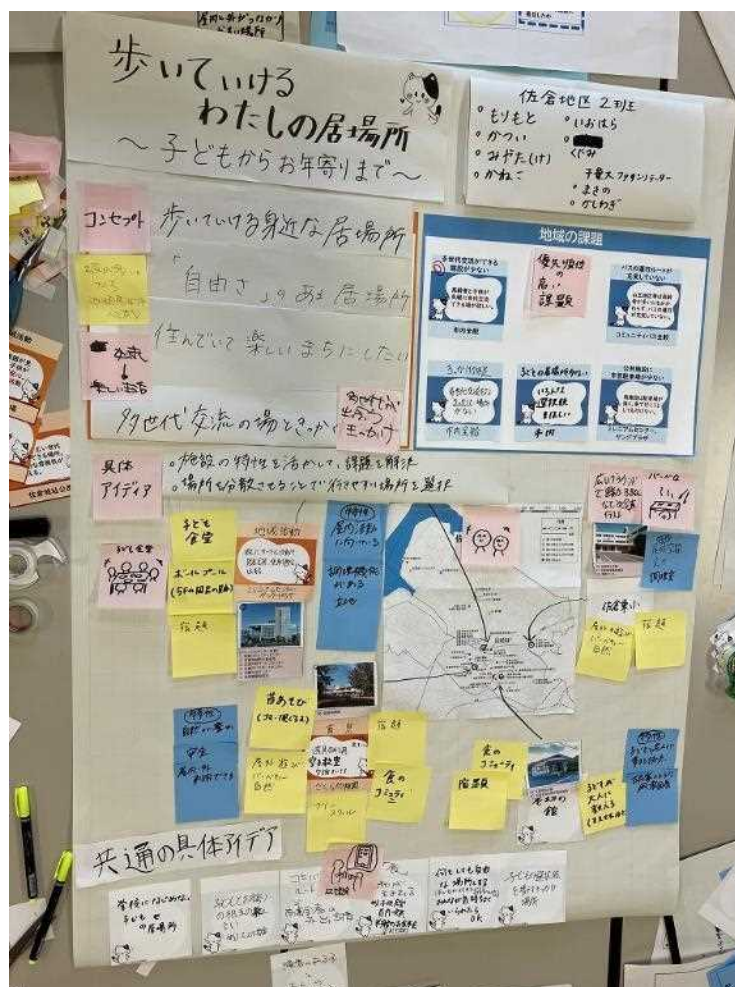
● 班で選定したキャッチコピー

歩いていけるわたしの居場所～子どもからお年寄りまで～

(主な意見)

- ・ 多世代との交流の場があれば、外へ出るきっかけ作りになる。多世代交流でお互いに元気をもらえる。
- ・ 地域の人が元気になれば地域の魅力がアップし、移住者も増えるのではないかな。

● 完成したポスター



(3) 佐倉地区:3班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 施設の運用に改善の余地がある/夢さくら館

- ・ 小学生くらいの子供が遊べるスペースが無い。自由に交流できるスペースも欲しい。

② 施設を気軽に利用できない/公民館等

- ・ 公民館などの施設は、事前に予約する必要があるため、気軽に利用できない。

③ 施設の利用率が低い/佐倉新町おはやし館

- ・ 新町おはやし館の利用率が低い。多目的室も特定の人しか使っていない。

④ ミレニアムセンター佐倉の利活用が不十分/ミレニアムセンター佐倉

- ・ アクセスは良いが、どんなサービスが提供されているのか良く分からない。

⑤ 施設の内容や存在意義が分からない/七井戸公園・佐倉新町おはやし館・印旛合同庁舎

- ・ 施設の内容や開催されているイベントが良く分からない。

(主な意見)

- ・ 公共施設に関する情報発信が不足しており、ミレニアムセンター佐倉や佐倉新町おはやし館等の施設で何をしているか、また、施設を利用してよいのかも分からない状況になっている。
- ・ 公共施設に関する情報発信は、市のホームページや SNS を活用するほかにも、駅内など市民の目に留まりやすい場所にお知らせを掲示するなどの方法があるのではないかと。
- ・ 現状では、公共施設を利用する世代が限られているが、その中でも図書館は学生の利用者も多い。
- ・ 公共施設には学生が集まることのできる居場所が少ないため、ヤングプラザのような施設は地域にとって重要性が高い。
- ・ 京成佐倉駅と JR 佐倉駅のどちらからでもアクセスしやすい場所に、子どもが集まれる場所があると良い。
- ・ 市民体育館や佐倉新町おはやし館等の貸室の利用率が低いと、それらを有効活用して自由なあそびのスペースが欲しい。

● 公共施設を活用した解決アイデア

既存施設に第二のヤングプラザを設ける

【既存施設の活用】

- ・ 利用率の低い公共施設の空きスペースを利用し、ヤングプラザのような子どもが遊べる居場所を複数設ける。
- ・ 京成佐倉駅と JR 佐倉駅のどちらからもアクセスしやすいあそび場を作るため、利用率の低い市民体育館の 3 階会議室・2 階会議室を活用する。
- ・ 施設の利用率が低い佐倉新町おはやし館や、内郷小学校に通う子ども向けに青少年センターの

空きスペースも活用し、ヤングプラザの機能を設ける。

【情報発信】

- ・ 利用者の多い駅を有効活用し、多くの市民が見える所に公共施設の利用に関する情報を掲載する。
- ・ 市のホームページ、SNS、掲示板に掲載されている情報を、1 つに集約する。



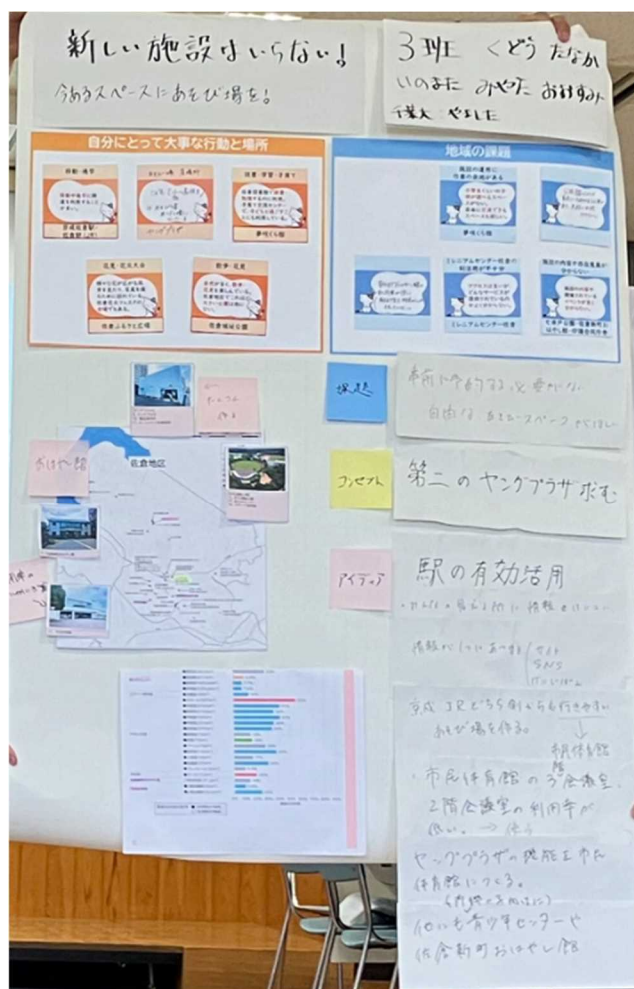
● 班で選定したキャッチコピー

新しい施設はいらない！今あるスペースにあそび場を！

(主な意見)

- ・ ヤングプラザの機能を有する施設が、もっと地域内に増えると良い。

● 完成したポスター



(4) ワークに対する講評

千葉大学 柳澤先生

- 1 班:複合化、集約化をテーマにアイデア出しをしていただいた。
- 2 班:多世代交流、ネットワークを考えた今の施設の有効活用方法を考えてもらった。
- 3 班:2 班と同じく施設の多機能化を目指した提案だった。若い人が集まれる場をヤングプラザ以外でも持てるよう分散させるアイデアだった。
- 冒頭の説明で今ある施設を多機能化し、お金をかけないでアイデア出しをしようという説明に真摯に向き合っていたき、各班それぞれ短時間で具体的なアイデアを出すことができた。

4-6 根郷・和田・弥富地区 ワーク結果

根郷・和田・弥富地区は1班として班分けせずにワークを行いました。ワーク①:地域の優先順位の検討、ワーク②:アイデアの検討をまとめた結果は以下のとおりです。

(1) 根郷・和田・弥富地区:1班

● 地域にとっての優先順位の高い課題・大切なこと

① 中高生の遊ぶ場所がない／地区全域

- ・ その中で南部児童センターは比較的行く人が多い。中学生が子供と遊ぶボランティア活動で来ることもある。

② どんな施設があるか分からない/市内全域

③ 限定された施設のネーミング/南部児童センター

- ・ 施設名に「児童」とあるが、バスケットコートもあり、中学生もよく来ている。本施設は他の児童センターに比べて規模も大きく、幅広い年齢層が使っている。

④ 施設があっても年配の方は来る目的がない/南部保健福祉センター

- ・ 引退した人たちが気軽に行ける場所がない。どこかの施設に図書室でもあれば行きやすいのではないか。

(主な意見)

- ・ 佐倉南図書館は、根郷中学校の図書室も兼ねているため、昼休憩に佐倉南図書館に行く生徒もいる。
- ・ 図書館も単一の機能ではなく、いろいろな機能があればいい。多機能施設があると佐倉に住みたいと思う人も増えるのではないか。
- ・ 施設名に「児童」や「保健」が入っていると来る人が限られると思う。施設名の変更が必要。名前で利用者に偏りが生じる。

● 公共施設を活用した解決アイデア

みんなが行きたくなる場所、うきうき、わくわくしよう！

(着目した施設)

- ・ 南部保健福祉センター

複合施設としていろいろな用途があるが、多世代が行きやすい機能を付加してもっと活用できるようにする。

- ・ 根郷中学校・佐倉南図書館

根郷中学校に他の機能を付加し、地域の拠点、多世代交流の拠点にしたい。南部保健福祉センターで拠点ができれば、次の拠点の候補としたい。小学校や中学校を拠点にすれば多世代が集まりやすい。佐倉南図書館の隣の空き地も活用できる。



(具体アイデア)

- ・ 年配の方を集めるコンテンツと若者が集まるコンテンツを南部保健福祉センターに取り入れる。
- ・ 「サークル活動」があるが、サークルに入っていない人も来られる手作り体験、ワークショップができる「工作する場」
- ・ お茶や地域の歴史の伝授などの自分の得意なことを教える「出前講座」
- ・ 美味しいものを自分で作る「グルメな場所」
- ・ 「Wi-Fi があって作業できる場」があれば子どもの居場所、大人はリモートワークに活用できる。
- ・ まんがコーナーがあれば子どもたちは楽しめる。

(主な意見)

- ・ 公共施設だから無料で使えることにこだわらず、お金払ってでも行きたいと思える機能を持たせられないか。(歴史まんが図書館、銭湯など)
- ・ 年配の方がちょっと行ってみようと思えるコンテンツを既存施設の中に入れ込む。
- ・ 他方で若者は Wi-Fi があれば居場所になる。これはあまりお金もかからない。Wi-Fi があって作業できる場を既存施設に入れ込んでどうか。
- ・ いろんなスキルが活かせる、披露できる場があれば多世代交流につながる。世代を超えた女子会もできる。

● 班で選定したキャッチコピー

MGS(まじでジェネレーションを超える佐倉)～世代を超えた共感の場～

(主な意見)

- ・ 覚えやすくキャッチーな言葉で表現したい。

● 完成したポスター



(2) ワークに対する講評

千葉大学 柳澤先生

- 多世代交流がテーマのアイディアになった。いろいろな人が集まれる場所を作っていくことが大事であるとし、具体施設の中身まで考えて踏み込んだ提案になった。
- 南部保健福祉センターをこれからどうしていくのか、地区の市民として引き続き考えていただきたい。

5. 第4回ワークショップ(全体回)

5-1 ワークショップの流れ

(1) 【Step1】 第4回ワークショップの目的および進行の説明

千葉大学の湯浅先生から、第4回ワークショップの目的および進行について説明していただきました。説明の概要は以下のとおりです。

- 本ワークショップは、公共施設再配置方針を策定するに当たり、「地域の声」をしっかりと把握し「行政と市民」で一緒に考える場である。
- 第四回ワークショップは、発表会とポスターセッションによって構成される。発表会では各班 4 分で発表を行い、その後のポスターセッションは、説明者と参加者が対話する形式で実施する。
- 発表会・ポスターセッションともに、本ワークショップの参加者以外の一般の方が参加できる。



(2) 【Step2】 発表会

佐倉市長から挨拶をいただいたのち、第3回ワークショップで作成したポスターについて、計 11 班が発表を行いました。発表会の概要は以下のとおりです。

- 公共施設の活用に関するアイデアについて、各班が4分間の発表を行った。
- 質疑応答はポスターセッションにて行うこととし、発表会では発表者による説明のみを実施した。



(3) 【Step3】ポスターセッション

会場に各班のポスターを掲示し、ポスターセッションを行いました。ポスターセッションの概要は以下のとおりです。

- 参加者は各ポスターを見回って説明を聞き、質疑応答を行った。
- 各班のメンバーは複数グループに分かれ、自分の班のポスター説明と、他の班の聴講をローテーションして行った。
- ポスターセッションの参加者には 3 枚のシールが配布される。参加者は「面白い! ぜひ実現してほしい!」と思ったポスターにシールを貼り、最後に獲得したシール数が多い上位 3 班を発表した。



(4) 【Step4】ポスターセッションおよびワークショップ全体に対する講評

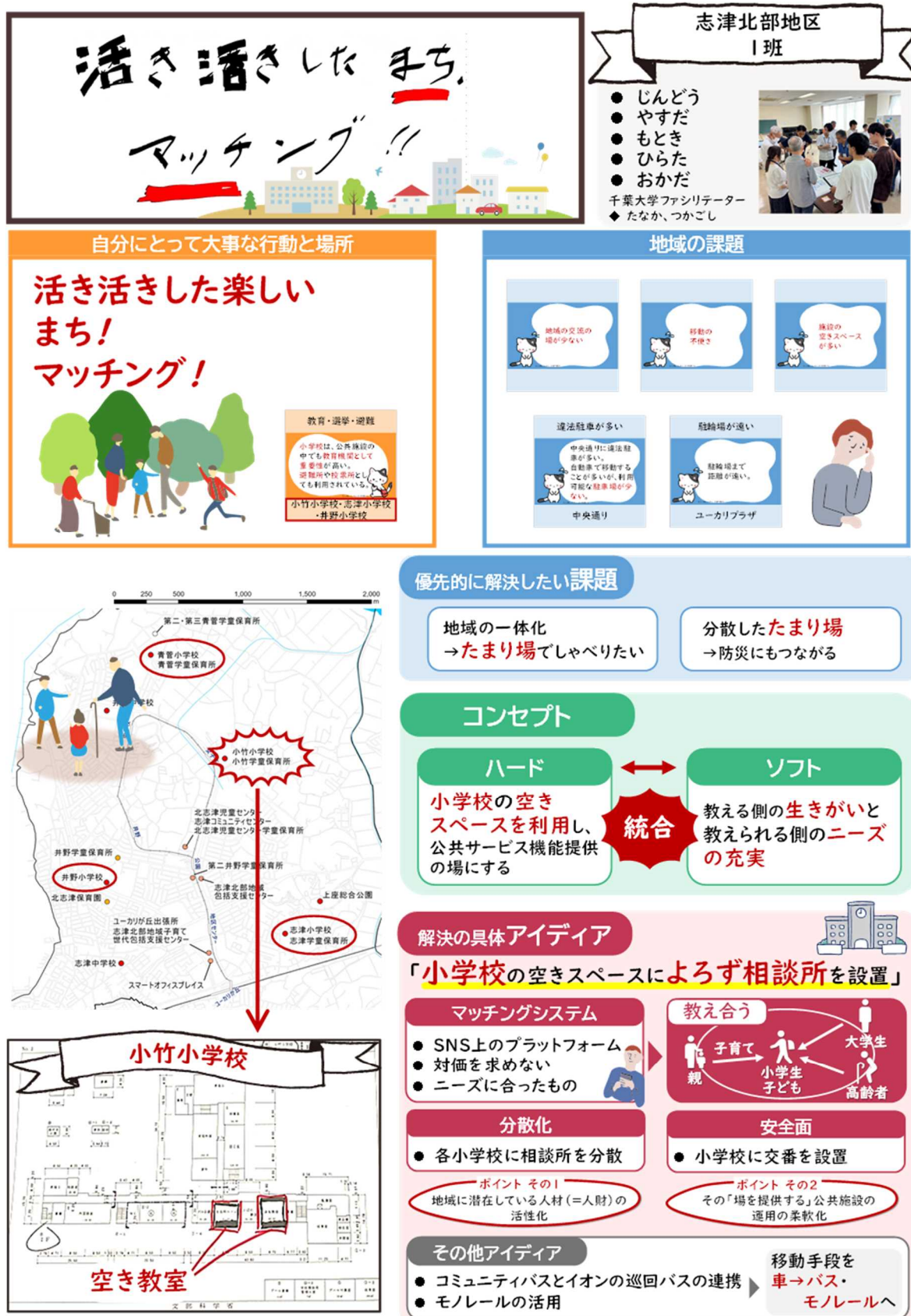
ポスターセッションの終了後、千葉大学の柳澤先生と湯浅先生から、ポスターセッションおよびこれまでのワークショップ全体に対する講評をいただきました。また、最後に佐倉市長から挨拶をいただきました。

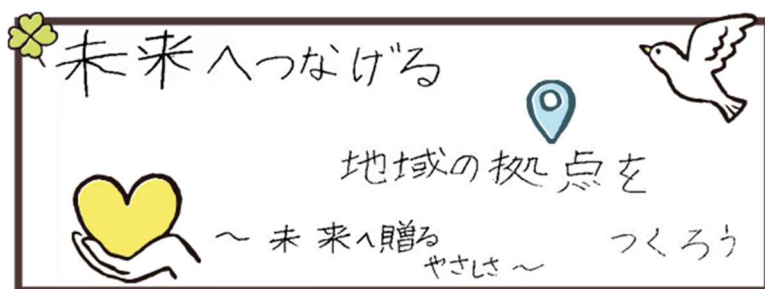


5-2 各班の作成したポスター

第4回ワークショップでは、第3回ワークショップにおける各班で作成した模造紙のポスターを事務局がデジタル化し、発表に使用しました。以下に各班のポスターを掲載します。

(1) 志津北部地区





志津北部地区 2班

- えのもと
 - かいぬま
 - にしぐち
 - きせ
 - すなおし(ゆ)
 - すなおし(は)
- 千葉大学ファシリテーター
◆ あおいし、おおとも



自分にとって大事な行動と場所

趣味、読書 読書会や読書会などで利用できる大ホールがある。多目的グラウンドも併設されており、地域の避難所や集いの会場にもなる。 志津コミュニティセンター、多目的グラウンド	移動(通勤)・食事・美容室 ユーカリが丘駅は地域の中心。駅周辺が商業地であれば、駅周辺の開発も期待できる。 ユーカリが丘駅周辺	学習・遊技訓練・通学の授業 教育の場として大事。校舎内にもなっている。コスパが良いと言える。 小竹小学校
買い物 買い物や飲食と合わせて様々な目的で利用され便利(保育園、眼科、歯科、クリニックなど)。 イオンタウン ユーカリが丘	買い物、映画 映画館もあり、様々な楽しみ方、過ごし方ができる。 ユーカリプラザ (YOU! PLA)	

地域の課題

空き店舗が多い 空き店舗が多い。いいお店や本屋も少ない。がシャッターが落ちてしまっている。 イオンタウン ユーカリが丘	公共サービスへのアクセス 毎日市役所に行かなければならない。 志津コミュニティセンター	図書館が使いにくい 図書館で本を借りたけど返すのが大変で借りたくない。 図書館	子どもを遊ばせるスペースが少ない 子供が遊ぶようなスペースが少ない。 志津北部地区
利用されていないスペース 使われていない部屋があるのにそのままにしておくのはもったいない。 北志津児童センター	駅周辺の利便性・魅力の不足 駅周辺の魅力が不足している。駅周辺に新しい場所が欲しい。駅周辺が活気がある。 ユーカリが丘駅周辺	機能がなくても使えない 子育て支援センターは予約しないと使えない。 志津北部地域包括支援センター	空いている部屋が多い 使われていない部屋が多くある。 北志津公民館

優先的に解決したい課題

- いろいろな場所に公共機能が散らばっていると、移動するのが大変。
- ユーカリが丘駅周辺の商業施設は空き店舗が目立ち機能不全を起こして魅力が不足している。
- 公共施設が多くあっても、立地や運営面からそのポテンシャルが活かしきれていない。

解決の具体アイデア

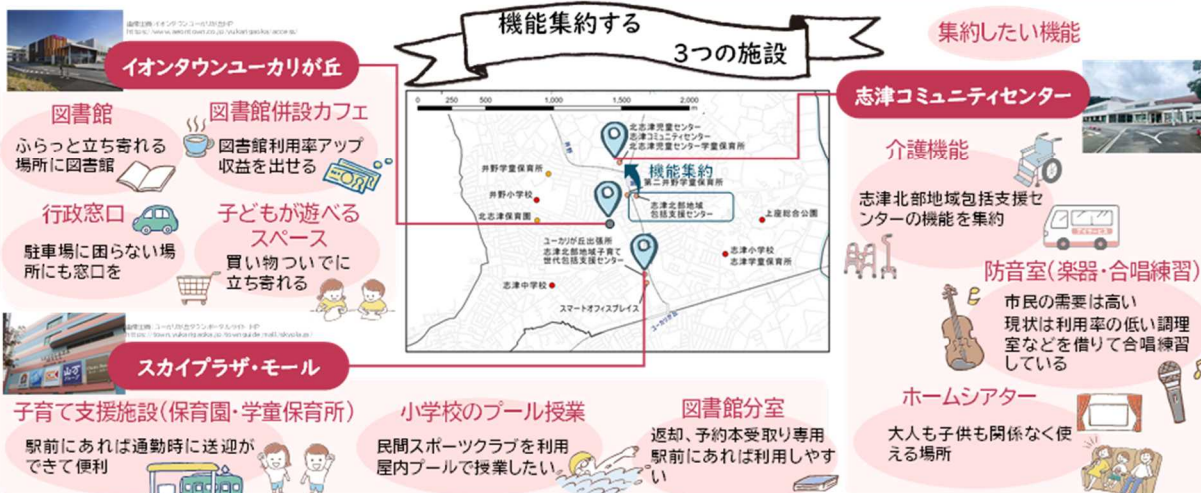
3つの施設に公共機能を集約する

- 施設に機能を集約すれば、移動が少なくなることは多様な世代にとって使いやすく、**コスパの高い施設**になる。
- 車を使う人も使わない人も便利になるように、1つの施設に集中させるのではなく、**それぞれの施設の立地、特性に合った公共機能を集約**する。
- 「志津コミュニティセンター」は大規模改修を控えているので、そのタイミングに合わせて老朽化対策だけでなく、間取りを変更する機能・用途整理を行う。畳を取り外し可能にする、移動式棚をつけるなど、**フレキシブルに使える間取りに改修**する。

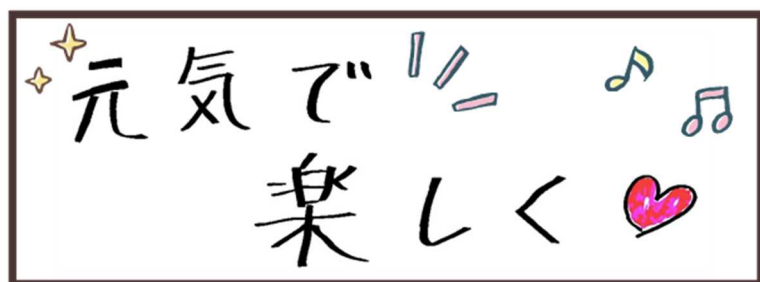
コンセプト

公共サービス機能を集約し、コンパクト化

- みんなに使いやすく、集える、便利な施設を未来に贈りたい。



(2) 志津南部地区



志津南部地区 1班

- おざき
- nonbe
- よしみつ
- のむ
- なべ

千葉大学ファシリテーター
◆ あおいし、つかごし



自分にとって大事な行動と場所

スポーツ テニスをプレーするために利用しており、結果的に健康寿命を延ばすことに繋がっている。 ニッケテニスドーム佐倉	社会参加活動 毎月公園でイベントを実施しており、地域の方と交流する場になっている。 中志津1号公園	地域の会合 地域の住民が気軽に集まれる場所になっている。 (カラオケ、趣味の集まり等) 西志津さくら自治会館
移動・買い物 志津駅前バス停の移動が必要。また、まだ発展していき可能性がある。 志津駅前	買い物 車で往復して便利。 イトヨーカ堂・Fululu Gorden (ハチ代店)	受診 定期的に治療のために通院しており、欠かさない施設である。 東洋病院

地域の課題

体育館が欲しい 市民体育館しかない。 市民体育館	多目的施設の不足 スポーツや会合、その他に必要な施設で使える多目的施設が必要。 志津南部地区	施設の魅力の不足 おもしろい施設がない。 志津公民館
病院の不足 コーカが丘は人口が多いが、病院が混んでおり、需要に満たない。 コーカが丘	ふらっと集まれる場所がない 市民が集まれる場所が少ない。 市内公共施設	駅前の賑わい 駅ビルに空きがあり賑わいが無い。 駅前

優先的に解決したい課題

- 健康寿命を延ばす環境が必要。
- 健康について相談できる場所、ふらっと来られる場所、外に出て体を動かして、色々な人と交流できる場所、地域の居場所づくりが必要。
- 多様な世代が交流できる場が少ない。

コンセプト

健康寿命延伸のため「健康増進拠点」と「集まれる場」を既存施設に付加

- 楽しいことは健康に良い。楽しく使える公共機能を既存施設に付加していきたい。

健康増進拠点と 集まれる場



解決の具体アイデア

1 志津ステーションビルに公共機能を複合させて健康増進の拠点にする

- 志津ステーションビルの床を借りて健康増進機能(サービス)を付加させる。
- 多機能な場所としていろいろな人がふらっと立ち寄れる場所、賑やかな場所があれば、健康増進につながる。
- 保健士が常駐していて気軽に健康相談できるようにする。

2 小学校や公民館に集まれる場(機能)を付加して健康増進の準拠点にする

- 今ある公共施設に気軽に「集まれる場」の機能を付加する。
- 小学校の余裕教室を活用する。
- 小学校で行われている市民スポーツクラブが活動は、年齢を問わず楽しめるレクリエーションの拠点であり、健康増進の拠点になりえる。特に卓球は老若男女楽しめる。
- 「健康増進の拠点」機能をゆくゆくは地域にたくさんある「集まれる場」にも付加していく。

リンクする志津へっ



志津南部地区 2班

- いしばし
- おおくぼ
- きのうち
- わたなべ

千葉大学ファシリテーター
◆ たなか



自分にとって大事な行動と場所

読書 図書館を利用することで多くの本を読むことができ、読書を楽しむことができる。 図書館	仕事 多くの施設が設置されており、色々な人と交流できる。 志津市民プラザ	イベント交流 月に1回開催されるイベントで、多くの交流や出会いがある。イベント後はボランティア活動も行っている。 中志津一号公園
仕事 イベントの企画を行うために活用している。 滝口酒店	スポーツ 芝生(緑)があり、遊べる。 多目的公園	

地域の課題

利用者特性に応じた運営 障がい者が受容され、子供が多少騒いでも許容される図書館があるという。 図書館	子育てしやすいまちづくり 学童保育所は、通園状態であり、待機児童が多い。放課後に子供が遊べる場所が少ない。 学童等、公園	施設間の連携 学童と図書館が併設され、気軽に本を借りて持ち帰る仕組みがあるという。 貸し部屋
公共施設の配置 公共施設が市役所周辺に密集しており、志津地区からは距離(3駅)がある。 公共施設全般	有効活用 貸し部屋の存在を十分に知らないため、有効活用できていない。 西志津ふれあいセンター	情報共有 目的に応じて借りたい部屋を探すのに苦労している。 貸し部屋

● 市民が利用できる貸室の年間利用率



西志津ふれあいセンター

● 西志津ふれあいセンターの活用方法の提案



フリースペース設置場所 案

優先的に解決したい課題

- 大人も子どもも気軽に過ごせる場所が少ない。
- 部屋の空き状況はあまり知られてなく、使いたいときに目的に応じて利用できる部屋を探づらい。

コンセプト

子どもも大人も集まれて、気軽にコミュニケーションがとれる場所を作ろう!

解決の具体アイディア

■ 公共施設の機能

1. “魅力的な”フリースペース(無料)を様々な施設に設置
2. 市民の利用機会を増やすことで公共施設を知ってもらう。
3. 施設(機能)の複合化と施設間の連携を強化し、利便性を高める。

■ 公共施設の運用

1. 施設がどのように使われているか見える形で示す(看板設置等)
2. HP上で貸しスペースを簡単に検索できるような仕組みを構築
3. 問合せした際、他の施設の情報や空き情報を教えてもらえる。

図書館から始まる まち（志津へ）の愛着

**志津南部地区
3班**

- おかじま
- やまがた
- ありま
- しらい
- おおもり

千葉大学ファシリテーター
◆ おおとも

自分にとって大事な行動と場所

集い

色々な人と交流できる場所。

志津図書館

学習・くつろぎ

好きな本を見つけたら、学習することができ、くつろげるスペースがある。

志津図書館

コミュニティ活動

様々な目的で活用している。利便性が高い。

志津図書館

自由度が高い

志津図書館

地域の課題

既存施設を有効活用できていない

志津図書館・西部保健センター

あるものをもっとつかう！

利用できる世代が限られている

志津図書館

子どもの居場所が身近に少ない

子供が遊べる屋内の場所が徒歩圏内にない
子育てしやすい街にしたい。

志津児童センター・ルームさくら等

西志津ふれあいセンター

ロビー

図書館

志津図書館

市民活用スペース

地下駐車場

マルエツ

西志津ふれあいセンター

- 西志津ふれあいセンター
- 志津図書館
- ルームさくら志津教室
- 西志津市民サービスセンター

西志津多目的広場

地域にとって大事なこと

図書館から始まるまち（志津）への愛着

コンセプト

コミュニティ活動の応援

ボランティアや
コミュニティ活動を
活発にできる
場の提供 が欲しい

win-win

夜間利用で多世代交流

施設の利用時間延長
⇒ 人々の
出会う機会
が増える

ランドマークになる図書館を通じて思い出が増えていく

解決の具体アイディア

「志津に愛着を持つ会」設立

- ・ 行政と市民混合
- ・ 小さくはじめる

≫ 企画段階で関係する人たち
（行政課・団体等）が
同じ熱量・レベルで話し合う

志津図書館の用途拡大・イベント開催

- ・ 施設の利用時間延長
- ・ 地下駐車場も活用
- ・ サービスセンターは廃止
- ・ 月1回イベント開催
 - ① 夜のカフェバー
 - ② アートイベント
 - ③ ローラースケート
 - ④ お化け屋敷
 - ⑤ 夜のライブ
 - ⑥ ファッションショー

財政的目線

- win-win (行政 利用料を徴収
市民 販売可能)
- ・ 西部保健センターの機能を
図書館や小学校に移転
⇒ 削減した費用で
バス運行充実・イベント開催
 - ・ 指定管理者制度活用も検討

(3) 白井・千代田地区

やすらぎとつながりを育む みんなの場所

白井・千代田地区 1班

- きたお
 - やまもと
 - いう
 - まつばら
- 千葉大学ファシリテーター
◆ えのもと、おおしま



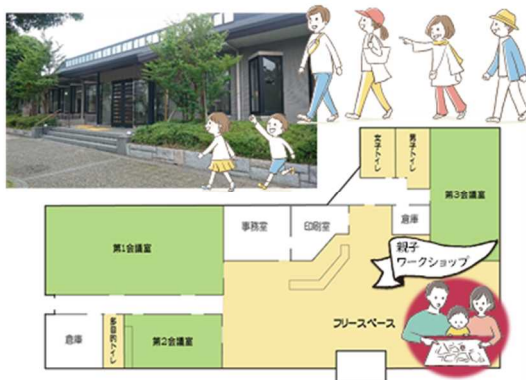
自分にとって大事な行動と場所

買い物 近くの七森戸公園で散歩もできる ヤオコー	音楽・絵画鑑賞、読書 音楽・展示イベント、図書館、趣味のサークル活動など、色々な楽しみ方ができる 白井公民館、市民音楽ホール（佐倉ハーモニーホール）	買い物・くつろぎ 駅から近く、色々揃っていて便利。ついでに3階の公民館に立ち寄ることも レイクピアうすい
仕事 職場の子どもたちがたくさん利用 老幼の館	染井野 フォーマーズマーケット 七森戸公園	商業施設にあることで 地元外・市外の人にも利用、多く利用されている。 地域包括支援センター

地域の課題

施設が利用されていない 利用者が少ないので、もっと様々な用途で利用してほしい 千代田・染井野ふれあいセンター	利用しにくい雰囲気 暗い、汚い、狭いなどの雰囲気だけで利用を躊躇してしまう 白井公民館図書室	子どもが思いきり遊べる場所（施設）が少ない 子どもが思いきり遊べる場所（施設）が少ない 市内全域
施設が利用されていない クルマがないと行けない 利用者が少ない 老人憩の家 千代田荘	「施設名」が時代に合っていない 「老人憩の家」など、名前だけで利用に抵抗がある人も 市内全域	施設の存在が知られていない 似たような施設があっても、相互の案内・紹介がないので、利用が偏っている 市内全域

千代田・染井野 ふれあいセンター



優先的に解決したい課題

- 需要はありそうなのに、市民にあまり利用されていない。
(考えられる主な要因)
- ✓ 施設の利用世代や利用用途が限定的なのは
 - ✓ 施設名称の印象から、利用をためらう人もいるのでは
 - ✓ 外から見ても、開館（営業）しているのかどうか分からず、入りにくい雰囲気なのは

コンセプト

幅広い年代が利用しやすい施設に改善する

解決の具体アイデア

【着目した施設】千代田・染井野ふれあいセンター

多世代利用、複合化・多機能化

子どもから高齢者まで全ての年代が様々な用途で親しめる、利用できる施設を目指す。名称も用途や機能の制限をイメージさせないものとする。

休憩・カフェスペース

ドリップコーヒーが飲める自販機が設置してあり、読書ができるなど大人が適度に落ち着けるスペースをつくる。

施設名の工夫

市民が利用したくなるような施設名に変更する、または愛称をつける。（お金をかけずに改善可能！）

入りやすい雰囲気づくり

『入りやすさ』はとても重要。入口にポップなカラーの幟旗をたてる、入口を明るくする、看板を明るく見やすくするなどし、入りやすい雰囲気を演出する。

平準化の工夫

「老幼の館」の利用率が高いので、千代田・染井野ふれあいセンターは児童も活用できる施設として周知し利用してもらう。

施設の広報

レイクピアみたいに人が集まるところで効果的に周知・PRする。

スペースの活用

フリースペースを使って、気軽に参加できる親子イベントを実施する。

小学生の足で行ける 地域のたまり場 をつくろう

白井・千代田地区
2班

- かねくに
 - なかじま
 - なかじま(ミ)
 - まなべ
- 千葉大学ファシリテーター
◆ ふじた



自分にとって大事な行動と場所

子どものつきそい 色んなことができる。 文化・交流の拠点 になっている。 新町地区一帯 (夢味くら館)	買い物・乳幼児の世話 生活に重要な拠点 レイクピアうすい	乳幼児の世話 いろんな用途がある リフレッシュ・園らん、 プール、スポーツ、 子育て 公園全校
家族だらん 行きたくなる。 桜がきれい。 佐倉城址公園	乳幼児の世話 子育て中によく行く 老幼の館	

地域の課題

図書館が各学区から遠い 各学区から図書館 が通ずる。 千代田地区・ 市内全域図書館	活動できる場所探しが大変 地域活動をやりたい 人的資源は多い のに場所探しが大 変で、活かせていない。 市内全域	施設が分かりにくい 施設の機能や役割が 分かりにくく利用者が 少ない。 子育て支援センター (레이크ピア)
公共交通手段が少ない 子どもや運転でき ない人は思われた 施設があってもそこ に行けない。 市内全域	魅力的な場所のアピール不足 子育て世帯の流入 を促すために必要 市内全域	相互扶助の仕組みがほしい 近所との関わりが 減って、ちょっとした 水も給水やゴミも 運搬する場が少ない。 市内全域

地域の「たまり場」マップ

たまり場候補施設

優先的に解決したい課題

- 車を使わない人や子どもにとって、公共施設へのアクセスと利便性が悪い。
- 佐倉市には人的資源(地域活動をやりたい人)はあるけど、活動できる場所がない。

コンセプト

各地域にたまり場をつくろう!

- 子どもだけでなく、地域みんなが集える拠点＝「たまり場」をつくりたい

解決の具体アイデア

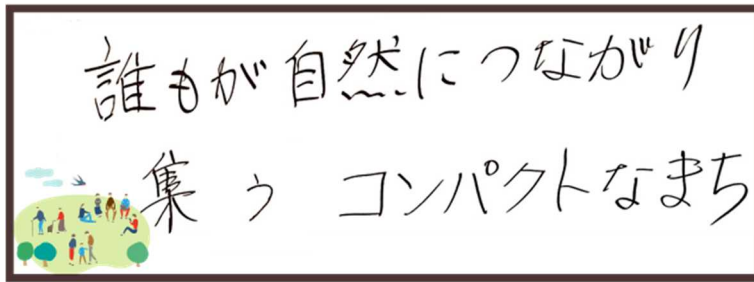
- 空白地帯になっている場所や、利用率の低い施設を活用する。
- 小学生の足で行ける範囲(小学校区)に地域のたまり場をつくる!
- 小中学校の空き教室も利用する。
- 将来的に統廃合することも視野に入れる

「たまり場」にほしい機能

野菜直売所、子ども食堂、プレイパーク、カフェ、図書室(移動図書館)、シェアサイクルステーション、乳幼児の居場所 など



(4) 佐倉地区



佐倉地区 1班

- いう
- うだがわ
- てらじま
- なりた
- やまだ

千葉大学ファシリテーター
◆ かが ◆ にしうち



自分にとって大事な行動と場所

趣味 市外から観光客を呼び込める貴重な観光スポット。お花見もできる。 国立歴史民俗博物館	話し合い、神社役員会 集会所として機能している。比較的安価にコワーキングスペースを利用できる。 中央公民館	ボランティア 佐倉市および佐倉地区のシンボル。庁舎には歴史建物としての価値がある。 佐倉市役所
社会参加、研修、町内会 京成佐倉駅の近くにあり、立地が良い。多くの人が集まる場所。 ミレニアムセンター	読書、仕事の資料収集 紙の本を読むの目星は着きやすい。子育て支援施設も入っている。 夢咲くらぶ	

地域の課題

多世代交流の場が必要 高齢化が進めば、近隣同士でのコミュニティがより重要になる。交流の場が必要。 地域全体	多目的に使える集会所が台地にない 比較的アクセスしやすい。自然の地形に合った集会所が必要。 集会所	集会所の必要性の低下 佐倉地区には多くの集会所がある。人口が減っていくなか、これほど多くの集会所が必要か。 集会所
小学校が地域に開かれていない 小さな子どもがいない。小学校は遠くにある。高齢者が気軽に訪れることができない。 小学校	公園がコミュニティの場になっていない 公園に遊び場が少なく、施設にも魅力がないため、親子や近隣のコミュニティの場になっていない。 佐倉地区の公園・遊び場	老朽化施設が多く、集約化が必要 佐倉地区には多くの老朽化施設がある。その多くが老朽化している。アクセスしやすい場所に集約してよいのでは。 佐倉地区の公共施設

優先的に解決したい課題

- ・ 多世代が交流できる場が少ない
- ・ コミュニティの拠点になるような魅力のある場所(施設や公園)が少ない(魅力のない施設、日かげのない公園など)

コンセプト

点在している老朽化した施設の集約化

- ・ 佐倉地区は昔から多くの公共施設が整備されてきたため、施設が点在し、その多くが老朽化している。
- ⇒ 誰もがアクセスしやすい場所に集約化し、課題を解決!

解決の具体アイデア

1 地域の人が利用しやすい「小学校」に、周辺の老朽化した施設の機能をまとめて、複合施設に

- ・ 小学校の多くは、周辺地域の子供が歩いて通える場所にあり、地域の人にとっても利用しやすい場所。
- ・ 少子化で今後増える空き教室を放課後や週末に地域住民に開放したり、他の公共サービス機能(例えば公民館の集会機能)を移転して複合化する。

(さらにアイデア!)

- ・ 校庭に「巨大なサンシェード」を設置して夏季でも利用しやすい、学校プールを地域に開放する など

2 「ヤングプラザ」の機能を「ミレニアムセンター」に集約し、多世代交流の拠点に

青少年が気軽に集える場



ヤングプラザ【第53年】

地域のコミュニティ拠点



ミレニアムセンター【第24年】

(さらにアイデア!)

現在の観光案内所は、駅前的好立地を生かし、成田空港拡張で今後も増加が見込まれるインバウンド向けの観光案内所として整備・充実を図る。

佐倉小学校への機能集約・複合化イメージ



3 「市民体育館」の機能を「岩名運動公園」に集約し、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点に再整備

大人から子供まで利用



市民体育館【第45年】
※令和8・9年度に全館改修を計画中

総合的なスポーツ・レクリエーション拠点



岩名運動公園【第44年】

公共施設の活用を考える際の前提

移動弱者(高齢者、障がい者等)を取り残さないまちにする!(コミュニティバスなどの移動支援サービスの充実等)





歩いていける わたしの居場所

子どもからお年寄りまで～

**佐倉地区
2班**

- もりもと
- かつい
- みやた(け)
- かねこ
- いおはら
- くにみ

千葉大学ファシリテーター
◆ まきの ◆ かしわぎ



優先的に解決したい課題

- 高齢者・子どもが気軽に世代交流ができる施設が少ない

地域の課題

世代交流ができる施設が少ない

高齢者と子供が、気軽に世代交流できる場が欲しい。

市内全般

バスの運行ルートが充実していない

山王地区等は高齢者が多いにもかかわらず、バスの運行が充実していない。

コミュニティバス全般

きっかけの不足

多世代交流をするきっかけ場所がない

市内全般

子どもの居場所が少ない

いろんな選択肢がほしい。

市内全般

公共施設に駐車場が少ない

再稼働は駐車場が狭く、車で行くこともできない。

ミレニアムセンター
ヤングプラザ

コンセプト

歩いていける身近な居場所をつくる

- 「自由さ」のある居場所
- 住んでいて楽しいまちにしたい
- 多世代交流の場ときっかけづくり、出会うきっかけづくり

解決の具体アイデア

既存施設に
付加したい機能

既存施設の特性を活かして多世代交流の場をつくり地域課題を解決する

多世代交流の場を分散させることで行きやすい場所を選択できるようにする

ミレニアムセンター佐倉

既に地域活動やサークルの拠点となっており、駅前という立地を活かしたい

子ども食堂

既存の調理室を活かす



ホールブール

停止している5階の浴場を活かしたあそび場



宿題をみてくれる場
子どもの居場所

佐倉幼稚園

自然豊かな環境にあり、施設までの道のりも安全
屋外、屋内両方の遊びが楽しめる

昔あそび交流

こま、風ぐるまなどを教える場



屋外あそび場

豊かな自然を活かした屋外あそび BBQ



宿題をみてくれる場
子どもの居場所

老幼の館

子どもと老人が集う拠点になっており、古民家のような雰囲気がある

子どもが教える場所

お年寄り向けの「スマホ使い方教室」など



食のコミュニティ

「食」を通じた交流の場



宿題をみてくれる場
子どもの居場所

佐倉東小学校

屋外空間が広く、調理室がある

屋外あそび場

広い屋外空間を活かした外遊び BBQ



屋外あそび場

豊かな自然を活かした屋外あそび BBQ



宿題をみてくれる場
子どもの居場所

学校になじまない子どもの居場所

子どもとお年寄りの相互の教え合い

コミュニティバスルートで高齢者の外出支援

何をしても自由な場所 みんなが気持ちよくいられる場所

子どもの選択肢を増やすきっかけの場所

障がいのある子どもと大人の交流

新しい施設はいらない!

今あるスペースにあそび場を!



佐倉地区
3班

- くどう
- たなか
- いのまた
- みやた
- おおすみ

千葉大学ファシリテーター
◆ やました



自分にとって大事な行動と場所

移動・通学

移動や通学に鉄道を利用することが多い。

京成佐倉駅・佐倉駅(JR)

あそび場、居場所

子ども(小・高・校)のあそび場。集まる場になっている。

ヤングプラザ

読書・学習・子育て

佐倉図書館で読書・勉強するのを利用。子育て交流センターで、子どもと過ごすことも利用している。

夢咲くらぶ

花見・花火大会

様々な花が広がる風景を見たり、写真を撮るために訪れている。佐倉花火フェスタの会場でもある。

佐倉ふるさと広場

散歩・花見

自然が多く、散歩・花見を楽しんでいる。佐倉地区でこれほど、大きい公園は他にない。

佐倉城址公園



地域の課題

施設の運用に改善の余地がある

小学生くらいの子供が遊べるスペースがない。自由に交流できるスペースも欲しい。

夢咲くらぶ

公民館などは事前に予約をする必要がある。気軽に利用できない。

新町おはやし館の利用率が低い。(多目的室も特定の人のしか使っていない。)

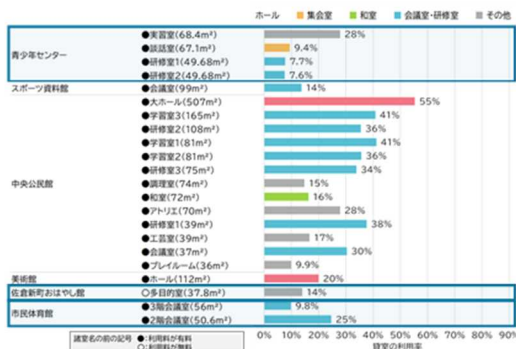
ミニシアターセンター佐倉の利用率が不十分

アクセスは良いが、どんなサービスが提供されているのかよく分からない。

ミニシアターセンター佐倉

施設の内容や存在意義が分からない。

七井戸公園・佐倉新町おはやし館・印旛合同庁舎



優先的に解決したい課題

事前に予約する必要が無い
自由なあそびスペースが欲しい

コンセプト

第二のヤングプラザ求む



解決の具体アイデア

京成佐倉駅・JR佐倉駅の
どちらからも行きやすい あそび場 を作る

第二のヤングプラザ

- 市民体育館 に ヤングプラザ の機能を作る
⇒ 3階会議室・2階会議室の利用率が低い ⇒ 使う
- 他にも、佐倉新町おはやし館 や 内郷小学校に通う子ども向けに 青少年センター を活用する

駅の有効活用

- みんなの見える所に情報を掲載
- 情報が1つにあつま (サイト/SNS/掲示板)



(5) 根郷・和田・弥富地区

まじで"ジェネレーションを超える"佐倉

MGS

へ世代を超えた共感の場へ

**根郷・和田・弥富地区
1班**

- たなか
- こやなぎ
- ながおか
- あわや
- かなざわ

千葉大学ファシリテーター
◆ いしばし ◆ こうだ
◆ エムジェイ ◆ たにくち



自分にとって大事な行動と場所

仕事

地域の集いの場として重要、交流と遊びに行っている。

南部児童センター

いろんな人が集まる場所
大学生、高校生
子どもの遊び相手のボランティア

現状はないけど、あったら良い

多世代がつどえる処

2つの施設は隣接していて、佐倉南図書館は根郷中学校の図書室も兼ねている

根郷中学校・佐倉南図書館

地域の課題

限定されたネーミング

児童センターや保健センターなど誰もが行きやすい名前になっていない

南部児童センター
南部保健センター

中高生の遊ぶ場所がない

遊ぶ場所があっても車がないと行けないので、千葉方面に出ていることが多い

市内全域

年齢の方の来客目的がない

交流したくても空間やアクティビティがない

南部保健センター

どんな施設があるか分からない

市内の公共施設についての周知が不足している

市内全域

優先的に解決したい課題

- 根郷地区には多世代が交流できる場所、気軽に行ける場所がない。
- 南部保健福祉センターは限定されたネーミング(「児童センター」や「福祉センター」)で誰もが行きやすい施設になっていない。

ex)「児童センター」で中学生も遊んでいる。

コンセプト

みんなが行きたくなる場所

うきうき・わくわくしよう!

世代を超えた 共感の場



将来的な多世代交流の場

根郷中学校

多世代交流の拠点

南部保健福祉センターB棟

佐倉南図書館

児童センター

解決の具体アイデア

■ 世代を超えたお茶会

■ 歴史を語る場

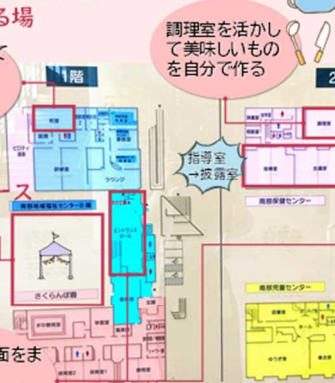
和室を活かして多世代が交流マンガを寝転がって読む

■ イベントスペース

中庭の活用

■ マンガ棚

1・2階ホール壁面をまんが棚に!
マンガがあれば子どもたちが自然と集まる



南部保健福祉センターB棟に付加したい機能

■ グルメな場

調理室を活かして美味しいものを自分で作る

■ 披露する場

「出前講座」などで自分の得意を披露

■ ものづくり場

個人が実施する手作り体験、ワークショップ

■ Wi-fi作業場

多目的作業場
子どもの居場所
大人のリモートワーク

2 小学校や中学校を拠点にすれば多世代が集まりやすいので根郷中学校・佐倉南図書館に他の機能を付加し、将来的に多世代交流の拠点にする。

5-3 ポスターセッション結果および講評・挨拶

(1) ポスターセッションの投票結果

ポスターセッションでは、各参加者に 3 つのシールが配布され、ポスターに対する投票が行われました。その結果、獲得したシール数が多かった上位 3 つのポスターは以下のとおりです。

順位	班名	ポスタータイトル	獲得シール数
1 位	志津南部地区 3 班	図書館から始まるまち(志津)への愛着	42 枚
2 位	佐倉地区 3 班	新しい施設はいらない! 今あるスペースにあそび場を!	32 枚
3 位	志津南部地区 1 班	元気で楽しく♡	27 枚

(2) 講評・挨拶

千葉大学 柳澤先生

- 健康増進の拠点を作るというのは重要な考え方である。町全体で健康を維持するために、外に出たくなるようなまちづくりをすることが重要。
- 従来の図書館は、静かに本を読む場所というイメージがあり、コミュニケーションが活発化しづらい環境にある。そのため、図書館を多様な目的で利用でき、様々な活動の場とするアイディアは重要であり、実現性も高いと考えている。
- 若年層の居場所を作ることも重要なテーマとなる。若年層の声を聴きながら、ヤングプラザのような施設を地域内に増やしていくことも重要。
- 他にも良いアイディアが多くあったため、上位 3 つに限らず佐倉のまちづくりに積極的に活用していただければと思う。

千葉大学 湯浅先生

- 提案が近いグループもあったことで、参加者の中で共感し合う様子が多くみられた。
- 従来の公共施設は、施設の用途や利用者が限定的であったが、図書館という用途を残しつつその他の使用方法を提案したアイディアなど、市民の意識から変わってきたことが印象的であった。
- 民間の施設内の空きスペースに着目して、そこを地域の空間としてどう使うかという着眼点が多くの人に受け入れられていたと思う。
- 大掛かりな再編をせずとも、施設の運用面で改善できる部分が多くある。どんな形で公共施設の使い方、使われ方に関していけるか、市民の方々と一緒に考えていけたらと思う。

佐倉市長

- 新たな気づきを得たアイディアもあった。何か実現しなければならないと認識している。
- 参加者の皆さんの共通認識として、既存の施設を有効に活用し、多様な世代の人々が集まることが重要視されていると考えている。
- 佐倉市には空き家が多いため、それらのスペースを活用することも重要である。

6. 参考資料: アンケート結果

各ワークショップ後に、参加者に対してアンケートを実施しました。以下にその集計結果の一部を示します。

6-1 第1回ワークショップ(全体回)

設問: ワークショップの参加理由をお答えください。(複数回答可)

- 全体の約 70%が、「1 興味深い内容だったから」と回答しています。
- その他、「2 ワークショップをやってみたかったから」、「3 市に参加をお願いされたから」、「4 他の住民と意見交換したかったから」、「5 その他」と約 12~20%の参加者が回答しています。

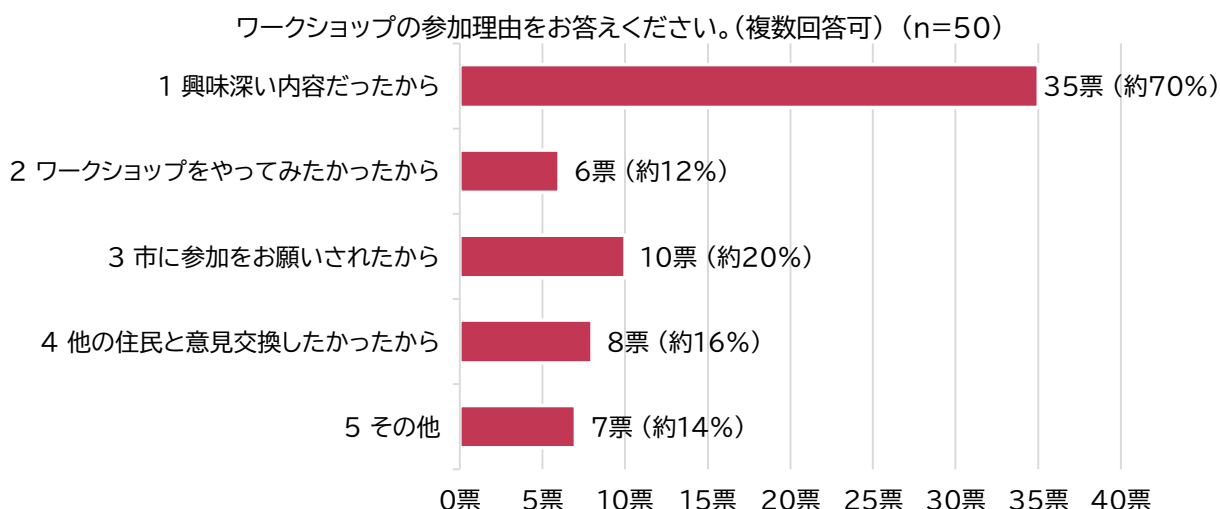


図 6.1 ワークショップへの参加理由

設問: 本日の話を聞いて、公共施設マネジメントが必要だと感じましたか。

- 全体の約 76%が「1 とても必要だと感じた」と回答し、約 20%が「2 必要だと感じた」と回答しました。
- 未回答だった 2 名を除く全ての回答者が、公共施設マネジメントが必要と感じたと回答しています。

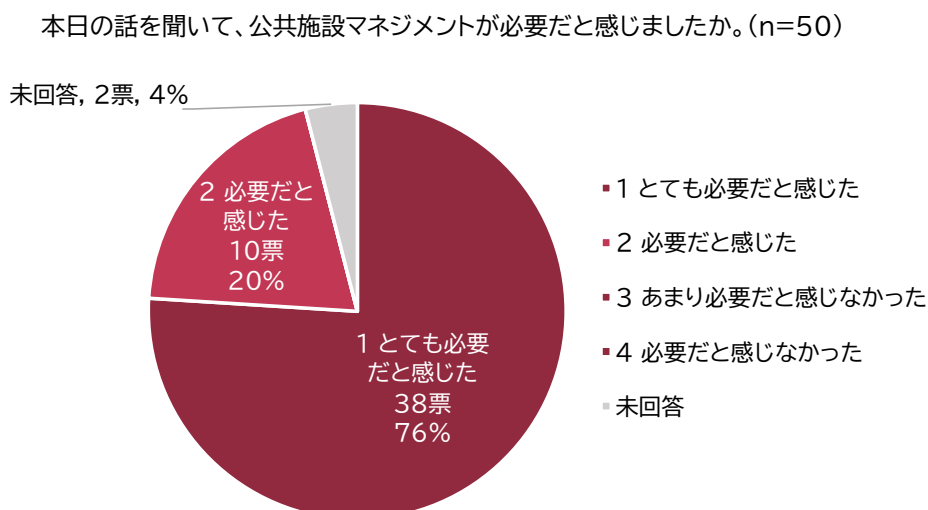


図 6.2 公共施設マネジメントの必要性

設問:本日のワークショップの感想をお書きください。

ワークショップの感想については、以下のような回答がありました。(一部抜粋)

表 6.1 第1回ワークショップの感想

感想	年代
・ とてもよかった。現実がやばいことが実感でき、このようなワークショップは必要だと思いました。	10代
・ おおむねスムーズに進んでおり楽しむことができた。	20代
・ いろんな人の意見が聞けて楽しかったです。このゲーム、異世代間でやったらどうなるのか気になります。お茶とお菓子は不要だと思います。 ・ 今回の取組は佐倉市が進化した部分の一つと思いました。 ・ とても勉強になりました。 ・ 初めて参加しましたが、とても楽しくて良かったです。ゲーム形式のワークショップで理解が深まりました。	30代
・ 市民の意見をきいてまちづくりをしてくれる市の姿勢がとてもありがたいです。 ・ 参加するまでは他人事であったが、まちづくりについて自分事としてとらえることができた。市民として考えていきたいと思う。準備運営等ありがとうございました。 ・ 今回参加するかどうかを直前まで悩みました。それは市からの案内メールがあまりにも上から目線で高圧的であったため、自分たちの意見を伝えても市には届かないと思ったからです。もう少し文章や姿勢は考えられたほうが良いと思います。 ・ 他地域の方々とお話でき、楽しく学べました。佐倉市を知る機会は大事だと思いました。 ・ 街にきょうみを持つ人と対話することができた。また開催してほしい…。 ・ 自分の住んでいるまちについて、あまり深く考えたことが無かったが、考える良い機会となった ・ 次回以降が楽しみです。 ・ 参加申込にオンライン(エントリーフォーム)があればよかったと思いました。	40代
・ 身近な大問題の解決策をより多くの人と自分のこととして考えるきっかけとなると思った。 ・ 他の方の考えも参考になった。 ・ いろいろな人の考えがきけてよかったし、自らの見聞が広がり視野が広がった。 ・ 良い機会をいただきました。ありがとうございました。 ・ 良い体験が出来た。 ・ 様々な観点から意見が聴けて有意義だった。	50代
・ 市民参加型は市民が“自分の意見を反映させてもらえるかもしれない”1つの手段として、有効だと思いました。市民と行政は対立したり、上下関係ではなく、「共に」手を繋いで進んでいくものです。その1つとして、これからも多方面でやっていただきたい。以前は、一部の声を聞いて、『はい終わり！市民の声を聞きましたよ』的なところがほとんどでしたが、ワークショップ型は、共にあることが実感出来ます。 これから、具体的な方法についての意見がまとめられて行くと思いますが、それらは具体的で、行政も、市民もすぐに取り組めるまとめとなればなあと思います。 担当の方々、本日はお疲れ様でした。 ・ 少しでもまちづくりに参加できればと思った。 ・ 市の事を考えるよい機会になりました。市民の声をきこうとする市の姿勢に好感がもてた。 ・ 他地域の人と意見交換ができたのは良かった。	60代
・ 市が考えている市の全体像が全くわからない。 ・ これからが楽しみです。 ・ 市に頼るばかりでなく自分でも考える事が重要だと良く分かった。 ・ 色々な方々とお話できて、視野が広がった気がします。 ・ 大変勉強になりました。 ・ いろいろ勉強になりました。	70代
・ 現実をよく知り得た。 ・ 佐倉市の人口動向、財政状況が良く理解出来た。	80代～

6-2 第2回ワークショップ(地域回)

設問:ワーク前半で「私の普段の行動」は十分に書きだせましたか。

- 全体の約 18%が「十分に出来た」と回答し、約 59%が「出来た」と回答しており、合わせて約 77%の参加者が「私の普段の行動」を書き出せたと答えています。

ワーク前半で「私の普段の行動」は十分に書きだせましたか？(n=49)

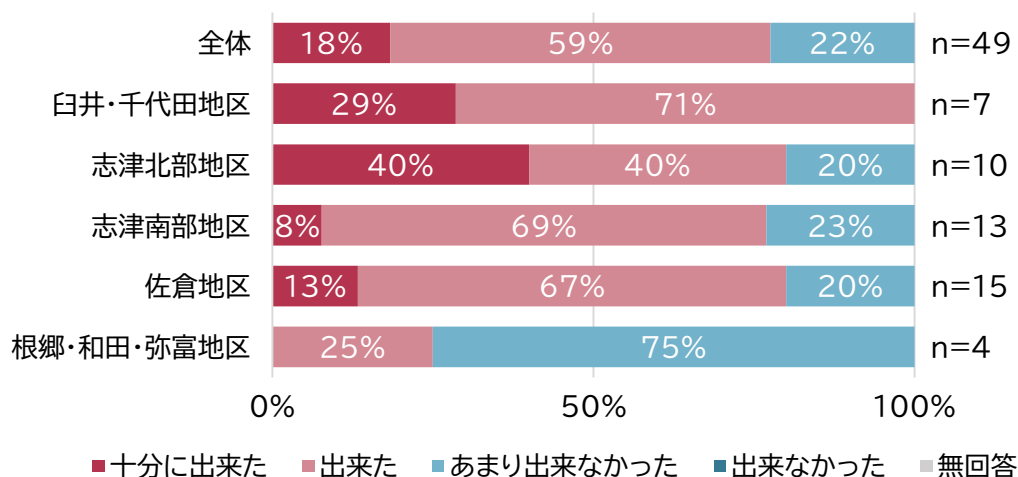


図 6.3 ワーク前半で「私の普段の行動」を十分に書き出せたか

設問:ワーク後半で「地域の課題」は十分に書きだせましたか。

- 全体の約 14%が「十分に出来た」と回答し、約 55%が「出来た」と回答しており、合わせて約 69%の参加者が「地域の課題」を書き出せたと答えています。

ワーク後半で「地域の課題」は十分に書きだせましたか？(n=49)

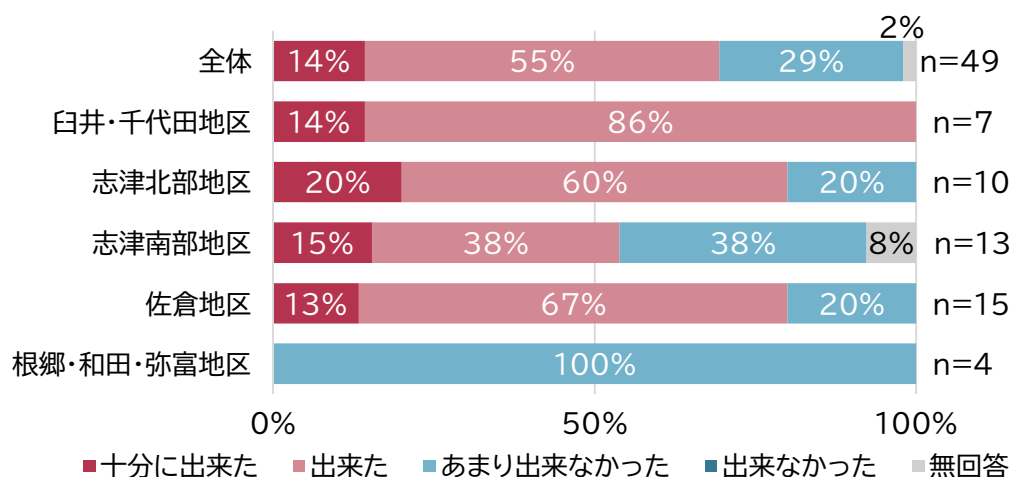


図 6.4 ワーク後半で「地域の課題」を十分に書き出せたか

設問:本日のワークショップの感想を教えてください。

ワークショップの感想については、以下のような回答がありました。(一部抜粋)

表 6.2 第2回ワークショップの感想

感想	年代
・ 勉強になった。 ・ 改めて見ると私の学生友達は日中佐倉からでていて、あまり佐倉を活用していませんでした。あと、いろいろな施設やイベントが知らなかったってことも多かった。 ・ 今回は既にある施設の改善点を出していくという形を取っていたが、個人的な感想として、そもそもこの施設欲しいな...という意見があった。学生視点、カラオケやボウリングなどの遊べる施設が欲しいかもしれない。そうやって子供の時の思い出を佐倉で作ればふるさとの意識も芽ばえるかもしれないと思った。 ・ もっと積極的に自分のまちを調べるべきだと思った。課題についてはみんなが意識して考えることが大切だとわかった。	10代
・ 住民どうしで地域のイメージを共有でき、新鮮だった。同種施設への理解がまだ不十分であったと気付いた。 ・ 公共施設だけでなく、民間のイオンタウンなどの活用にも可能性を感じた。 ・ 志津地区周辺について感じている課題について、グループで共有でき色々な発見があった。目的があまり知られていない施設があったり、施設があっても利便性(立地等)に課題があったりして、施設の機能を活かしきれていない所もあると感じた。また、機能を活かしたり発展させたりするために発信も必要であると感じた。 ・ 普段、自分が利用している施設とそうでない施設について考えその理由と課題を考える良い機会でした。楽しく参加できました。 ・ 同じ世代の方々と意見交換をすることができ、とても貴重な機会でした。日頃の自分の行動や地域に対して感じていることを明確にすることができました。	20代
・ 具体的な課題、どう解決できるか話し合う中で色々な視点を知ることができて良かった。年代やおかれている状況、車の有無などでも視点が違う。 ・ 充実した内容でおもしろかった。もっと多くの方とワークショップや意見交換できたら楽しい。 ・ ワークショップでの交流で普段利用したことのない場所(施設)を知ることができて良かった。 ・ 多世代交流の場が必要という意見は高齢者、子育て世代共通ということがわかった。 ・ 問3、問4、時間が足りなかった！普段の生活スタイルがちがう人の意見がきけてよかった！ ・ 各世代での行動範囲がわかった。若い世代でも趣味を佐倉で過ごしていることがわかった。何をやっているか外からわからないとやはり使用したいと思わない。情報のアクセスは重要だと思った。	30代
・ 自分自身が地域のことにについて普段あまり考えていなかったことに気がついた。あらためて地域について考えるきっかけとなったので、次回も積極的に参加していきたい。 ・ 自分の普段の行動、視点を考える良い機会になった。他の方の意見を聞き、今後、他の施設にも足を運んでみるきっかけになりそう。 ・ 地域の施設の話でないといけなのかなと思っていましたが、どんなことでも出していくということで、常々思っているコミュニティ活動の支援についても話すことができて良かったです。 ・ 色々な方の視点や意見を見聞きできたことがとても良かった。皆が考える課題が明確になったのも良かったです。 ・ 自分にとっての必要な場所、欲しい場所を改めて認識することができた。人が集まる場所が生活の活力につながっていると思った。	40代

感想	年代
・ 佐倉市の公共施設をそもそもあまり利用していない事に気づきました。そもそもどのカテゴリに対して公共施設が必要なのか、自分でもよく考えてみるのも良いかと感じました。 ・ 自分の行動をふり返り、課題を考えられたとても良い機会でした。施設だけでなく全体的なこと(交通の便や情報発信の仕方)での課題も多く、市全体、市民全体で自分事として考えていく必要をますます感じた。 ・ 子育て世代、仕事・学生世代、リタイア世代と行動範囲や課題もそれぞれあり、どのような市にしたいのかを明確化する必要もあるようにと思った。	40代
・ 話し合いの中で少しずつ課題が明確になっていったと思います。ありがとうございました。 ・ いろいろな世代の方の話を聞けるのが良かった。時間が足りないかんじがあります。 ・ いろいろ奥が深いな—と思いました。 ・ 学童保育が足りない地域があること、公園でボール遊びができない所が多いことを知ることができました。 ・ 自分の地域のことを考えることができ、他の方の考えも聞くことが出来て、有意義でした。ありがとうございました。 ・ 情報は届かない人に入ってくるようなしくみとは？関心のない人が、理不尽な思いをしないようなくらしづくりを考えたい。 ・ 活動の多くが市外となるため、本当に必要なのかを考えるキッカケになった。施設のあり方(存続)も含めて考えて行いたい。 ・ 説明がとても分かりやすかった。「普段の行動」など考える時間がもう少しあるとよかった。 ・ 佐倉市在住ではないのであまり発散が出来ず申し訳ありません。参加者が少なく寂しかったです。	50代
・ 多様な方々の関心がよくわかりました。 ・ 普段の行動を付箋に書き出す作業で、地域との関わりを認識することができた。 ・ 公共施設には駐車場のない不便なところがあることも分った。学校の空教室の活用で包括支援センターなど重要なものを集めての活用など、市としても考えられることはたくさんありそうですね。 ・ 班のメンバーが話し合いできる時間をもう少し取るべきだと思います。 ・ 年代別に違った課題がみえているところ参考になった。地域の課題が少しずつ見えてきたように思います。地域のことをみんなで考える機会をもてたこと、とても貴重な体験と思えました。	60代
・ 色々な意見を聞けてとても良かった。 ・ 行動分析がおもしろかった。課題が見えてきました。ありがとうございました。 ・ 行政の15年後、30年後の佐倉市をどうしたいのか、という構想の話が何もなくて良いのかという疑問が残っています。 ・ 子育て世代、学生さん等、若い人の視点が大変参考になりました。 ・ ワーン、中々…問題が多い… ・ 各自もっと具体的な提案を出せる方法を工夫してください(事前に考えさせておくこと)	70代
・ 他のメンバーの考え方、発想など、参考になることが多くあった。 ・ 各々の考察時間が一寸短かった！	80代～
・ 皆で意見を出し合い、問題のポイントとその対策の方向性が見えてきた気がします。若い世代、子育て世代の意見をきけてとてもよかった。→これこそ、世代間交流かな。	不明

6-3 第3回ワークショップ(地域回)

設問: ワーク前半で、公共施設を活用して大切なことを実現する、または課題を解決するためのアイデアを十分に出すことができましたか？

- 全体の約 33%が「十分に出来た」と回答し、約 53%が「出来た」と回答しており、合わせて約 86%の参加者が課題やアイデアを十分に検討できたと答えています。
- 全体のうち約 4%が「あまり出来なかった」と回答しており、「出来なかった」と回答した参加者はいませんでした。

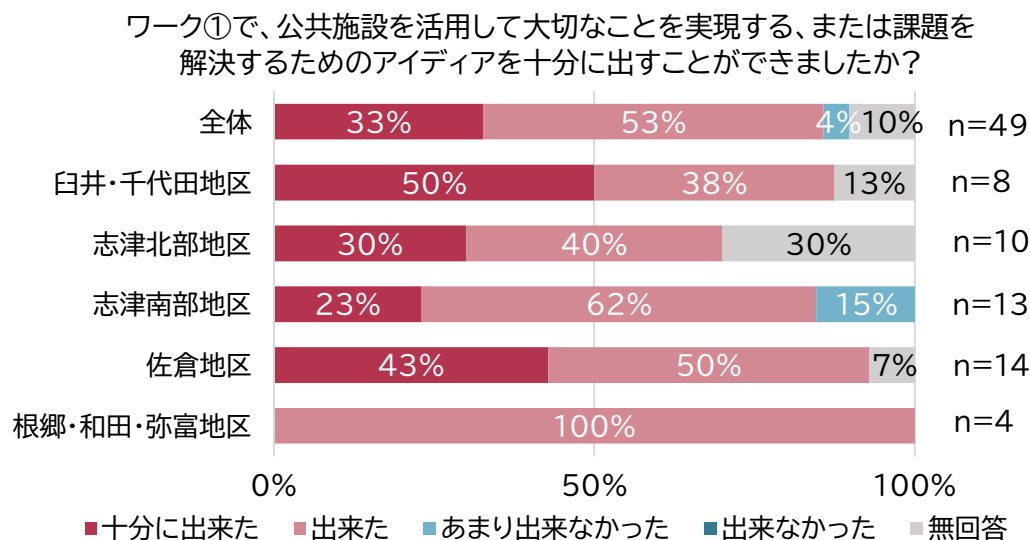


図 6.5 ワーク前半で課題やアイデアを十分に検討できたか

設問: ワーク後半で十分にポスターに落とし込みましたか？

- 全体の約 33%が「十分に出来た」と回答し、約 53%が「出来た」と回答しており、合わせて約 86%の参加者が課題やアイデアを十分に検討できたと答えています。
- 全体のうち約 4%が「あまり出来なかった」と回答しており、「出来なかった」と回答した参加者はいませんでした。

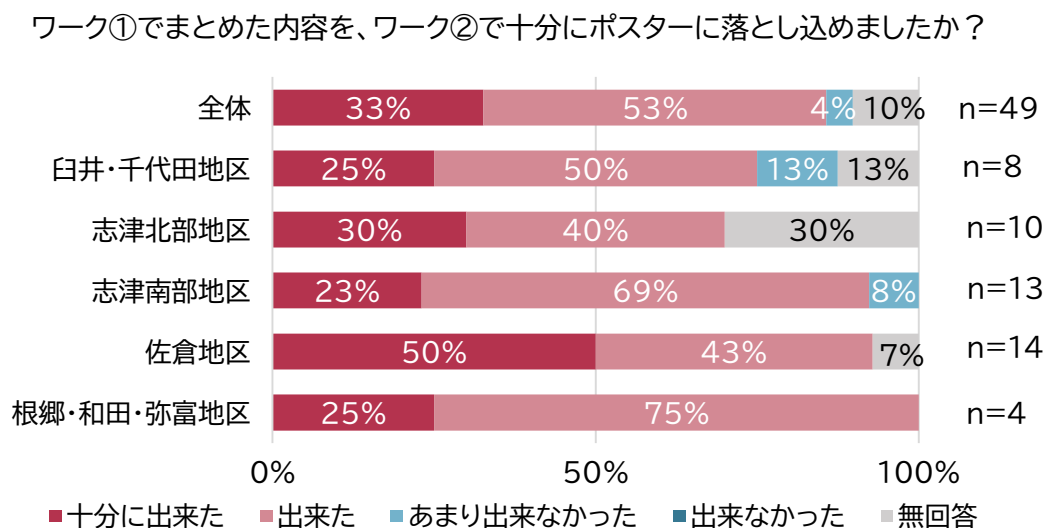


図 6.6 ワーク後半で十分にポスターに落とし込めたか

設問:本日のワークショップの感想を教えてください。

ワークショップの感想については、以下のような回答がありました。(一部抜粋)

表 6.3 第3回ワークショップの感想

感想	年代
・ ポスターにまとめたことで、自分たちのまちについて再認識できました！本当に楽しかったです！ ・ 施設は多いがほとんど知らないというケースが多かった。情報の発信が大切だと考えた。 ・ やはり、若者は情報を使う世代なので、情報をもっと回るといいなという考えになった。そもそも施設を使えてない世代なので、もっとたくさんの人が使えるような事が出来たらいいなと思いました。 ・ いろんな世代や立場の人の考えが聞けてとても勉強になった。もし実現したら、友達と楽しみたいと思った。	10代
・ ”地域で大切にしたいことを軸に、公共施設の活用方法を財政面や他の施設との機能の調整等も含めて、グループで具体的な内容まで掘り下げて議論をすることができて良かった。 ・ グループワークを行う中で、公共施設の存在を十分生かすために、市民・行政・民間団体等の異なる立場同士での対話や、財源の確保方法等、多角的なアプローチで議論する必要性やその難しさに気づいた。” ・ 上手く意見をまとめることができず、ポスター作成までに時間がかかってしまいましたが、最終的にはまとめることができて良かったです。 ・ 地元地域にある公共施設をどのように活用できるか、自分たちの世代にとって必要な施設とはどのようなものかを考え、意見に出すことで地域の課題も見えてきた。またポスターにまとめたことで、具体的な課題解決策を提案できた。	20代
・ 何が大事かということを考えていくと多面的に見ていくことは難しく感じた。 ・ スピード感あって良かったです。 ・ 課題をまとめるのが難しかったです。どうしてもソフト面のアラが気になってしまい、最後急いでまとめるになってしまいました。	30代
・ 地域に対して、同じことを考えている方がいて心強かったです。 ・ ポスターにまとめることで具体的なものが形になった。わかりやすくなった。 ・ 施設の利用価値を考える良い機会になりました。 ・ 図書館から始まる様々な可能性を考える事ができて良かった。 ・ 図書館一択で考えるのが楽しかったです。知らないことも知れて刺激的でした。 ・ 職員の方、学生さんに助けてもらい、まとめることができました。ありがとうございました。若者の班の発表、さすがだと思いました。歴史のある佐倉地区という特性もワークの中で加味できたら良かったと思いました。 ・ たくさんの意見が出てなかなかまとまらなかったのですが、最後は思いを形にすることができて良かったです。 ・ 発表が少し間延びしてしまって上手くまとまらなかったなので努力します。	40代

感想	年代
・ みなさんの思いが形になったと思います。 ・ 具体的にいろいろ話せて楽しかった。 ・ 図書館にフォーカスしてアイデアを出す作業が新鮮でした。具体的にどうすれば良いかを考えるのが楽しかったです。 ・ 様々な問題がある中で、割と意見の集約ができ、まとまってよかった。 ・ 多世代で交流すると良い事がおこるとどのグループにもでて良かった。自分が使わなくとも大事な施設があるので若者がやる気のである(希望のもてる)市になると良いですね。 ・ 正に多世代で話をする事が出来る場として良かったのではないかと考えております。	50代
・ 地域の一体感、横の連携がなく、孤立化が懸念されている課題があると感じていましたが、ネット上で地元につながるアイデアが出て有意義だと思った。 ・ 地域の住民の個々のニーズとマッチングを増す、その場として公共施設を活用する発想が出て良かった。 ・ 最初はまとまりがなく課題も見えてこなかったがいろいろ話しあううちにみんなの納得できる内容に出来てよかった。 ・ 充実した1日でした。全体的にもう少し議論のできる時間があればと思います。 ・ 他の班のポスターを見ることで、自分には考えられない意見をきくことができ、目からウロコ… 多くの方の意見をきくことは、自分の固まった考えを打ちくだいてくれる。他の人と混わるのは良いですね。 ・ 世代を超えて意見交換ができる場を体験できる貴重な場でした。ありがとうございます。	60代
・ 今回自由に意見交換ができたのでよかった ・ 普段考えてなかった事を色々考えることが出来て、とても有効でした。 ・ 班内のメンバーでも、いろいろな考えがあり、もっと時間をかけて話をする必要があるのではないかな ・ 議論を通して、ある程度具体的なコンセプトまでたどりつけたのは意味のあるワークショップであったと考える ・ とりあえず形になって良かった。 ・ メンバーの数がもう少し多くても良いのではと思いました。	70代
・ 各自時間がもう少しずつ欲しかった！(制約はもっとも) ・ 各人の意見集約がなかなか難しい。 ・ 公共施設の有効活用を痛感した。	80代～

6-4 第4回ワークショップ(全体回)

設問:第4回ワークショップ(本日)の満足度を教えてください。

- 約 7 割の参加者が、「非常に満足」または「満足」と回答しています。
- アンケートに回答した参加者の中で、「不満」または「非常に不満」と回答した参加者はいませんでした。

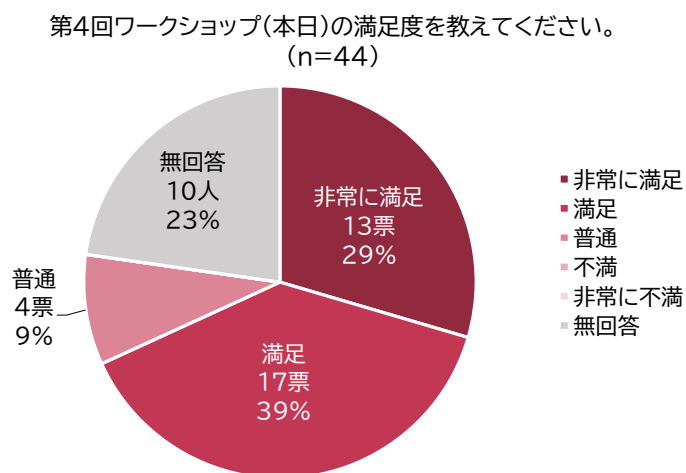


図 6.7 第4回ワークショップの満足度

設問：一番良いと感じたアイデアと良いと思った理由について教えて下さい。(一部抜粋)

表 6.4 一番良いと感じたアイデアとその理由

カテゴリ	一番良いと感じたアイデア	そのアイデアが良いと思った理由
拠点施設を中心とした活性化	学校が拠点となっていくこと	やはり学校が拠点となっていくことが重要だと思う。
市民の居場所	図書館の活用を考えたグループ	中高生の居場所が必要と感じているから。
	どの班も全ての世代が、お互いに情報等をやりとりできる場を考えていたこと	皆が集まりやすい場所(図書館)を更に集まれる場所にしたところ
	「公共施設を自分たちの遊び、憩いの場として活用しようとする」と「もう新しい施設はいらない！」	公共施設＝上から与えられた場という固定観念を破り、市民＝ユーザーが主体的に意味づけをしていこうという若者たちの気概が嬉しかったし、本来公共施設はそうあるべきと思うから。
多世代・地域交流	多世代が集い共感する場の創出	既存の施設の持つ、機能を付加して創造的なアイデア(マンガが読めるなど)が生まれていたため。
	志津に愛着をもつ会の発足	まずは、地域の住民がつながり、問題意識をもつことが重要な点だと思うから。
	図書館から始めるまち作り	図書館は静かに！ではなく、多世代みんなの楽しさを作っていくところ。
官民連携	作成したものをお互いに見合えるところ。	官民が融合した施策は、今後の佐倉市の発展に欠かせないと感じたから。
	官民連携での機能集約	トレンドにあっているから。
商業施設の活用	元気に楽しく(健康増進)	高齢者の健康寿命を伸ばすことと、街の活性化の為駅前商業施設を利用することで、コストの削減にもつながり実現可能なアイデアと感じました。
既存施設の有効活用	図書館、小学校の活用	すぐ出来る点
	建物を新しく作らない	建物を作る手間がなくなってお金の節約になるから。
	ヤンプラ 2 号/巨大サンシェード	考えている若者の素の気持ち「なんかわかんないけど…」っていうフレーズがひびく
	「図書館を活発に！」と、「もう新しい施設はいらない！」	実現可能性が高くてメリットがハッキリしているため。
	もう新しい施設はいらない！若者の居場所を	若者の視点、客観的な分析があるのもよかった。子育てをしている私にとっても、これから子どもが街で安心して育っていくために必要だと思ったから。
施設運用の工夫	千代田・染井野ふれあいセンターを利用しやすくするアイデア	名称の変更や外観の整備など小さな工夫で既存の施設を活かせる、利用者目線を丁寧に考えている。
	志津図書館の活用方法	どのように活用したいか、どうしたら実現できるのかが示されていた。志津図書館を活かす、その一点を掘り下げたのがすごい。

カテゴリ	一番良いと感じたアイデア	そのアイデアが良いと思った理由
施設運用の工夫	図書館から始めるまち作り	施設の時間延長などのアイデアが素晴らしい。
	西志津ふれあいセンター・夜のカフェバー	夜に図書館を利用しながら、飲めたら楽しそう、色々な方と交流できそう。
	図書館の有効活用	夜の図書館は何だかワクワクする気がします。ぜひ、イベントに行ってみたいです。
	志津図書館でイベントを行うアイデア	イギリスの大英博物館で、似た取り組みがあり、見学して楽しかったため。
	図書館から始まるまちへの愛着	1つの施設を中心にまちを明るくしたい、という考えが良かった。 図書館と言う公共施設に絞って考えているから。 実現可能性が高い。 既存施設の利活用をいろいろ考えていた所
	西志津ふれあいセンターの活用	発表では図書館の活用となっていたが、センターのさらなる活用を考えていく必要がある。
	図書館を夜間まで開けてみんなのランドマークにというアイデアはすぐにでも実現可能なアイデアだと感じます。	すぐにでも実現可能なワクワクするアイデアだと感じた。 例えば、金曜日と土曜日だけ夜まで開けるとか毎日ではなくても試行的に行ってみて、状況を見ているのは良いのではないのでしょうか？先日の夢咲くら館の夕涼み会もとても素敵なイベントでした。あの空間と夏の夕暮れを思い思いに皆さんが楽しんでいました。 あの様な形でまずはイベントと共に開催し、夜も開けるよという事を周知し根付かせて反応を見ているのは面白いと思います。

設問:本日のワークショップの感想を教えてください。

第 4 回ワークショップの感想については、以下のような回答がありました。(一部抜粋)

表 6.5 第 4 回ワークショップの感想

感想	年代
・ 他の人との交流を深められた。 ・ 佐倉や自分のまちのことについていつもとは違った視点で考えられてよい機会だった。 ・ 佐倉のことについて考えるきっかけになった ・ とても楽しくて有意義だった。普段話す機会のない年齢層の方と話せてよかった	10 代
・ 非常に良い経験、良い勉強になりました。 ・ 駅周辺の活用が鍵になると思った	20 代
・ 多くの市民が参加したワークショップです。この先公共施設の適正な配置に関する案を考える際はぜひ市民の考えを取り入れて下さい。ワークショップはとても楽しかったです。 ・ 公共施設の活かし方を一生懸命市民で考えてとても良い場だった。これを都合の良いように切り取ったりしないで、まっすぐ活かしてほしい。 ・ 普段自分の意見を、市政に示す機会がなかったので、ワークショップを通じてできてよかった。 ・ 私たちの住んでいる町について具体的に話し合い考えていく機会をいただく事で、私自身佐倉市民であるという気持ちをより強く感じる事ができました。共に作って行こうという開かれたまちづくりのワークショップという場を提供し、御尽力下さった千葉大学の先生方や学生さん、市役所、関係者の皆様に感謝致します。ありがとうございました。これからの佐倉に益々期待しておりますし、私も一市民として出来ることを探していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。	30 代
・ 良い機会をいただき感謝しております。ありがとうございました。 ・ 佐倉市を知る良い機会になりました。 ・ 地域の事を考える良い機会になりました。 ・ ここに参加するまでにはなかった、公共施設のあり方について、考えるきっかけとなった。参加できて良かった。 ・ 子育て世代に魅力的な街は人が増える街。人が増えないと、街は衰退していくから。最初から最後まで少子化を理由にしないで、少子化をいかに緩やかにするか、どうしたら食い止められるか、その視点でまちづくりをする必要があると思った。皆さんのアイデアからは予算をかけなくても出来ることは沢山ありそうだった。市民のアイデアを形にしてください！ ・ 多くの方が多世代交流、居場所、集う場所をもとめていた。 ・ 佐倉、臼井、ユーカリ、根郷弥富和田、広くて性格の異なる地域をもつ佐倉市。どの場所にも課題があり、どの場所にも安心して暮らしたい人がいる。 ・ 予算がかざられているなかで、どのように税金を分配するかが問われていると思った。どうやったら街の将来のためにプラスになる使い方になるかよく考える必要がある。 ・ 街の将来を見据えて子どもも高齢者も安心して暮らすために、多世代の集える複合施設が佐倉市で各地域に分散されることを期待します。	40 代
・ 意識のある方々と真剣にまちについて語り合い考えられて良かった。ますます佐倉が好きになりました。 ・ 地域の方々と今後のあり方を話し合う事ができ、充実した時間を過ごせた。 ・ まちづくりに市民として関わっていく楽しさを感じることができました ・ 今回の WS でよく出てきたワードの一つが「繋がり」でしたが、まさにこの WS で人と繋がれたと思います。志津をもっと良い町にしたいと思う気持ちが強くなりました。 ・ 大変勉強になりました。	50 代

感想	年代
・ いろいろな世代と交流できた。ヤングプラザが若い世代には必要な場所であることを初めて知りました。こういう機会がないと、知り得ませんでした。 ・ 交流が深まった！ ・ よいまちづくりは、ひとりひとりの意識や知恵で作られる。とくに若いパワーと柔軟な発想に目を細めた。市民のひとりとして微力ながら協力やサポートをしていきたい。 ・ 世代を超えて一つのテーマについて話し合える場に参加できたのはとても勉強になりました。問題意識を持ち、生活する大切さを実感しています。地域性もあるかと思いますが、せっかくの機会なので、全ての地域の方の意見も聞きたかったです。 ・ もう少しグループの方達とじっくり話し合う時間が欲しかった。集まった方達はみな熱心で佐倉愛があり、これらの人財をうまく街の活性化に活かしていただきたいと思いました。	60代
・ 日頃あまり考えてなかった事を色々考える機会になりました。 ・ 今後も続けて欲しい。 ・ アイディア次第で佐倉市を活性化できることを学んだ。今回の参加によって、自分自身が元気になっていると感じた。良い体験でした。ありがとうございました。 ・ これまでお隣さんとの立ち話しの域を出なかった話題をより広い場、人々と議論できたことは大きな収穫でした。私としては中学生、高校生の考えを聞いたことが一番嬉しかったです。今回は老朽化した施設をどうするかとのテーマでしたが、次はこの街をどう活性化し、生き生きとした楽しく笑顔の絶えない街にして行くか、幅広い世代で話し合ってみたいと思います。今後に期待します。 ・ 参加者なりに取り組んだワークショップなので実現に向けて行政も頑張ってもらいたい。	70代